

大学番号：国038

注3

事前伺い

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

金沢大学理工学域 機械工学類、フロンティア工学類、  
電子情報通信学類、地球社会基盤学類及び生命理工学類

注2

### 【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人金沢大学  
平成30年5月1日現在

金沢大学：作成担当者			
担当部局（課）名	総務部総務課		
職名・氏名	政策調整係	ミシマ 三島	タクヤ 卓也
電話番号	076-264-5114		
（夜間）	076-264-5114		
FAX	076-234-4010		
e-mail	seisaku@adm.kanazawa-u.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科  
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

## 理工学域

<機械工学類>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	30
7. その他全般的事項	31

<フロンティア工学類>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	33
2. 授業科目の概要	37
3. 施設・設備の整備状況、経費	48
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	49
5. 教員組織の状況	52
6. 留意事項等に対する履行状況等	65
7. その他全般的事項	66

<電子情報通信学類>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	68
2. 授業科目の概要	72
3. 施設・設備の整備状況、経費	80
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	81
5. 教員組織の状況	84
6. 留意事項等に対する履行状況等	92
7. その他全般的事項	93

＜地球社会基盤学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	95
2. 授業科目の概要	99
3. 施設・設備の整備状況、経費	107
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	108
5. 教員組織の状況	111
6. 留意事項等に対する履行状況等	120
7. その他全般的事項	121

＜生命理工学類＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	123
2. 授業科目の概要	127
3. 施設・設備の整備状況、経費	136
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	137
5. 教員組織の状況	140
6. 留意事項等に対する履行状況等	151
7. その他全般的事項	152

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名 金沢大学

## (3) 大学の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
学域長	(アオキ ケンイチ) 青木 健一 (平成28年4月)		
学類長	(キワタ タカヒロ) 木綿 隆弘 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学域 機械工学類 学士(工学)	工学関係	4年	100人	年次 3年次 10人	420人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 252 ( - ) [ - ]	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	1.02倍	機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類については, 「理工3学類 前期一括入試」を実施し, 2年次に学類配属を行う。  本表には, 「理系後期一括」入試による入学者分は含んでいない。
志願者数	505 ( - ) [ 14 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	494 ( - ) [ 12 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	264 ( - ) [ 8 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	258 ( - ) [ 6 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	258 [6] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	1年次の在学者には、「理工3学類（機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類）前期一括入試」による入学者を計上している。  1年次の在学者には、「理系後期一括」入試による入学者は含んでいない。
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	258 [6] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	258 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	258 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{258} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





共通教育科目	初習言語科目	化学 I	①・②	2	兼11	
		化学 II	①③・④	2	兼7	
		化学実験	①②・③・④	2	兼15	
		化学実験	2①	1	兼11	
		地学 I	①①・②	2	兼4	
		地学 II	①③・④	2	兼1	
			ドイツ語A1-1	①①・③	1	兼8
			ドイツ語A1-2	①②・④	1	兼8
			ドイツ語A2-1	①①・③	1	兼8
			ドイツ語A2-2	①②・④	1	兼8
			ドイツ語A3-1	①①・③	1	兼8
			ドイツ語A3-2	①②・④	1	兼8
			ドイツ語A4-1	①①・③	1	兼7
			ドイツ語A4-2	①②・④	1	兼3
			ドイツ語B-1	2①	1	兼3
			ドイツ語B-2	2②	1	兼2
			ドイツ語C-1	2①・③	1	兼4
			ドイツ語C-2	2②・④	1	兼4
			フランス語A1-1	①①・③	1	兼4
			フランス語A1-2	①②・④	1	兼5
			フランス語A2-1	①①・③	1	兼4
			フランス語A2-2	①②・④	1	兼4
			フランス語A3-1	①①・③	1	兼4
			フランス語A3-2	①②・④	1	兼6
			フランス語A4-1	①①・③	1	兼4
			フランス語A4-2	①②・④	1	兼4
			フランス語B-1	2①・③	1	兼4
			フランス語B-2	2②・④	1	兼4
			フランス語C-1	2①・③	1	兼4
			フランス語C-2	2②・④	1	兼4
			ロシア語A1-1	①①	1	兼1
			ロシア語A1-2	①②	1	兼1
			ロシア語A2-1	①①	1	兼1
			ロシア語A2-2	①②	1	兼1
			ロシア語A3-1	①③	1	兼1
			ロシア語A3-2	①④	1	兼1
			ロシア語A4-1	①③	1	兼1
			ロシア語A4-2	①④	1	兼1
			ロシア語B-1	2①・③	1	兼1
			ロシア語B-2	2②・④	1	兼1
			ロシア語C-1	2①・③	1	兼1
			ロシア語C-2	2②・④	1	兼1
			中国語A1-1	①①・③	1	兼6
			中国語A1-2	①②・④	1	兼4
			中国語A2-1	①①・③	1	兼4
			中国語A2-2	①②・④	1	兼5
			中国語A3-1	①①・③	1	兼4
	中国語A3-2	①②・④	1	兼5		
	中国語A4-1	①①・③	1	兼4		
	中国語A4-2	①②・④	1	兼3		
	中国語B-1	2①・③	1	兼3		
	中国語B-2	2②・④	1	兼3		
	中国語C-1	2①・③	1	兼3		
	中国語C-2	2②・④	1	兼3		
	朝鮮語A1-1	①①・③	1	兼2		
	朝鮮語A1-2	①②・④	1	兼2		
	朝鮮語A2-1	①①・③	1	兼2		
	朝鮮語A2-2	①②・④	1	兼1		
	朝鮮語A3-1	①①・③	1	兼1		
	朝鮮語A3-2	①②・④	1	兼1		
	朝鮮語A4-1	①①・③	1	兼1		
	朝鮮語A4-2	①②・④	1	兼1		
	朝鮮語B-1	2①・③	1	兼2		
	朝鮮語B-2	2②・④	1	兼2		
	朝鮮語C-1	2①・③	1	兼2		
	朝鮮語C-2	2②・④	1	兼2		
	ギリシャ語A1-1	①①	1	兼1		
	ギリシャ語A1-2	①②	1	兼1		
	ギリシャ語A2-1	①③	1	兼1		
	ギリシャ語A2-2	①④	1	兼1		
	ギリシャ語A3-1	①①	1	兼1		
	ギリシャ語A3-2	①②	1	兼1		
	ギリシャ語A4-1	①③	1	兼1		
	ギリシャ語A4-2	①④	1	兼1		
	ギリシャ語B-1	①①	1	兼1		
	ギリシャ語B-2	①②	1	兼1		
	ギリシャ語C-1	①③	1	兼1		
	ギリシャ語C-2	①④	1	兼1		
	ラテン語A1-1	①①	1	兼2		
	ラテン語A1-2	①②	1	兼2		
	ラテン語A2-1	①③	1	兼2		
	ラテン語A2-2	①④	1	兼1		
	ラテン語A3-1	①①	1	兼1		
	ラテン語A3-2	①②	1	兼1		
	ラテン語A4-1	①③	1	兼1		
	ラテン語A4-2	①④	1	兼1		
	ラテン語B-1	①①	1	兼1		
	ラテン語B-2	①②	1	兼1		
	ラテン語C-1	①③	1	兼1		
	ラテン語C-2	①④	1	兼1		
	スペイン語A1-1	①①	1	兼1		
	スペイン語A1-2	①②	1	兼1		
	スペイン語A2-1	①①	1	兼1		
	スペイン語A2-2	①②	1	兼1		

共通教育科目	初習言語科目	化学 I	①①・②	2	兼9	
		化学 II	①③・④	2	兼6	
		化学実験	①②・③・④	2	兼15	
		化学実験	2①	1	兼12	
		地学 I	①①・②	2	兼2	
		地学 II	①③・④	2	兼1	
			ドイツ語A1-1	①①・③	1	兼9
			ドイツ語A1-2	①②・④	1	兼8
			ドイツ語A2-1	①①・③	1	兼8
			ドイツ語A2-2	①②・④	1	兼8
			ドイツ語A3-1	①①・③	1	兼8
			ドイツ語A3-2	①②・④	1	兼8
			ドイツ語A4-1	①①・③	1	兼8
			ドイツ語A4-2	①②・④	1	兼8
			ドイツ語B-1	2①	1	兼3
			ドイツ語B-2	2②	1	兼3
			ドイツ語C-1	2①・③	1	兼3
			ドイツ語C-2	2②・④	1	兼3
			フランス語A1-1	①①・③	1	兼4
			フランス語A1-2	①②・④	1	兼4
			フランス語A2-1	①①・③	1	兼2
			フランス語A2-2	①②・④	1	兼2
			フランス語A3-1	①①・③	1	兼4
			フランス語A3-2	①②・④	1	兼4
			フランス語A4-1	①①・③	1	兼3
			フランス語A4-2	①②・④	1	兼3
			フランス語B-1	2①	1	兼5
			フランス語B-2	2②	1	兼5
			フランス語C-1	2①・③	1	兼5
			フランス語C-2	2②・④	1	兼5
			ロシア語A1-1	①①	1	兼1
			ロシア語A1-2	①②	1	兼1
			ロシア語A2-1	①①	1	兼1
			ロシア語A2-2	①②	1	兼1
			ロシア語A3-1	①③	1	兼1
			ロシア語A3-2	①④	1	兼1
			ロシア語A4-1	①③	1	兼1
			ロシア語A4-2	①④	1	兼1
			ロシア語B-1	2①・③	1	兼2
			ロシア語B-2	2②・④	1	兼2
			ロシア語C-1	2①・③	1	兼1
			ロシア語C-2	2②・④	1	兼1
			中国語A1-1	①①	1	兼5
			中国語A1-2	①②	1	兼5
			中国語A2-1	①①	1	兼4
			中国語A2-2	①②	1	兼4
			中国語A3-1	①①・③	1	兼6
	中国語A3-2	①②・④	1	兼6		
	中国語A4-1	①①・③	1	兼4		
	中国語A4-2	①②・④	1	兼4		
	中国語B-1	2①・③	1	兼3		
	中国語B-2	2②・④	1	兼3		
	中国語C-1	2①・③	1	兼3		
	中国語C-2	2②・④	1	兼3		
	朝鮮語A1-1	①①	1	兼2		
	朝鮮語A1-2	①②	1	兼2		
	朝鮮語A2-1	①①	1	兼1		
	朝鮮語A2-2	①②	1	兼1		
	朝鮮語A3-1	①①・③	1	兼2		
	朝鮮語A3-2	①②・④	1	兼2		
	朝鮮語A4-1	①①・③	1	兼1		
	朝鮮語A4-2	①②・④	1	兼1		
	朝鮮語B-1	2①・③	1	兼2		
	朝鮮語B-2	2②・④	1	兼2		
	朝鮮語C-1	2①・③	1	兼2		
	朝鮮語C-2	2②・④	1	兼2		
	ギリシャ語A1-1	①①	1	兼1		
	ギリシャ語A1-2	①②	1	兼1		
	ギリシャ語A2-1	①③	1	兼1		
	ギリシャ語A2-2	①④	1	兼1		
	ギリシャ語A3-1	①①	1	兼1		
	ギリシャ語A3-2	①②	1	兼1		
	ギリシャ語A4-1	①③	1	兼1		
	ギリシャ語A4-2	①④	1	兼1		
	ギリシャ語B-1	①①	1	兼1		
	ギリシャ語B-2	①②	1	兼1		
	ギリシャ語C-1	①③	1	兼1		
	ギリシャ語C-2	①④	1	兼1		
	ラテン語A1-1	①①	1	兼2		
	ラテン語A1-2	①②	1	兼2		
	ラテン語A2-1	①③	1	兼2		
	ラテン語A2-2	①④	1	兼2		
	ラテン語A3-1	①①	1	兼1		
	ラテン語A3-2	①②	1	兼1		
	ラテン語A4-1	①③	1	兼1		
	ラテン語A4-2	①④	1	兼1		
	ラテン語B-1	①①	1	兼1		
	ラテン語B-2	①②	1	兼1		
	ラテン語C-1	①③	1	兼1		
	ラテン語C-2	①④	1	兼1		
	スペイン語A1-1	①①	1	兼2		
	スペイン語A1-2	①②	1	兼2		
	スペイン語A2-1	①①	1	兼2		
	スペイン語A2-2	①②	1	兼2		

	スペイン語A3-1	1③	1	兼1
	スペイン語A3-2	1④	1	兼1
	スペイン語A4-1	1③	1	兼1
	スペイン語A4-2	1④	1	兼1
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
自由 履修 科目	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼1
	石川県の行政	1-2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1-2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	1-2③-④	2	兼2
	健康論実践D	1-2③-④	1	兼4
	健康論実践E	1-2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1-2①-②	1	兼8
	里山体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	里海体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1-2①-②	1	兼8
	クラウド時代の「ものグラミング	1-2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1-2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1-2③-④	2	兼1
	ダイバーシティ&インクルージョン	1-2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1-2①-②	2	兼1
	フASHリテーション入門	1-2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1-2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1-2③-④	2	兼13
	画像解剖学	1-2③-④	1	兼1
	よくわかる健康と病気	1-2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1-2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1-2③	1	兼3
	死と喪失	1-2③-④	1	兼1
	ひとのからだ I	1-2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1-2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1-2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1-2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1-2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白山)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	③-④	1	兼1
	地方行政	1-2③-④	2	兼1
	ブランディング入門	1-2①-②	2	兼1
	ゼミ/政治哲学入門	1-2③-④	2	兼1
	日本文化・社会体験「茶道を遊	1-2③-④	2	兼1
	日本文化・社会体験「日本の伝	1-2①-②	2	兼1
	金沢の歴史と文化	1-2③-④	2	兼2
	ESD入門	1-2①-②	1	兼1
廃棄物管理と循環型社会	1-2①-②	1	兼1	
持続可能性と福祉	1-2①-③	1	兼1	
異文化間ダイアログ	1-2③-④	2	兼1	
日本の歴史からみた層と時間	1-2③-④	2	兼1	
日本と金沢の建築・都市	1-2①-②	2	兼2	
コミュニケーションビジネス	1-2③-④	2	兼2	
日本国憲法概説	1-2③-④	2	兼4	
行政学入門	1-2①-②	2	兼1	
公共政策入門 I	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門 C	1-2③-④	2	兼1	
日本史要説	2③-④	2	兼4	
東洋史要説	2③-④	2	兼3	
法論理学入門	1-2①	2	兼1	
異文化理解のためのビデオ会	1-2③	1	兼1	
ビジネス入門	1-2①	1	兼1	
日本のオープンデータ活用	1-2②	1	兼1	
ビジネスと金融	1-2③	1	兼1	
世界のオープンデータ活用	1-2④	1	兼1	
ガラスとクリスタル I	1-2②	1	兼1	
ガラスとクリスタル II	1-2③	1	兼1	
英国諸島の地史 I	1-2②	1	兼1	
英国諸島の地史 II	1-2③	1	兼1	
地学実験	1-2③-④	2	兼16	
東洋医学	3-4③-④	2	兼2	
コンピューターグラフィクス演習	1-2③-④	2	兼1	
生物学実験	1-2①-②	2	兼13	
実践Webプログラミング実習	1-2③-④	2	兼1	
実践システム開発工程入門	1-2③-④	2	兼1	
プログラミング演習	1-2③-④	2	兼1	
環境動態学概説 I	1-2③	1	兼1	
環境動態学概説 II	1-2④	1	兼1	

	スペイン語A3-1	1③	1	兼2
	スペイン語A3-2	1④	1	兼2
	スペイン語A4-1	1③	1	兼2
	スペイン語A4-2	1④	1	兼2
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
自由 履修 科目	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼2
	石川県の行政	1-2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1-2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	1-2③-④	2	兼2
	健康論実践D	1-2③-④	1	兼3
	健康論実践E	1-2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1-2①-②	1	兼7
	里山体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	里海体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼5
	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1-2①-②	1	兼1
	クラウド時代の「ものグラミング	1-2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1-2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1-2③-④	2	兼1
	ダイバーシティ&インクルージョン	1-2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1-2①-②	2	兼1
	フASHリテーション入門	1-2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1-2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1-2③-④	2	兼11
	画像解剖学	1-2③-④	2	兼1
	よくわかる健康と病気	1-2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1-2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1-2③	1	兼3
	死と喪失	1-2③-④	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己分	1-2①	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己分	1-2③	1	兼1
	香りと日本文化	1-2②	1	兼1
	エンターテインメントの英語	1-2②	1	兼1
	芸術としての料理と写真	1-2③	1	兼1
	ひとのからだ I	1-2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1-2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1-2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1-2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1-2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白山)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	③-④	1	兼1
	地方行政	1-2③-④	2	兼1
	ブランディング入門	1-2①-②	2	兼1
ゼミ/政治哲学入門	1-2③-④	2	兼1	
日本文化・社会体験「茶道を遊	1-2③-④	2	兼1	
日本文化・社会体験「日本の伝	1-2①-②	2	兼1	
金沢の歴史と文化	1-2③-④	2	兼2	
ESD入門	1-2①-②	1	兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1-2①-②	1	兼1	
持続可能性と福祉	1-2①-③	1	兼1	
異文化間ダイアログ	1-2③-④	2	兼1	
日本の歴史からみた層と時間	1-2③-④	2	兼1	
日本と金沢の建築・都市	1-2②	1	兼2	
コミュニケーションビジネス	1-2③-④	2	兼2	
日本国憲法概説	1-2③-④	2	兼5	
行政学入門	1-2①-②	2	兼1	
公共政策入門 I	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門 C	1-2③-④	2	兼1	
簿記入門	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門 D	1-2③-④	2	兼1	
日本史要説	2①-②	2	兼4	
東洋史要説	2③-④	2	兼3	
法論理学入門	1-2①	2	兼1	
異文化理解のためのビデオ会	1-2③	1	兼1	
ビジネス入門	1-2①	1	兼1	
日本のオープンデータ活用	1-2②	1	兼1	
ビジネスと金融	1-2③	1	兼1	
世界のオープンデータ活用	1-2④	1	兼1	
日本語と社会	1-2③-④	2	兼1	
行政学の基礎	1-2①-②	2	兼1	
ガラスとクリスタル I	1-2②	1	兼1	
ガラスとクリスタル II	1-2③	1	兼1	
英国諸島の地史 I	1-2②	1	兼1	
英国諸島の地史 II	1-2③	1	兼1	
地学実験	1-2③-④	2	兼17	
東洋医学	3-4③-④	2	兼2	
コンピューターグラフィクス演習	1-2③-④	2	兼1	
生物学実験	1-2①-②	2	兼11	
実践Webプログラミング実習	1-2③-④	2	兼1	
実践システム開発工程入門	1-2③-④	2	兼1	
プログラミング演習	1-2③-④	2	兼1	
環境動態学概説 I	1-2③	1	兼1	
環境動態学概説 II	1-2④	1	兼1	



信頼性工学B	2④	1			兼1	
【専門基礎科目Ⅱ】						
材料力学Ⅰ及び演習	2①～②	2	3		兼3	
振動工学Ⅰ及び演習	2③～④	2			兼2	
流れ学Ⅰ及び演習	2③～④	2		2		
熱力学Ⅰ及び演習	2③～④	2	1	1		
材料工学A	2③	1	1			
材料工学B	2④	1	1			
加工学A	2③	1	1			
加工学B	2④	1	1			
制御工学ⅠA	2③	1			兼1	
制御工学ⅠB	2④	1			兼1	
《機械創造コース》						
【実践科目】						
機械工学設計製図基礎	2③～④	2		1	兼1	
計算機プログラミング演習	3①～②	1	1	1		
機械工学基礎実験	3①～②	1	19	9	1	13
機械工学実習	3①～②	1	2		2	
機械工学設計製図演習	3①～②	2	2		1	
応用プログラミング技術	3③～④	2		1		
【専門科目Ⅰ】						
数値解析A	2③	1	2			
数値解析B	2④	1	2			
材料力学ⅡA	2③	1	1		兼1	
材料力学ⅡB	2④	1	1		兼1	
電気回路A	2①	1	1			
電気回路B	2②	1	1			
機構運動学A	2③	1	1			
機構運動学B	2④	1	1			
振動工学ⅡA	3①	1			兼1	
振動工学ⅡB	3②	1			兼1	
機械材料学ⅠA	3①	1	1			
機械材料学ⅠB	3②	1	1			
制御工学ⅡA	3①	1			兼1	
制御工学ⅡB	3②	1			兼1	
流れ学ⅡA	3①	1	1	1		
流れ学ⅡB	3②	1	1	1		
機械設計学	3①	2			兼1	
熱力学ⅡA	3①	1	1			
熱力学ⅡB	3②	1	1			
計測工学A	3③	1	1			
計測工学B	3④	1	1			
生産工学A	3①	1	1	1		
生産工学B	3②	1	1	1		
【専門科目Ⅱ】						
生産システム工学A	3③	1	2			
生産システム工学B	3④	1	2			
航空宇宙工学A	3①	1	1	1	兼1	
航空宇宙工学B	3②	1	1	1	兼1	
応用数理解析A	3③	1	2			
応用数理解析B	3④	1	2			
レーザー工学A	3③	1	1			
レーザー工学B	3④	1	1			
伝熱工学A	3③	1	2			
伝熱工学B	3④	1	2			
エネルギー変換工学A	3③	1	2	1		
エネルギー変換工学B	3④	1	2	1		
成形加工A	4③	1	1			
成形加工B	4④	1	1			
トライボロジーA	3③	1		1		
トライボロジーB	3④	1		1		
機械材料学ⅡA	3③	1	1			
機械材料学ⅡB	3④	1	1			
【専門科目Ⅲ】						
メカトロニクスA	3①	1			兼1	
メカトロニクスB	3②	1			兼1	
電気回路C	3③	1			兼1	
電気回路D	3④	1			兼1	
【専門総合科目】						
学外技術体験実習A※2	7①～②	1	19	9	1	13
学外技術体験実習B※2	7③～④	2	19	9	1	13
海外技術体験実習※2	7①～②	2	19	9	1	13
企業開放講義	3③～④	1	19	9	1	13
機械工学総合実験	3③～④	1	19	9	1	13
機械工学特別演習A	3③	1	19	9	1	13
機械工学特別演習B	3④	1	19	9	1	13
技術社会と倫理	4③	1	2			
卒業研究※3	4通	8	19	9	1	13
機械工学論議	4①～②	1	19	9	1	13
【教職科目】						
工業概論※1	4①～②	2				兼11
職業指導第1※1	3③～④	2				兼1
職業指導第2※1	4①～②	2				兼1
《機械数理コース》						
【実践科目】						
機械工学設計製図基礎	2③～④	2		1		
計算機プログラミング演習	3①～②	1	1	1		兼1
機械工学基礎実験	3①～②	1	19	9	1	13
機械工学実習	3①～②	1	2		2	
機械工学設計製図演習	3①～②	2	2		1	
応用プログラミング技術	3③～④	2		1		
【専門科目Ⅰ】						
数値解析A	2③	1	1			
数値解析B	2④	1	1			

信頼性工学B	2④	1			兼1	
【専門基礎科目Ⅱ】						
材料力学Ⅰ及び演習	2①～②	2	3		兼3	
振動工学Ⅰ及び演習	2③～④	2			兼2	
流れ学Ⅰ及び演習	2③～④	2		1	1	
熱力学Ⅰ及び演習	2③～④	2	1	1	1	
材料工学A	2③	1	1			
材料工学B	2④	1	1			
加工学A	2③	1	1			
加工学B	2④	1	1			
制御工学ⅠA	2③	1			兼1	
制御工学ⅠB	2④	1			兼1	
《機械創造コース》						
【実践科目】						
機械工学設計製図基礎	2③～④	2		1	1	
計算機プログラミング演習	3①～②	1				
機械工学基礎実験	3①～②	1	18	11	1	11
機械工学実習	3①～②	1	2		2	
機械工学設計製図演習	3①～②	2	2		1	
応用プログラミング技術	3③～④	2		2		
【専門科目Ⅰ】						
数値解析A	2③	1	1	2		
数値解析B	2④	1	1	2		
材料力学ⅡA	2③	1	1		兼1	
材料力学ⅡB	2④	1	1		兼1	
電気回路A	2①	1	1	1		
電気回路B	2②	1	1	1		
機構運動学A	2③	1	1			
機構運動学B	2④	1	1			
振動工学ⅡA	3①	1			兼1	
振動工学ⅡB	3②	1			兼1	
機械材料学ⅠA	3①	1	1			
機械材料学ⅠB	3②	1	1			
制御工学ⅡA	3①	1			兼1	
制御工学ⅡB	3②	1			兼1	
流れ学ⅡA	3①	1	1	1		
流れ学ⅡB	3②	1	1	1		
機械設計学	3①	2			兼1	
熱力学ⅡA	3①	1	1			
熱力学ⅡB	3②	1	1			
計測工学A	3③	1	1			
計測工学B	3④	1	1			
生産工学A	3①	1	1	1		
生産工学B	3②	1	1	1		
【専門科目Ⅱ】						
生産システム工学A	3③	1	2			
生産システム工学B	3④	1	2			
航空宇宙工学A	3①	1	1	1	兼1	
航空宇宙工学B	3②	1	1	1	兼1	
応用数理解析A	3③	1	1	2		
応用数理解析B	3④	1	1	2		
レーザー工学A	3③	1	1			
レーザー工学B	3④	1	1			
伝熱工学A	3③	1		2		
伝熱工学B	3④	1		2		
エネルギー変換工学A	3③	1	2	1		
エネルギー変換工学B	3④	1	2	1		
成形加工A	4③	1	1			
成形加工B	4④	1	1			
トライボロジーA	3③	1		1		
トライボロジーB	3④	1		1		
機械材料学ⅡA	3③	1	1			
機械材料学ⅡB	3④	1	1			
【専門科目Ⅲ】						
メカトロニクスA	3①	1			兼1	
メカトロニクスB	3②	1			兼1	
電気回路C	3③	1			兼1	
電気回路D	3④	1			兼1	
【専門総合科目】						
学外技術体験実習A※2	7①～②	1	18	11	1	11
学外技術体験実習B※2	7③～④	2	18	11	1	11
海外技術体験実習※2	7①～②	2	18	11	1	11
企業開放講義	3③～④	1	18	11	1	11
機械工学総合実験	3③～④	1	18	11	1	11
機械工学特別演習A	3③	1	18	11	1	11
機械工学特別演習B	3④	1	18	11	1	11
技術社会と倫理	4③	1	2			
卒業研究※3	4通	8	18	11	1	11
機械工学論議	4①～②	1	18	11	1	11
【教職科目】						
工業概論※1	4①～②	2				兼11
職業指導第1※1	3③～④	2				兼1
職業指導第2※1	4①～②	2				兼1
《機械数理コース》						
【実践科目】						
機械工学設計製図基礎	2③～④	2		1	1	
計算機プログラミング演習	3①～②	1				
機械工学基礎実験	3①～②	1	18	11	1	11
機械工学実習	3①～②	1	2		2	
機械工学設計製図演習	3①～②	2	2		1	
応用プログラミング技術	3③～④	2		2		
【専門科目Ⅰ】						
数値解析A	2③	1	1	1		
数値解析B	2④	1	1	1		

	材料力学ⅡA	2③	1	1		兼1	
	材料力学ⅡB	2④	1	1		兼1	
	電気回路A	2①	1	1			
	電気回路B	2②	1	1			
	機構運動学A	2③	1	1			
	機構運動学B	2④	1	1			
	電子回路概論A	3①	1			兼1	
	電子回路概論B	3②	1			兼1	
	振動工学ⅡA	3①	1			兼2	
	振動工学ⅡB	3②	1			兼2	
	機械材料学ⅠA	3①	1	1			
	機械材料学ⅠB	3②	1	1			
	制御工学ⅡA	3①	1			兼1	
	制御工学ⅡB	3②	1			兼1	
	流れ学ⅡA	3①	1	1	1		
	流れ学ⅡB	3②	1	1	1		
	機械設計学	3①	2			兼1	
	熱力学ⅡA	3①	1	1			
	熱力学ⅡB	3②	1	1			
	計測工学A	3③	1	1			
	計測工学B	3④	1	1			
	生産工学A	3①	1	1	1		
	生産工学B	3②	1	1	1		
	【専門科目Ⅱ】						
	生産システム工学A	3③	1	2			
	生産システム工学B	3④	1	2			
	航空宇宙工学A	3①	1	1	1		
	航空宇宙工学B	3②	1	1	1		
	メカトロニクスA	3①	1			兼1	
	メカトロニクスB	3②	1			兼1	
	応用数理解析A	3③	1	2		兼1	
	応用数理解析B	3④	1	2			
	レーザー工学A	3③	1	1			
	レーザー工学B	3④	1	1			
	伝熱工学A	3③	1	2			
	伝熱工学B	3④	1	2			
	エネルギー変換工学A	3③	1	2	1		
	エネルギー変換工学B	3④	1	2	1		
	トライボロジーA	3③	1		1		
	トライボロジーB	3④	1		1		
	機械材料学ⅡA	3③	1	1			
	機械材料学ⅡB	3④	1	1			
	【専門科目Ⅲ】						
	電気回路C	3③	1			兼1	
	電気回路D	3④	1			兼1	
	通信工学A	4③	1			兼1	
	通信工学B	4④	1			兼1	
	信号処理A	3①	1			兼1	
	信号処理B	3②	1			兼1	
	パターン認識A	3③	1			兼1	
	パターン認識B	3④	1			兼1	
	画像処理A	3③	1			兼1	
	画像処理B	3④	1			兼1	
	【専門総合科目】						
	学外技術体験実習A※2	※2-※2	1	19	9	1	13
	学外技術体験実習B※2	※2-※2	2	19	9	1	13
	海外技術体験実習※2	※2-※2	2	19	9	1	13
	企業開放講義	※3-※4	1	19	9	1	13
	機械工学総合実験	※3-※4	1	19	9	1	13
	機械工学特別演習A	3③	1	19	9	1	13
	機械工学特別演習B	3④	1	19	9	1	13
	技術社会と倫理	4③	1	2			
	卒業研究※3	4通	8	19	9	1	13
	機械工学論議	4①-②	1	19	9	1	13
	【教職科目】						
	工業概論※1	4①-②	2			兼1	
	職業指導第1※1	※3-※4	2			兼1	
	職業指導第2※1	4①-②	2			兼1	
	《エネルギー機械コース》						
	【実践科目】						
	機械工学設計製図基礎	※3-④	2				2
	計算機プログラミング演習	※3-④	1				2
	機械工学基礎実験	※1-②	1	19	9	1	13
	機械工作実習	※1-②	1	1			
	数値解析及びプログラミング	3①	1			兼1	
	数値解析及びプログラミング	3②	1			兼1	
	【専門科目Ⅰ】						
	材料力学ⅡA	2③	1			兼1	
	材料力学ⅡB	2④	1			兼1	
	機械設計工学A	2③	1			兼1	
	機械設計工学B	2④	1			兼1	
	電気回路A	2①	1	1			
	電気回路B	2②	1	1			
	振動工学ⅡA	3①	1			兼1	
	振動工学ⅡB	3②	1			兼1	
	材料設計学A	3①	1	1			
	材料設計学B	3②	1	1			
	制御工学ⅡA	3①	1			兼1	
	制御工学ⅡB	3②	1			兼1	
	流れ学ⅡA	3①	1		1		
	流れ学ⅡB	3②	1		1		
	熱力学ⅡA	3①	1	1			
	熱力学ⅡB	3②	1	1			
	構造解析学A	3③	1	1			

	材料力学ⅡA	2③	1	1		兼1	
	材料力学ⅡB	2④	1	1		兼1	
	電気回路A	2①	1	1	+		
	電気回路B	2②	1	1	+		
	機構運動学A	2③	1	1			
	機構運動学B	2④	1	1			
	電子回路概論A	3①	1			兼1	
	電子回路概論B	3②	1			兼1	
	振動工学ⅡA	3①	1			兼2	
	振動工学ⅡB	3②	1			兼2	
	機械材料学ⅠA	3①	1	1			
	機械材料学ⅠB	3②	1	1			
	制御工学ⅡA	3①	1			兼1	
	制御工学ⅡB	3②	1			兼1	
	流れ学ⅡA	3①	1	1	1		
	流れ学ⅡB	3②	1	1	1		
	機械設計学	3①	2			兼1	
	熱力学ⅡA	3①	1	1			
	熱力学ⅡB	3②	1	1			
	計測工学A	3③	1	1			
	計測工学B	3④	1	1			
	生産工学A	3①	1	1	1		
	生産工学B	3②	1	1	1		
	【専門科目Ⅱ】						
	生産システム工学A	3③	1	2			
	生産システム工学B	3④	1	2			
	航空宇宙工学A	3①	1	1	1		
	航空宇宙工学B	3②	1	1	1		
	メカトロニクスA	3①	1			兼1	
	メカトロニクスB	3②	1			兼1	
	応用数理解析A	3③	1	1	2	兼1	
	応用数理解析B	3④	1	1	2	兼1	
	レーザー工学A	3③	1	1			
	レーザー工学B	3④	1	1			
	伝熱工学A	3③	1	2			
	伝熱工学B	3④	1	2			
	エネルギー変換工学A	3③	1	2	1		
	エネルギー変換工学B	3④	1	2	1		
	トライボロジーA	3③	1		1		
	トライボロジーB	3④	1		1		
	機械材料学ⅡA	3③	1	1			
	機械材料学ⅡB	3④	1	1			
	【専門科目Ⅲ】						
	電気回路C	3③	1			兼1	
	電気回路D	3④	1			兼1	
	通信工学A	4③	1			兼1	
	通信工学B	4④	1			兼1	
	信号処理A	3①	1			兼1	
	信号処理B	3②	1			兼1	
	パターン認識A	3③	1			兼1	
	パターン認識B	3④	1			兼1	
	画像処理A	3③	1			兼1	
	画像処理B	3④	1			兼1	
	【専門総合科目】						
	学外技術体験実習A※2	※2-※2	1	18	11	1	11
	学外技術体験実習B※2	※2-※2	2	18	11	1	11
	海外技術体験実習※2	※2-※2	2	18	11	1	11
	企業開放講義	※3-※4	1	18	11	1	11
	機械工学総合実験	※3-④	1	18	11	1	11
	機械工学特別演習A	3③	1	18	11	1	11
	機械工学特別演習B	3④	1	18	11	1	11
	技術社会と倫理	4③	1	2			
	卒業研究※3	4通	8	18	11	1	11
	機械工学論議	4①-②	1	18	11	1	11
	【教職科目】						
	工業概論※1	4①-②	2			兼1	
	職業指導第1※1	※3-④	2			兼1	
	職業指導第2※1	4①-②	2			兼1	
	《エネルギー機械コース》						
	【実践科目】						
	機械工学設計製図基礎	※3-④	2				2
	計算機プログラミング演習	※3-④	1				2
	機械工学基礎実験	※1-②	1	18	11	1	11
	機械工作実習	※1-②	1	1			
	数値解析及びプログラミング	3①	1			兼1	
	数値解析及びプログラミング	3②	1			兼1	
	【専門科目Ⅰ】						
	材料力学ⅡA	2③	1			兼1	
	材料力学ⅡB	2④	1			兼1	
	機械設計工学A	2③	1			兼1	
	機械設計工学B	2④	1			兼1	
	電気回路A	2①	1	1			
	電気回路B	2②	1	1			
	振動工学ⅡA	3①	1			兼1	
	振動工学ⅡB	3②	1			兼1	
	材料設計学A	3①	1	1			
	材料設計学B	3②	1	1			
	制御工学ⅡA	3①	1			兼1	
	制御工学ⅡB	3②	1			兼1	
	流れ学ⅡA	3①	1		1		
	流れ学ⅡB	3②	1		1		
	熱力学ⅡA	3①	1	1			
	熱力学ⅡB	3②	1	1			
	構造解析学A	3③	1	1			

構造解析学B	3④	1	1			構造解析学B	3④	1	1				
知的生産システムA	3③	1	1			知的生産システムA	3③	1	1				
知的生産システムB	3④	1	1			知的生産システムB	3④	1	1				
【専門科目Ⅱ】						【専門科目Ⅱ】							
伝熱学A	3①	1	1			伝熱学A	3①	1	1				
伝熱学B	3②	1	1			伝熱学B	3②	1	1				
人体科学A	3①	1			兼2	人体科学A	3①	1			兼2		
人体科学B	3②	1			兼2	人体科学B	3②	1			兼2		
エネルギー変換工学A	3③	1	2	1		エネルギー変換工学A	3③	1	2	1			
エネルギー変換工学B	3④	1	2	1		エネルギー変換工学B	3④	1	2	1			
人間工学A	3③	1			兼2	人間工学A	3③	1			兼2		
人間工学B	3④	1			兼2	人間工学B	3④	1			兼2		
生体計測A	3③	1			兼1	生体計測A	3③	1			兼1		
生体計測B	3④	1			兼1	生体計測B	3④	1			兼1		
生物工学A	3③	1			兼2	生物工学A	3③	1			兼2		
生物工学B	3④	1			兼2	生物工学B	3④	1			兼2		
物質循環工学A	3③	1	1			物質循環工学A	3③	1	1				
物質循環工学B	3④	1	1			物質循環工学B	3④	1	1				
応用伝熱学A	3③	1	1			応用伝熱学A	3③	1	1				
応用伝熱学B	3④	1	1			応用伝熱学B	3④	1	1				
エネルギー・環境工学A	3③	1	1			エネルギー・環境工学A	3③	1	1				
エネルギー・環境工学B	3④	1	1			エネルギー・環境工学B	3④	1	1				
工業デザインA	4①	1	1		兼4	工業デザインA	4①	1	1		兼4		
工業デザインB	4②	1	1		兼4	工業デザインB	4②	1	1		兼4		
成形加工A	4③	1	1			成形加工A	4③	1	1				
成形加工B	4④	1	1			成形加工B	4④	1	1				
【専門科目Ⅲ】						【専門科目Ⅲ】							
ロボット工学A	3①	1			兼4	ロボット工学A	3①	1			兼4		
ロボット工学B	3②	1			兼4	ロボット工学B	3②	1			兼4		
【専門総合科目】						【専門総合科目】							
創造デザイン実習	9①～②	2		1	兼3	創造デザイン実習	9①～②	2		1	兼3		
学外技術体験実習A※2	11-2-2-4	1	19	9	1	13	学外技術体験実習A※2	11-2-2-4	1	18	11	1	11
学外技術体験実習B※2	11-2-3-4	2	19	9	1	13	学外技術体験実習B※2	11-2-3-4	2	18	11	1	11
海外技術体験実習※2	11-2-3-4	2	19	9	1	13	海外技術体験実習※2	11-2-3-4	2	18	11	1	11
企業開放講義	9③～④	1	19	9	1	13	企業開放講義	9③～④	1	18	11	1	11
機械工学総合実験	9③～④	1	19	9	1	13	機械工学総合実験	9③～④	1	18	11	1	11
機械工学特別演習A※	3③	1	19	9	1	13	機械工学特別演習A※	3③	1	18	11	1	11
機械工学特別演習B※	3④	1	19	9	1	13	機械工学特別演習B※	3④	1	18	11	1	11
技術社会と倫理	4③	1	2				技術社会と倫理	4③	1	2			
卒業研究※3	4通	8	19	9	1	13	卒業研究※3	4通	8	18	11	1	11
機械工学輪講	4①～②	1	19	9	1	13	機械工学輪講	4①～②	1	18	11	1	11
【教職科目】							【教職科目】						
工業概論※1	4①～②	2					工業概論※1	4①～②	2				
職業指導第1※1	9③～④	2					職業指導第1※1	9③～④	2				
職業指導第2※1	4①～②	2					職業指導第2※1	4①～②	2				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・共通教育科目の見直しにより、「初學者ゼミⅠ」の配当年次を「1年102030」から「1年1030」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「ケーススタディによる応用倫理」の配当年次を「1年10203040」から「1年203040」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「プレゼン・ディベート論（初學者ゼミ）」の配当年次を「1年1020」から「1年2030」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の配当年次を「1年203040」から「1年203040」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「グローバル社会と地域の課題」の配当年次を「1年103040」から「1年10203040」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「生活と社会保障」の配当年次を「1年3040」から「1年10203040」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅠA」の配当年次を「1年30」から「1年10」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅠB」の配当年次を「1年40」から「1年20」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅡA」の配当年次を「1年10」から「1年30」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「孤島発表ⅡB」の配当年次を「1年20」から「1年40」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-1」の配当年次を「2年1030」から「2年10」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-2」の配当年次を「2年2040」から「2年20」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「実践アントレプレナー学」の配当年次を「1年2年1010」から「1年2年3040」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「クラウド時代の「もの」のプログラミング」の配当年次を「1年2年1020」から「1年2年3040」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプト言語論」の配当年次を「1年2年1020」から「1年2年3040」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「画像解剖学」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「死と喪失」の配当年次を「1年2年102040」から「1年2年1020」に変更。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「アートセラピーを通じた自己分析1」「アートセラピーを通じた自己分析2」「香りと日本文化」「エンターテインメントの英語」「芸術としての料理と写真」「国連スタディー」「簿記入門」「経済学入門」「日本語と社会」「行政学の基礎」「Pythonデータ分析入門」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2」を新規追加。  
 ・共通教育科目の見直しにより、「哲学A」の配当年次を「2年1020」から「3年4年1020」に変更。

・受講生を2クラスに分けて第3及び第4クォーターにそれぞれ1クラスずつ開講する予定だったが、大きな教室が利用できることになり第3クォーターに受講生全員を1クラスにして開講できた理由により、「先端テクノロジー概論」の配当年次を「1③・④」から「1③」に変更。  
 ・教員の異動により、「先端テクノロジー概論」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授18」に変更。  
 ・教員の異動により、「数学物理基礎リテラシー」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授4」から「准教授2」,「助教1」から「助教2」に変更。  
 ・教員の異動により、「工業力学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授2」から「准教授1」に変更。  
 ・教員の異動により、「微分方程式及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授2」に変更。  
 ・教員の異動により、「ベクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授0」から「准教授2」,「兼1」を「兼0」に変更。  
 ・教員の異動により、「フーリエ解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授2」に変更。  
 ・教員の異動により、「複素解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授2」,「兼0」を「兼1」に変更。  
 ・教員の異動により、「確率統計解析A」及び「確率統計解析B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
 ・教員の異動により、機械創造コース・機械数理コースの「流れ学I及び演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。  
 ・教員の異動により、エネルギー機械コースの「流れ学I及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」,「助教2」から「助教1」に変更。  
 ・教員の異動により、機械創造コース・機械数理コースの「機械工学設計製図基礎」の専任教員等の配置を「助手1」から「助手0」に変更。  
 ・教員の異動により、「計算機プログラミング演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」,「助教1」から「助教0」に変更。  
 ・教員の異動により、「応用プログラミング技術」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。  
 ・教員の異動により、機械創造コースの「数値解析A」及び「数値解析B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
 ・教員の異動により、機械創造コース・機械数理コースの「電気回路A」及び「電気回路B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授0」に変更。  
 ・教員の異動により、「応用数理解析A」及び「応用数理解析B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に変更。  
 ・教員の異動により、機械数理コースの「数値解析A」及び「数値解析B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」,「准教授1」から「准教授0」に変更。  
 ・教員の異動により、エネルギー機械コースの「電気回路A」及び「電気回路B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」,「准教授0」から「准教授1」に変更。  
 ・教員の異動により、「材料設計学A」及び「材料設計学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」,「准教授0」から「准教授1」に変更。  
 ・教員の異動により、「機械工学基礎実験」,「学外技術体験実習A」,「学外技術体験実習B」,「海外技術体験実習」,「企業開放講義」,「機械工学総合実験」,「機械工学特別演習A」,「機械工学特別演習B」,「卒業研究」,「機械工学輪講」の専任教員等の配置を「教授19」から「教授18」,「准教授9」から「准教授11」,「助教13」から「助教11」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
47 科目	506 科目	0 科目	553 科目	47 科目	491 科目	0 科目	538 科目	
				[ ]	[△15]	[ ]	[△15]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	ラテン語B-1	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	ラテン語B-2	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	ラテン語C-1	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
4	ラテン語C-2	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
5	キャリアディベロップメント実践	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
6	ダイバーシティとインクルージョン	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
7	学生・学習論	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
8	ことばと文化J	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
9	ゼミ/政治哲学入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
10	ESD入門	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
11	廃棄物管理と循環型社会	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
12	持続可能性と福祉	1	1・2①・③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
13	異文化間ディベート	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
14	日本の歴史からみた暦と時間	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
15	行政学入門	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
16	公共政策入門 I	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
17	経済学入門C	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
18	法論理学入門	2	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
19	ビジネス入門	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
20	日本のオープンデータ活用	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
21	ビジネスと金融	1	1・2③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
22	世界のオープンデータ活用	1	1・2④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
23	実践Webプログラミング実習	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
24	実践システム開発工程入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
25	ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
26	身体・スポーツ実技/野外活動	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
27	身体・スポーツ実技/初心者スキー	1	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
28	ゼミ/身体運動心理学	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っているため、廃止科目が生じることはやむを得ないとする。  
学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{28}{553} = \boxed{5.06}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
	校舎敷地	731,780㎡	㎡	㎡	731,780㎡			
	運動場用地	103,704㎡	㎡	㎡	103,704㎡			
	小 計	835,484㎡	㎡	㎡	835,484㎡			
	そ の 他	1,805,514㎡	㎡	㎡	1,805,514㎡			
	合 計	2,640,998㎡	㎡	㎡	2,640,998㎡			
(2) 校舎	専 用	283,269㎡	㎡	㎡	283,269㎡	大学全体		
	( 283,269㎡)	( ㎡)	( ㎡)	( 283,269㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	133室	194室	910室	8室 (補助職員 人)	6室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	理工学域機械工学類			41 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	全て大学全体での共用分
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	医薬保健学総合研究科医学専攻	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)	
計	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	19,793㎡		2,187		1,625,424			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	6,295㎡		可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-	
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		-	-	-	-	-	-	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	金沢大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間社会学域									
人文学類	4	145	—	580	学士 (文学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.97	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	135	—	690	学士 (経済学)	0.99	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員185→135
学校教育学類	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	90	—	330	学士 (地域創造学)	1	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員80→90
国際学類	4	85	—	295	学士 (国際学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員70→85
理工学域									※理工学域の平均入学定員超過率には学域共通編入学に係る数値を含んでいない。
数物科学類	4	84	3年次 5	336	学士 (理学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	324	学士 (理学・工学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	100	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	110	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	80	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	100	学士 (理学・工学)	0.94	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	59	学士 (理学・工学)	0.86	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
電子情報学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
環境デザイン学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
自然システム学類	4	—	—	—	学士 (理学・工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
(学域共通編入学)			3年次 40	80					平成32年度より学域共通編入学停止
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	0.99	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	—	210	学士 (薬学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	—	160	学士 (創薬科学)		平成20年度	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.01	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.98	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.92	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.81	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.84	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	

教育学研究科												
教育実践高度化専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成21年度	金沢市角間町	平成28年度より学生募集停止			
人間社会環境研究科												
人文学専攻	2	23	—	46	修士 (文学・学術)	0.82	平成24年度	金沢市角間町				
法学・政治学専攻	2	8	—	16	修士 (法学・政治学)	0.25	平成24年度	金沢市角間町				
経済学専攻	2	6	—	14	修士 (経済学・経営学・学術)	0.71	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→6			
地域創造学専攻	2	14	—	22	修士 (地域創造学・学術)	1.09	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→14			
国際学専攻	2	10	—	18	修士 (国際学・学術)	1.05	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→10			
人間社会環境学専攻	3	12	—	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.22	平成18年度	金沢市角間町				
自然科学研究科												
数物科学専攻	2	56	—	112	修士 (理学・学術)	1.08	平成24年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	2	57	—	114	修士 (理学・工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	2	90	—	180	修士 (工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	2	67	—	134	修士 (工学・学術)	1.20	平成24年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	2	40	—	80	修士 (工学・学術)	1.03	平成24年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	2	67	—	134	修士 (理学・工学・学術)	1.04	平成24年度	金沢市角間町				
数物科学専攻	3	15	—	45	博士 (理学・学術)	0.75	平成16年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	3	14	—	42	博士 (理学・工学・学術)	0.33	平成26年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	3	25	—	75	博士 (工学・学術)	0.65	平成26年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	3	18	—	54	博士 (工学・学術)	0.64	平成16年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	3	10	—	30	博士 (工学・学術)	1.23	平成26年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	3	21	—	63	博士 (理学・工学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町				
システム創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
物質科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
環境科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			

医薬保健学総合研究科							
医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.90	平成24年度 金沢市宝町13-1
医学専攻	4	64	—	384	博士 (医学・学術)	0.91	平成28年度 金沢市宝町13-1
脳医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	—	76	修士 (創薬科学)	1.18	平成24年度 金沢市角間町
創薬科学専攻	3	11	—	33	博士 (創薬科学・学術)	0.87	平成24年度 金沢市角間町
薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学・学術)	1.06	平成24年度 金沢市角間町
保健学専攻	2	70	—	140	修士 (保健学)	0.77	平成24年度 金沢市小立野5-11-80
保健学専攻	3	25	—	75	博士 (保健学)	1.00	平成24年度 金沢市小立野5-11-80
先進予防医学研究科							
先進予防医学共同専攻	4	12	—	36	博士 (医学)	1.11	平成28年度 金沢市宝町13-1
新学術創成研究科							
融合科学共同専攻	2	14	—	14	修士 (融合科学)	0.92	平成30年度 金沢市角間町
法務研究科							
法務専攻	3	15	—	45	法務博士 (専門職)	0.60	平成16年度 金沢市角間町
教職実践研究科							
教職実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.06	平成28年度 金沢市角間町
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履							
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。							

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学域 機械工学類>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	浅川 直紀 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,加工学A,加工学B,機械工学基礎実験,機械工作実習,電気回路A,電気回路B,知的生産システムA,知的生産システムB,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	新規採用予定 ( ) <平成33年4月>
		先端テクノロジー概論,機械工学基礎実験,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	石川 和宏 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,材料工学A,材料工学B,機械工学基礎実験,材料設計学A,材料設計学B,物質循環工学B,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	新規採用予定 ( ) <平成33年4月>
		先端テクノロジー概論,機械工学基礎実験,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	北山 哲士 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,材料力学I及び演習,機械工学基礎実験,構造解析学A,構造解析学B,工業デザインA,工業デザインB,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	木綿 隆弘 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,流れ学I及び演習,機械工学基礎実験,流れ学IIA,流れ学IIB,航空宇宙工学A,航空宇宙工学B,エネルギー変換工学A,エネルギー変換工学B,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	児玉 昭雄 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,機械工学基礎実験,熱力学IIB,エネルギー変換工学A,エネルギー変換工学B,物質循環工学A,エネルギー・環境工学A,エネルギー・環境工学B,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,技術社会と倫理,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	下川 智嗣 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,材料力学I及び演習,機械工学基礎実験,機械工学設計製図演習,材料力学IIA,材料力学IIB,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	浅川 直紀 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,加工学A,加工学B,機械工学基礎実験,機械工作実習,電気回路A,電気回路B,知的生産システムA,知的生産システムB,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	石川 和宏 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,材料工学A,材料工学B,機械工学基礎実験,材料設計学A,材料設計学B,物質循環工学B,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	北山 哲士 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,材料力学I及び演習,機械工学基礎実験,構造解析学A,構造解析学B,工業デザインA,工業デザインB,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	木綿 隆弘 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,流れ学I及び演習,機械工学基礎実験,流れ学IIA,流れ学IIB,航空宇宙工学A,航空宇宙工学B,エネルギー変換工学A,エネルギー変換工学B,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	児玉 昭雄 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,機械工学基礎実験,熱力学IIB,エネルギー変換工学A,エネルギー変換工学B,物質循環工学A,エネルギー・環境工学A,エネルギー・環境工学B,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,技術社会と倫理,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B
専	教授	下川 智嗣 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論,材料力学I及び演習,機械工学基礎実験,機械工学設計製図演習,材料力学IIA,材料力学IIB,学外技術体験実習A,学外技術体験実習B,海外技術体験実習,企業開放講義,機械工学総合実験,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B,卒業研究,機械工学論議,機械工学特別演習A,機械工学特別演習B





【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三木 理 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	教授	新規採用予定 ( ) <平成33年4月> 先端テクノロジー概論, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	榎本 啓士 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	門上 晃久 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー, 微分方程式及び演習, ベクトル解析及び演習, フーリエ解析及び演習, 複素解析及び演習, 確率・統計解析A, 確率・統計解析B, 機械工学基礎実験, 数値解析A, 数値解析B, 応用数理解析A, 応用数理解析B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	小松 信義 ( ) <平成30年4月> 流れ学I及び演習, 計算機プログラミング演習, 機械工学基礎実験, 流れ学IIA, 流れ学IIB, 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, 伝熱工学A, 伝熱工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	砂田 哲 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー, 工業力学, 機械工学基礎実験, 計測工学A, 計測工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	瀧 健太郎 ( ) <平成30年4月> 機械工学基礎実験, 成形加工A, 成形加工B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	寺岡 喜和 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, 応用プログラミング技術, 熱力学IIA, 熱力学IIB, 伝熱工学A, 伝熱工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	春木 将司 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, 熱力学IIA, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	三木 理 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	榎本 啓士 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	教授	門上 晃久 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論, 数学物理基礎リテラシー, 微分方程式及び演習, ベクトル解析及び演習, フーリエ解析及び演習, 複素解析及び演習, 確率・統計解析A, 確率・統計解析B, 機械工学基礎実験, 数値解析A, 数値解析B, 応用数理解析A, 応用数理解析B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	小松 信義 ( ) <平成30年4月> 流れ学I及び演習, 計算機プログラミング演習, 機械工学基礎実験, 流れ学IIA, 流れ学IIB, 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, 伝熱工学A, 伝熱工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	砂田 哲 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー, 工業力学, 国際研修A, 国際研修B, 機械工学基礎実験, 計測工学A, 計測工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	瀧 健太郎 ( ) <平成30年4月> 機械工学基礎実験, 成形加工A, 成形加工B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	寺岡 喜和 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, 応用プログラミング技術, 熱力学IIA, 熱力学IIB, 伝熱工学A, 伝熱工学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	春木 将司 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, 熱力学IIA, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学輪講, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	兵頭 政春 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー、工業力学、機械工学基礎実験、電気回路A、電気回路B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	准教授	和田出 秀光 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー、微分方程式及び演習、ベクトル解析及び演習、フーリエ解析及び演習、複素解析及び演習、確率・統計解析A、確率・統計解析B、機械工学基礎実験、数値解析A、数値解析B、応用数理解析A、応用数理解析B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	講師	岩井 智昭 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎、機械工学基礎実験、トライボロジーA、トライボロジーB、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	大坂 侑吾 ( ) <平成30年4月>
		計算機プログラミング演習、機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	大西 元 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎、機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	國峯 崇裕 ( ) <平成30年4月>
		機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	小谷野 智広 ( ) <平成30年4月>
		基礎加工学A、基礎加工学B、機械工学基礎実験、機械工作実習、生産工学A、生産工学B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	酒井 忍 ( ) <平成30年4月>
		機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	高杉 敬吾 ( ) <平成30年4月>
		計算機プログラミング演習、機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、創造デザイン実習、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	兵頭 政春 ( ) <平成30年4月>
		<del>先端テクノロジー概論、数学物理基礎リテラシー</del> 、工業力学、機械工学基礎実験、電気回路A、電気回路B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	准教授	和田出 秀光 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー、微分方程式及び演習、ベクトル解析及び演習、フーリエ解析及び演習、複素解析及び演習、確率・統計解析A、確率・統計解析B、機械工学基礎実験、数値解析A、数値解析B、応用数理解析A、応用数理解析B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	講師	岩井 智昭 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎、機械工学基礎実験、トライボロジーA、トライボロジーB、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	大坂 侑吾 ( ) <平成30年4月>
		計算機プログラミング演習、機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	大西 元 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎、機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	國峯 崇裕 ( ) <平成30年4月>
		機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	小谷野 智広 ( ) <平成30年4月>
		基礎加工学A、基礎加工学B、機械工学基礎実験、機械工作実習、生産工学A、生産工学B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	酒井 忍 ( ) <平成30年4月>
		機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B
専	助教	高杉 敬吾 ( ) <平成30年4月>
		計算機プログラミング演習、機械工学基礎実験、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、企業開放講義、機械工学総合実験、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B、卒業研究、機械工学輪講、創造デザイン実習、機械工学特別演習A、機械工学特別演習B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	辻口 拓也 ( ) <平成30年4月> 流れ学I及び演習, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	新山 友暁 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー, 工業力学, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	橋本 洋平 ( ) <平成30年4月> 機械工学基礎実験, 機械工作実習, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	長谷川 雅人 ( ) <平成30年4月> 流れ学I及び演習, 機械工学設計製図基礎, 機械工学基礎実験, 流れ学IIA, 流れ学IIB, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	若子 倫菜 ( ) <平成30年4月> 機械工学基礎実験, 機械工学設計製図演習, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	河野 孝昭 ( ) <平成30年4月> 計算機プログラミング演習, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	多田 薫 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	辻口 拓也 ( ) <平成30年4月> 流れ学I及び演習, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	新山 友暁 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー, 工業力学, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	橋本 洋平 ( ) <平成30年4月> 機械工学基礎実験, 機械工作実習, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	長谷川 雅人 ( ) <平成30年4月> 流れ学I及び演習, 機械工学設計製図基礎, 機械工学基礎実験, 流れ学IIA, 流れ学IIB, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	若子 倫菜 ( ) <平成30年4月> 機械工学基礎実験, 機械工学設計製図演習, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	河野 孝昭 ( ) <平成30年4月> 流れ学I及び演習, 計算機プログラミング演習, 機械工学基礎実験, 応用プログラミング技術, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	助教	多田 薫 ( ) <平成30年4月> 熱力学I及び演習, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	宮嶋 陽司 ( ) <平成30年4月> 機械工学基礎実験, 電気回路A, 電気回路B, 材料設計学A, 材料設計学B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
専	准教授	守屋 創 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー, 微分方程式及び演習, ベクトル解析及び演習, フーリエ解析及び演習, 複素解析及び演習, 確率・統計解析A, 確率・統計解析B, 機械工学基礎実験, 数値解析A, 数値解析B, 応用数値解析A, 応用数値解析B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	軸屋 一郎 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	准教授	汲田 幹夫 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	教授	田中 茂雄 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 生物工学A, 生物工学B
兼任	教授	新田 晃平 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習
兼任	准教授	樋口 理宏 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 機械工学設計製図演習, 材料力学IIA, 材料力学IIB
兼任	教授	関 啓明 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 応用プログラミング技術, 振動工学IIA, 振動工学IIB, ロボット工学A, ロボット工学B
兼任	准教授	得竹 浩 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 計算機プログラミング演習, 振動工学IIA, 振動工学IIB, 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B
兼任	准教授	菅沼 直樹 ( ) <平成30年4月>
		制御工学IA, 制御工学IB, 応用プログラミング技術, 制御工学IIA, 制御工学IIB
兼任	教授	田中 志信 ( ) <平成30年4月>
		信頼性工学A, 信頼性工学B, 制御工学IIA, 制御工学IIB, 人体科学A, 人体科学B, 創造デザイン実習

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 優 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, 機械工学基礎実験, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 企業開放講義, 機械工学総合実験, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B, 卒業研究, 機械工学論議, 機械工学特別演習A, 機械工学特別演習B
兼任	准教授	軸屋 一郎 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	准教授	汲田 幹夫 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	教授	田中 茂雄 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 生物工学A, 生物工学B
兼任	教授	新田 晃平 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習
兼任	准教授	樋口 理宏 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 機械工学設計製図演習, 材料力学IIA, 材料力学IIB
兼任	教授	関 啓明 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 応用プログラミング技術, 振動工学IIA, 振動工学IIB, ロボット工学A, ロボット工学B
兼任	准教授	得竹 浩 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 計算機プログラミング演習, 振動工学IIA, 振動工学IIB, 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B
兼任	准教授	菅沼 直樹 ( ) <平成30年4月>
		制御工学IA, 制御工学IB, 応用プログラミング技術, 制御工学IIA, 制御工学IIB
兼任	教授	田中 志信 ( ) <平成30年4月>
		信頼性工学A, 信頼性工学B, 制御工学IIA, 制御工学IIB, 人体科学A, 人体科学B, 創造デザイン実習

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小松崎 俊彦 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 数値解析及びプログラミング演習A, 数値解析及びプログラミング演習B, 振動工学IIA, 振動工学IIB, 人間工学A, 人間工学B
兼任	助教	浅沼 春彦 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 創造デザイン実習
兼任	准教授	内藤 尚 ( ) <平成30年4月>
		制御工学IA, 制御工学IB, 人間工学A, 人間工学B, 生体計測A, 生体計測B
兼任	教授	立矢 宏 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図演習, 機械設計学, ロボット工学A, ロボット工学B
兼任	准教授	辻 徳生 ( ) <平成30年4月>
		応用プログラミング技術, メカトロニクスA, メカトロニクスB, ロボット工学A, ロボット工学B
兼任	助教	小塚 裕明 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図演習
兼任	助教	鈴木 陽介 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図演習
兼任	教授	飯山 宏一 ( ) <平成30年4月>
		電子回路概論A, 電子回路概論B, 電気回路C, 電気回路D
兼任	准教授	渡邊 哲陽 ( ) <平成30年4月>
		機械設計工学A, 機械設計工学B, ロボット工学A, ロボット工学B, 創造デザイン実習
兼任	講師	平野 晃宏 ( ) <平成30年4月>
		信号処理A, 信号処理B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小松崎 俊彦 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 数値解析及びプログラミング演習A, 数値解析及びプログラミング演習B, 振動工学IIA, 振動工学IIB, 人間工学A, 人間工学B
兼任	助教	浅沼 春彦 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習, 創造デザイン実習
兼任	准教授	内藤 尚 ( ) <平成30年4月>
		制御工学IA, 制御工学IB, 人間工学A, 人間工学B, 生体計測A, 生体計測B
兼任	教授	立矢 宏 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図演習, 機械設計学, ロボット工学A, ロボット工学B
兼任	准教授	辻 徳生 ( ) <平成30年4月>
		応用プログラミング技術, メカトロニクスA, メカトロニクスB, ロボット工学A, ロボット工学B
兼任	助教	小塚 裕明 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図演習
兼任	助教	鈴木 陽介 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図演習
兼任	教授	飯山 宏一 ( ) <平成30年4月>
		電子回路概論A, 電子回路概論B, 電気回路C, 電気回路D
兼任	教授	渡邊 哲陽 ( ) <平成30年4月>
		機械設計工学A, 機械設計工学B, ロボット工学A, ロボット工学B, 創造デザイン実習
兼任	講師	平野 晃宏 ( ) <平成30年4月>
		信号処理A, 信号処理B

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	助教	久保 守 ( ) <平成30年4月>
		パターン認識A, パターン認識B, 画像処理A, 画像処理B
兼担	教授	坂本 二郎 ( ) <平成30年4月>
		材料力学IIA, 材料力学IIB, 人体科学A, 人体科学B, 生物工学A, 生物工学B
兼担	教授	福間 剛士 ( ) <平成30年4月>
		通信工学A, 通信工学B
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成31年4月予定>
		工業力学
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成31年4月予定>
		複素解析及び演習
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成33年4月予定>
		工業デザインA, 工業デザインB
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成33年4月予定>
		工業デザインA, 工業デザインB
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成33年4月予定>
		工業デザインA, 工業デザインB
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成33年4月予定>
		工業デザインA, 工業デザインB

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	助教	久保 守 ( ) <平成30年4月>
		パターン認識A, パターン認識B, 画像処理A, 画像処理B
兼担	教授	坂本 二郎 ( ) <平成30年4月>
		材料力学IIA, 材料力学IIB, 人体科学A, 人体科学B, 生物工学A, 生物工学B
兼担	教授	福間 剛士 ( ) <平成30年4月>
		通信工学A, 通信工学B

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成29年3月1日 河野助教、准教授昇任。
- ・平成29年4月1日 守屋准教授採用。
- ・平成29年4月1日 遠藤助教採用。
- ・平成29年4月1日 兵頭准教授、教授昇任。
- ・平成30年1月1日 門上准教授、教授昇任。
- ・平成30年3月1日 辻口助教、准教授昇任。
- ・平成30年3月31日 酒井助教退職。
- ・平成30年4月1日 宮嶋准教授採用。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14	7
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
19	9	1	13	42	18	11	1	11	41	18	11	1	11	41
(19)	(9)	(1)	(13)	(42)						[Δ1]	[2]	[0]	[Δ2]	[Δ1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
- ・ 「**現在(報告書提出時)の完成年度時の計画**」には、「**現在(報告書提出時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{41}{42} = \boxed{97.61} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	助教	酒井 忍	必修	機械工学基礎実験	①	H30.3.31付け退職（公立小松大学就職）のため就任辞退（30）	
			選択	学外技術体験実習A			
			選択	学外技術体験実習B			
			選択	海外技術体験実習			
			選択	企業開放講義			
			選択	機械工学総合実験			
			選択	機械工学特別演習A			
			選択	機械工学特別演習B			
			必修	卒業研究			
			必修	機械工学基礎実験			
			必修	機械工学輪講			
			選択	機械工学特別演習A			
選択	機械工学特別演習B						
合計（D）				後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	9 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計（F）				後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	4 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	9 科目	選択	9 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目



(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)\text{合計(D)+(F)}}{(2)-(2)\text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{42} = \boxed{2.38} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生への周知は、シラバス等で周知を行った。担当科目については、他の専任教員が担当するため、学生への影響は少ない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<理工学域 機械工学類>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
教育方法改善委員会（理工学域に設置）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
年10回程度開催（委員9名は毎回ほぼ全員出席している）

c 委員会の審議事項等  
教育方法改善にかかる諸事項審議・決定

② 実施状況

a 実施内容

① 授業方法改善のためのアンケート

② FD研修会，新任教員研修会の実施

③ アクティブラーニングに関する検討

b 実施方法

① 授業評価アンケート：各クォーター終了後，学生がWebからアンケート回答→集計→各教員へフィードバック

② FD研修会，新任教員研修会：年に1回実施。

③ アクティブラーニングに関する検討：アクティブラーニングアドバイザーを選出・実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

① 授業評価アンケート回答率：約50%

② FD研修会出席率：約50% 新任教員研修会出席率：約60%

③ アクティブラーニング：28科目実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
科目ごとにアンケート結果を踏まえたリフレクションペーパーを作成している。  
実施例：板書とPPT資料を織り交ぜた授業展開。単元毎の小テスト実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
実施（年4回。各クォーター終了後）

b 教員や学生への公開状況，方法等  
理工学域Webサイトに，学類毎の集計結果を掲載。（授業担当教員はポータルサイトから担当科目の結果を参照できる）

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員充足，施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。  
FD活動や授業評価アンケートなどをもとに，カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・未定（検討中）

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表（予定）の有無

（  有 ・  無 ）

##### b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

（平成30年7月1日（予定））

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には，5月1日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学

## (3) 大学の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
学域長	(アオキ ケンイチ) 青木 健一 (平成28年4月)		
学類長	(タナカ シノブ) 田中 志信 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学域 フロンティア工学類 学士(工学)	工学関係	4年	110人	年次 3年次 5人	450人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 252 ( - ) [ - ]	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	1.02倍	機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類については, 「理工3学類 前期一括入試」を実施し, 2年次に学類配属を行う。  本表には, 「理系後期一括」入試による入学者分は含んでいない。
志願者数	505 ( - ) [ 14 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	494 ( - ) [ 12 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	264 ( - ) [ 8 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	258 ( - ) [ 6 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	258 [6] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	1年次の在学者には、「理工3学類（機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類）前期一括入試」による入学者を計上している。  1年次の在学者には、「理系後期一括」入試による入学者は含んでいない。
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次					/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計			258 [6] ( - )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には，留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	258 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	258 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{258} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



## 2 授業科目の概要

＜理工学域 フロンティア工学類＞

### (1) ① 授業科目表

#### 【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	大学・社会生活論	1①	1								兼73
	初学者ゼミ I	1①-③	1								兼84
	情報処理基礎	1①	1								兼61
	地域概論	1①-②	1								兼69
GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①-③		1							兼3
	グローバル時代の政治経済学	1①-③		1							兼5
	グローバル時代の社会学	1①-③		1							兼2
	ケーススタディによる応用倫理	1①-③		1							兼5
	地球生物圏と人間	1①-③		1							兼1
	物理の世界	1①-③		1							兼3
	化学の世界	1①-③		1							兼10
	哲学(自我論)	1①-③		1							兼3
	パーソナリティ心理学	1①-③		1							兼3
	グローバル時代の文学	1①-③		1							兼6
	健康科学	1①-③		1							兼7
	細胞・分子生物学	1①-③		1							兼9
	エクササイズ&スポーツ 実技	1①-③		1							兼18
	プレゼン・ディベート論(初学者)	1①-②	1								兼86
	クリティカル・シンキング	1①-③		1							兼4
	価値と情動の認知科学	1①-③		1							兼5
	論理学から見る世界	1①-③		1							兼1
	数学的発想法	1①-③		1							兼4
	芸術と自己表現	1①-③		1							兼9
	スポーツ科学	1①-③		1							兼4
	金沢・能登と世界の地域文化	1①-③		1							兼5
	日本史・日本文化	1②-④		1							兼9
	異文化間コミュニケーション	1①-③		1							兼10
	異文化体験	1②-④		1							兼2
	異文化体験	1②-④		2							兼4
	異文化体験	1②-④		3							兼6
	異文化体験	1②-④		4							兼3
	異文化体験	1②-④		5							兼1
	異文化体験	1②-④		6							兼1
	異文化体験	1②-④		7							兼1
	異文化体験	1②-④		8							兼1
	国際社会とボランティア	1①-③		1							兼3
	グローバル社会と地域の課題	1①-③		1							兼1
	科学技術と科学方法論	1①-③		1							兼7
統計学から未来を見る	1①-③		1							兼2	
情報の科学	1①-③		1							兼4	
環境学とESD	1①-③		1							兼2	
生活と社会保障	1③-④		1							兼3	
人権・ジェンダー論	1①-③		1							兼5	
GS言語科目(英語)	TOEIC準備 I	1①	1								兼28
	TOEIC準備 II	1②	1								兼28
	TOEIC準備 III	1③	1								兼31
	TOEIC準備 IV	1④	1								兼31
	TOEIC準備(演習)	1①-③		1							兼2
	English for Academic Purpose	1①	1								兼25
English for Academic Purpose	1①	1								兼27	
English for Academic Purpose	1③	1								兼36	
English for Academic Purpose	1④	1								兼36	
EAP(Retake)	1②-④		1								兼14
GS言語科目(日本語)	アカデミック基礎日本語A	1①-③	1								兼2
	アカデミック基礎日本語B	1②-④	1								兼2
	アカデミック・ライティング I A	1①-③		1							兼1
	アカデミック・ライティング I B	1②-④		1							兼1
	アカデミック・ライティング II A	1①-③		1							兼1
	アカデミック・ライティング II B	1②-④		1							兼1
	講義の聴解A	1①-③		1							兼1
	講義の聴解B	1②-④		1							兼1
	口頭発表 I A	1③		1							兼1
	口頭発表 I B	1④		1							兼1
	口頭発表 II A	1①		1							兼1
	口頭発表 II B	1②		1							兼1
	上級読解 I A	1①		1							兼1
	上級読解 I B	1②		1							兼1
	上級読解 II A	1③		1							兼1
	上級読解 II B	1④		1							兼1
	日本事情A	1①-③		1							兼1
	日本事情B	1②-④		1							兼1
	日本語で学ぶ論理A	1③		1							兼1
	日本語で学ぶ論理B	1④		1							兼1

#### 【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
導入科目	大学・社会生活論	1①	1								兼84
	初学者ゼミ I	1①-③	1								兼107
	情報処理基礎	1①	1								兼54
	地域概論	1①-②	1								兼81
GS科目	現代世界への歴史学的アプローチ	1①-③		1							兼4
	グローバル時代の政治経済学	1①-③		1							兼5
	グローバル時代の社会学	1①-③		1							兼3
	ケーススタディによる応用倫理	1①-③		1							兼4
	地球生物圏と人間	1①-③		1							兼2
	物理の世界	1①-③		1							兼3
	化学の世界	1①-③		1							兼10
	哲学(自我論)	1①-③		1							兼3
	パーソナリティ心理学	1①-③		1							兼3
	グローバル時代の文学	1①-③		1							兼5
	健康科学	1①-③		1							兼9
	細胞・分子生物学	1①-③		1							兼9
	エクササイズ&スポーツ 実技	1①-③		1							兼12
	プレゼン・ディベート論(初学者)	1①-③	1								兼108
	クリティカル・シンキング	1①-③		1							兼3
	価値と情動の認知科学	1①-③		1							兼5
	論理学から見る世界	1①-③		1							兼1
	数学的発想法	1①-③		1							兼6
	芸術と自己表現	1①-③		1							兼9
	スポーツ科学	1①-③		1							兼6
	金沢・能登と世界の地域文化	1①-③		1							兼5
	日本史・日本文化	1②-④		1							兼9
	異文化間コミュニケーション	1①-③		1							兼8
	異文化体験	1②-④		1							兼11
	異文化体験	1②-④		2							兼10
	異文化体験	1②-④		3							兼7
	異文化体験	1②-④		4							兼6
	異文化体験	1②-④		5							兼3
	異文化体験	1②-④		6							兼3
	異文化体験	1②-④		7							兼3
	異文化体験	1②-④		8							兼3
	国際社会とボランティア	1①-③		1							兼3
	グローバル社会と地域の課題	1①-③		1							兼1
	科学技術と科学方法論	1①-③		1							兼5
統計学から未来を見る	1①-③		1							兼2	
情報の科学	1①-③		1							兼5	
環境学とESD	1①-③		1							兼3	
生活と社会保障	1③-④		1							兼3	
人権・ジェンダー論	1①-③		1							兼5	
GS言語科目(英語)	TOEIC準備 I	1①	1								兼30
	TOEIC準備 II	1②	1								兼30
	TOEIC準備 III	1③	1								兼31
	TOEIC準備 IV	1④	1								兼31
	TOEIC準備(演習)	1①-③		1							兼2
	English for Academic Purpose	1①	1								兼27
English for Academic Purpose	1①	1								兼28	
English for Academic Purpose	1③	1								兼34	
English for Academic Purpose	1④	1								兼34	
EAP(Retake)	1②-④		1								兼12
GS言語科目(日本語)	アカデミック基礎日本語A	1①-③	1								兼2
	アカデミック基礎日本語B	1②-④	1								兼2
	アカデミック・ライティング I A	1①-③		1							兼1
	アカデミック・ライティング I B	1②-④		1							兼1
	アカデミック・ライティング II A	1①-③		1							兼1
	アカデミック・ライティング II B	1②-④		1							兼1
	講義の聴解A	1①-③		1							兼1
	講義の聴解B	1②-④		1							兼1
	口頭発表 I A	1①		1							兼1
	口頭発表 I B	1②		1							兼1
	口頭発表 II A	1③		1							兼1
	口頭発表 II B	1④		1							兼1
	上級読解 I A	1①		1							兼1
	上級読解 I B	1②		1							兼1
	上級読解 II A	1③		1							兼1
	上級読解 II B	1④		1							兼1
	日本事情A	1①-③		1							兼1
	日本事情B	1②-④		1							兼1
	日本語で学ぶ論理A	1③		1							兼1
	日本語で学ぶ論理B	1④		1							兼1

基礎科目	微積分学第一	1①・②	2	兼9	
	微積分学第二	1③・④	2	兼7	
	線形代数学第一	1①・②	2	兼10	
	線形代数学第二	1③・④	2	兼7	
	統計数学	1③・④	2	兼3	
	物理学 I	1①・②	2	兼16	
	物理学 II	1①・②・③・④	2	兼15	
	物理学実験	1①・②・③・④	2	兼32	
	化学 I	1①・②	2	兼11	
	化学 II	1③・④	2	兼7	
	化学実験	1①・②・③・④	2	兼15	
	化学実験	2①	1	兼11	
	地学 I	1①・②	2	兼4	
	地学 II	1③・④	2	兼1	
	初習言語科目	ドイツ語A1-1	1①・③	1	兼8
		ドイツ語A1-2	1②・④	1	兼8
		ドイツ語A2-1	1①・③	1	兼8
		ドイツ語A2-2	1②・④	1	兼8
		ドイツ語A3-1	1①・③	1	兼8
		ドイツ語A3-2	1②・④	1	兼8
ドイツ語A4-1		1①・③	1	兼7	
ドイツ語A4-2		1②・④	1	兼7	
ドイツ語B-1		2①	1	兼3	
ドイツ語B-2		2②	1	兼3	
ドイツ語C-1		2①・③	1	兼2	
ドイツ語C-2		2②・④	1	兼2	
フランス語A1-1		1①・③	1	兼4	
フランス語A1-2		1②・④	1	兼4	
フランス語A2-1		1①・③	1	兼5	
フランス語A2-2		1②・④	1	兼5	
フランス語A3-1		1①・③	1	兼4	
フランス語A3-2		1②・④	1	兼4	
フランス語A4-1		1①・③	1	兼4	
フランス語A4-2		1②・④	1	兼4	
フランス語B-1		2①・③	1	兼6	
フランス語B-2		2②・④	1	兼6	
フランス語C-1		2①・③	1	兼4	
フランス語C-2		2②・④	1	兼4	
ロシア語A1-1		1①	1	兼1	
ロシア語A1-2		1②	1	兼1	
ロシア語A2-1		1①	1	兼1	
ロシア語A2-2		1②	1	兼1	
ロシア語A3-1		1③	1	兼1	
ロシア語A3-2		1④	1	兼1	
ロシア語A4-1		1③	1	兼1	
ロシア語A4-2		1④	1	兼1	
ロシア語B-1		2①・③	1	兼1	
ロシア語B-2		2②・④	1	兼1	
ロシア語C-1		2①・③	1	兼1	
ロシア語C-2		2②・④	1	兼1	
中国語A1-1		1①・③	1	兼6	
中国語A1-2		1②・④	1	兼6	
中国語A2-1		1①・③	1	兼4	
中国語A2-2		1②・④	1	兼4	
中国語A3-1		1①・③	1	兼5	
中国語A3-2		1②・④	1	兼5	
中国語A4-1		1①・③	1	兼4	
中国語A4-2		1②・④	1	兼4	
中国語B-1		2①・③	1	兼3	
中国語B-2		2②・④	1	兼3	
中国語C-1		2①・③	1	兼3	
中国語C-2		2②・④	1	兼3	
朝鮮語A1-1		1①・③	1	兼2	
朝鮮語A1-2		1②・④	1	兼2	
朝鮮語A2-1		1①・③	1	兼2	
朝鮮語A2-2		1②・④	1	兼2	
朝鮮語A3-1		1①・③	1	兼1	
朝鮮語A3-2		1②・④	1	兼1	
朝鮮語A4-1		1①・③	1	兼1	
朝鮮語A4-2		1②・④	1	兼1	
朝鮮語B-1		2①・③	1	兼1	
朝鮮語B-2		2②・④	1	兼1	
朝鮮語C-1		2①・③	1	兼2	
朝鮮語C-2		2②・④	1	兼2	
ギリシャ語A1-1		1①	1	兼1	
ギリシャ語A1-2		1②	1	兼1	
ギリシャ語A2-1		1③	1	兼1	
ギリシャ語A2-2		1④	1	兼1	
ギリシャ語A3-1		1①	1	兼1	
ギリシャ語A3-2		1②	1	兼1	
ギリシャ語A4-1		1③	1	兼1	
ギリシャ語A4-2		1④	1	兼1	
ギリシャ語B-1		1①	1	兼1	
ギリシャ語B-2		1②	1	兼1	
ギリシャ語C-1		1③	1	兼1	
ギリシャ語C-2		1④	1	兼1	
ラテン語A1-1		1①	1	兼2	
ラテン語A1-2		1②	1	兼2	
ラテン語A2-1		1③	1	兼2	
ラテン語A2-2		1④	1	兼2	
ラテン語A3-1		1①	1	兼1	
ラテン語A3-2		1②	1	兼1	
ラテン語A4-1		1③	1	兼1	
ラテン語A4-2		1④	1	兼1	

基礎科目	微積分学第一	1①・②	2	兼10	
	微積分学第二	1③・④	2	兼6	
	線形代数学第一	1①・②	2	兼10	
	線形代数学第二	1③・④	2	兼6	
	統計数学	1③・④	2	兼3	
	物理学 I	1①・②	2	兼15	
	物理学 II	1①・②・③・④	2	兼15	
	物理学実験	1①・②・③・④	2	兼27	
	化学 I	1①・②	2	兼9	
	化学 II	1③・④	2	兼6	
	化学実験	1①・②・③・④	2	兼15	
	化学実験	2①	1	兼12	
	地学 I	1①・②	2	兼2	
	地学 II	1③・④	2	兼1	
	初習言語科目	ドイツ語A1-1	1①・③	1	兼9
		ドイツ語A1-2	1②・④	1	兼9
		ドイツ語A2-1	1①・③	1	兼8
		ドイツ語A2-2	1②・④	1	兼8
		ドイツ語A3-1	1①・③	1	兼9
		ドイツ語A3-2	1②・④	1	兼9
ドイツ語A4-1		1①・③	1	兼8	
ドイツ語A4-2		1②・④	1	兼8	
ドイツ語B-1		2①	1	兼3	
ドイツ語B-2		2②	1	兼3	
ドイツ語C-1		2①・③	1	兼3	
ドイツ語C-2		2②・④	1	兼3	
フランス語A1-1		1①・③	1	兼4	
フランス語A1-2		1②・④	1	兼4	
フランス語A2-1		1①・③	1	兼2	
フランス語A2-2		1②・④	1	兼2	
フランス語A3-1		1①・③	1	兼4	
フランス語A3-2		1②・④	1	兼4	
フランス語A4-1		1①・③	1	兼3	
フランス語A4-2		1②・④	1	兼3	
フランス語B-1		2①	1	兼5	
フランス語B-2		2②	1	兼5	
フランス語C-1		2①・③	1	兼5	
フランス語C-2		2②・④	1	兼5	
ロシア語A1-1		1①	1	兼1	
ロシア語A1-2		1②	1	兼1	
ロシア語A2-1		1①	1	兼1	
ロシア語A2-2		1②	1	兼1	
ロシア語A3-1		1③	1	兼1	
ロシア語A3-2		1④	1	兼1	
ロシア語A4-1		1③	1	兼1	
ロシア語A4-2		1④	1	兼1	
ロシア語B-1		2①・③	1	兼2	
ロシア語B-2		2②・④	1	兼2	
ロシア語C-1		2①・③	1	兼1	
ロシア語C-2		2②・④	1	兼1	
中国語A1-1		1①	1	兼5	
中国語A1-2		1②	1	兼5	
中国語A2-1		1①	1	兼4	
中国語A2-2		1②	1	兼4	
中国語A3-1		1①・③	1	兼6	
中国語A3-2		1②・④	1	兼6	
中国語A4-1		1①・③	1	兼4	
中国語A4-2		1②・④	1	兼4	
中国語B-1		2①・③	1	兼3	
中国語B-2		2②・④	1	兼3	
中国語C-1		2①・③	1	兼3	
中国語C-2		2②・④	1	兼3	
朝鮮語A1-1		1①	1	兼2	
朝鮮語A1-2		1②	1	兼2	
朝鮮語A2-1		1①	1	兼1	
朝鮮語A2-2		1②	1	兼1	
朝鮮語A3-1		1①・③	1	兼2	
朝鮮語A3-2		1②・④	1	兼2	
朝鮮語A4-1		1①・③	1	兼1	
朝鮮語A4-2		1②・④	1	兼1	
朝鮮語B-1		2①・③	1	兼2	
朝鮮語B-2		2②・④	1	兼2	
朝鮮語C-1		2①・③	1	兼2	
朝鮮語C-2		2②・④	1	兼2	
ギリシャ語A1-1		1①	1	兼1	
ギリシャ語A1-2		1②	1	兼1	
ギリシャ語A2-1		1③	1	兼1	
ギリシャ語A2-2		1④	1	兼1	
ギリシャ語A3-1		1①	1	兼1	
ギリシャ語A3-2		1②	1	兼1	
ギリシャ語A4-1		1③	1	兼1	
ギリシャ語A4-2		1④	1	兼1	
ギリシャ語B-1		1①	1	兼1	
ギリシャ語B-2		1②	1	兼1	
ギリシャ語C-1		1③	1	兼1	
ギリシャ語C-2		1④	1	兼1	
ラテン語A1-1		1①	1	兼2	
ラテン語A1-2		1②	1	兼2	
ラテン語A2-1		1③	1	兼2	
ラテン語A2-2		1④	1	兼2	
ラテン語A3-1		1①	1	兼1	
ラテン語A3-2		1②	1	兼1	
ラテン語A4-1		1③	1	兼1	
ラテン語A4-2		1④	1	兼1	

	ラテン語B-1	1①	1	兼1
	ラテン語B-2	1②	1	兼1
	ラテン語C-1	1③	1	兼1
	ラテン語C-2	1④	1	兼1
	スペイン語A1-1	1①	1	兼1
	スペイン語A1-2	1②	1	兼1
	スペイン語A2-1	1①	1	兼1
	スペイン語A2-2	1②	1	兼1
	スペイン語A3-1	1③	1	兼1
	スペイン語A3-2	1④	1	兼1
	スペイン語A4-1	1③	1	兼1
	スペイン語A4-2	1④	1	兼1
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
	ジャーナリズム論	1・2③	1	兼1
	石川県の行政	1・2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1・2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	4・4①-②	2	兼2
	健康論実践D	1・2③-④	1	兼4
	健康論実践E	1・2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1・2①-②	1	兼8
	里山体験実習in能登半島	1・2①-②	1	兼6
	里山体験実習in能登半島	1・2①-②	1	兼6
	地元学A(地域資源調査)	1・2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1・2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1・2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1・2①-②	1	兼8
	クラウド時代の「ものグラミング」	1・2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1・2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1・2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1・2③-④	2	兼1
	ダイバーシティとインクルージョン	1・2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1・2①-②	2	兼1
	ファシリテーション入門	1・2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1・2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1・2③-④	2	兼13
	画像解剖学	2・3・4③-④	1	兼1
	よくわかる健康と病気	1・2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1・2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1・2③	1	兼3
	死と喪失	1・2①-②	1	兼1
	ひとのからだ I	1・2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1・2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1・2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1・2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1・2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白川)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	③-④	1	兼1
	地方行政	1・2③-④	2	兼1
	プランニング入門	1・2①-②	2	兼1
	ゼミ/政治哲学入門	1・2③-④	2	兼1
	茶道を通して学ぶ日本文化	1・2③-④	2	兼1
	日本の伝統芸能	1・2③-④	2	兼1
	金沢の歴史と文化	1・2③-④	2	兼2
	ESD入門	1・2①-②	1	兼1
	廃棄物管理と循環型社会	1・2①-②	1	兼1
	持続可能性と福祉	1・2①-③	1	兼1
	異文化間ダイアログ	1・2①-③	2	兼1
	日本の歴史からみた暦と時間	1・2①-③	2	兼1
	日本と金沢の建築・都市	1・2①-②	2	兼2
	コミュニケーションビジネス	1・2③-④	2	兼2
自由履修科目	日本国憲法概説	1・2③-④	2	兼4
	行政学入門	1・2①-②	2	兼1
	公共政策入門 I	1・2①-②	2	兼1
	経済学入門C	1・2③-④	2	兼1
	日本史要説	2③-④	2	兼4
	東洋史要説	2③-④	2	兼3
	法論学入門	1・2①	2	兼1
	異文化理解のためのビデオ	1・2③	1	兼1
	ビジネス入門	1・2①	1	兼1
	日本のオープンデータ活用	1・2②	1	兼1
	ビジネスと金融	1・2③	1	兼1
	世界のオープンデータ活用	1・2④	1	兼1
	ガラスとクリスタル I	1・2②	1	兼1
	ガラスとクリスタル II	1・2③	1	兼1
	英国諸島の地史 I	1・2②	1	兼1
	英国諸島の地史 II	1・2③	1	兼1
	地学実験	1・2①-③	2	兼16

	ラテン語B-1	1①	1	兼1
	ラテン語B-2	1②	1	兼1
	ラテン語C-1	1③	1	兼1
	ラテン語C-2	1④	1	兼1
	スペイン語A1-1	1①	1	兼2
	スペイン語A1-2	1②	1	兼2
	スペイン語A2-1	1①	1	兼2
	スペイン語A2-2	1②	1	兼2
	スペイン語A3-1	1③	1	兼2
	スペイン語A3-2	1④	1	兼2
	スペイン語A4-1	1③	1	兼2
	スペイン語A4-2	1④	1	兼2
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
	ジャーナリズム論	1・2③	1	兼2
	石川県の行政	1・2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1・2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	4・4①-②	2	兼2
	健康論実践D	1・2③-④	1	兼3
	健康論実践E	1・2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1・2①-②	1	兼7
	里山体験実習in能登半島	1・2①-②	1	兼6
	里山体験実習in能登半島	1・2①-②	1	兼5
	地元学A(地域資源調査)	1・2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1・2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1・2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1・2①-②	1	兼1
	クラウド時代の「ものグラミング」	1・2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1・2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1・2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1・2③-④	2	兼1
	ダイバーシティとインクルージョン	1・2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1・2①-②	2	兼1
	ファシリテーション入門	1・2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1・2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1・2③-④	2	兼11
	画像解剖学	2・3・4③-④	2	兼1
	よくわかる健康と病気	1・2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1・2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1・2③	1	兼3
	死と喪失	1・2①-②	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己分析1	1・2①	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己分析2	1・2②	1	兼1
	香りと日本文化	1・2②	1	兼1
	エンターテインメントの英語	1・2②	1	兼1
	芸術としての料理と写真	1・2③	1	兼1
	ひとのからだ I	1・2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1・2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1・2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1・2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1・2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白川)	①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	③-④	1	兼1
	地方行政	1・2③-④	2	兼1
	プランニング入門	1・2①-②	2	兼1
	ゼミ/政治哲学入門	1・2③-④	2	兼1
	日本文化・社会体験「茶道を学ぶ」	1・2③-④	2	兼1
	日本文化・社会体験「日本の歴史と文化」	1・2①-②	2	兼1
	ESD入門	1・2①-②	1	兼1
	廃棄物管理と循環型社会	1・2①-②	1	兼1
	持続可能性と福祉	1・2①-③	1	兼1
	異文化間ダイアログ	1・2①-③	2	兼1
	日本の歴史からみた暦と時間	1・2①-③	2	兼1
	日本と金沢の建築・都市	1・2②	1	兼2
	コミュニケーションビジネス	1・2③-④	2	兼2
自由履修科目	国連スタディー	1・2③	1	兼1
	日本国憲法概説	1・2③-④	2	兼5
	行政学入門	1・2①-②	2	兼1
	公共政策入門 I	1・2①-②	2	兼1
	経済学入門C	1・2③-④	2	兼1
	簿記入門	1・2①-②	2	兼1
	経済学入門D	1・2③-④	2	兼1
	日本史要説	2①-②	2	兼4
	東洋史要説	2③-④	2	兼3
	法論学入門	1・2①	2	兼1
	異文化理解のためのビデオ	1・2③	1	兼1
	ビジネス入門	1・2①	1	兼1
	日本のオープンデータ活用	1・2②	1	兼1
	ビジネスと金融	1・2③	1	兼1
	世界のオープンデータ活用	1・2④	1	兼1
	日本語と社会	1・2③-④	2	兼1
	行政学の基礎	1・2①-②	2	兼1
	ガラスとクリスタル I	1・2②	1	兼1
	ガラスとクリスタル II	1・2③	1	兼1
	英国諸島の地史 I	1・2②	1	兼1
	英国諸島の地史 II	1・2③	1	兼1
	地学実験	1・2①-③	2	兼17

	東洋医学	3-43-④	2			兼2
	コンピュータグラフィクス演習	1-23-④	2			兼1
	生物学実験	1-21-②	2			兼13
	実践Webプログラミング実習	1-23-④	2			兼1
	実践システム開発工程入門	1-23-④	2			兼1
	プログラミング演習	1-23-④	2			兼1
	環境動態学概説Ⅰ	1-2③	1			兼1
	環境動態学概説Ⅱ	1-2④	1			兼1
	海洋生化学演習	1-21-②	2			兼4
	動画配信サービスを用いた情	1-21-②	2			兼1
	プレゼンテーション演習	1-23-④	2			兼1
	英語セミナー	1-23-④	1			兼7
	英語セミナー	1-23-④	2			兼2
	ゼミ/漢文資料読解A	1-21-②	2			兼1
	ゼミ/漢文資料読解B	1-23-④	2			兼1
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を	1-23-④	2			兼1
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1			兼1
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2③	1			兼1
	身体・スポーツ実技/野外活	1-21-②	1			兼3
	身体・スポーツ実技/初心者	1-23-④	1			兼6
	ゼミ/身体運動心理学	3-43-②	2			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			兼1
学域GS科目	数学物理学演習A	1③	1			兼3
	数学物理学演習B	1④	1			兼3
	物質化学序論A	2①	1			兼4
	物質化学序論B	2②	1			兼4
	先端テクノロジー概論	1③-④	1	14		兼1
	数学物理基礎リテラシー	2①-②	1	2		兼5
	電子情報通信工学序論	2①	1			兼4
	地球社会基盤情報処理演	2①	1			兼8
	地球社会基盤情報処理演	2②	1			兼8
	生命科学技術論A	1①	1			兼14
生命科学技術論B	1②	1			兼7	
S言語	学域GS言語科目Ⅰ(理工系)	2①	1	1		
	学域GS言語科目Ⅱ(理工系)	2②	1	1		
フロンティア工学基礎	【学域共通科目】					
	情報・計算科学基礎	1③	2			兼3
	計算科学	1④	2			兼2
	情報処理演習	1③-④	1			兼2
	工業力学	2①-②	2			兼4
	計算機リテラシーA	2①	1			兼2
	計算機リテラシーB	2②	1			兼2
	地球社会基盤学概論A	2①	1			兼43
	地球社会基盤学概論B	2②	1			兼43
	生命理工学概論A	1③	2			兼14
	生命理工学概論B	1④	2			兼7
	国際研修A	1	1			
	国際研修B	2	1			
	【専門基礎科目Ⅰ】					
	微分方程式及び演習	1③-④	2			兼1
	フーリエ解析及び演習	2①-②	2			兼1
	ベクトル解析及び演習	2①-②	2			兼1
	複素解析及び演習	2③-④	2			兼1
	【専門基礎科目Ⅱ】					
	電気回路A	2①	1	1		
電気回路B	2②	1	1			
プログラミング演習	2①-②	2		1		
材料力学Ⅰ及び演習	2①-②	2	2	1	兼3	
プロセス工学A	2①	1	1	1		
プロセス工学B	2②	1	1	1		
コアプログラム(電子機械)	【実践コア科目】					
	機械工学設計製図基礎(M)	2③-④	2			兼1
	【コア科目Ⅰ】					
	材料力学ⅡA(ME)	2③	1	1		兼1
	材料力学ⅡB(ME)	2④	1	1		兼1
	振動工学Ⅰ及び演習(ME)	2③-④	2	1	1	
	流れ学Ⅰ及び演習(ME)	2③-④	2			兼2
	熱力学Ⅰ及び演習(ME)	2③-④	2			兼2
	【コア科目Ⅱ】					
	基礎加工学A	2③	1			兼3
	基礎加工学B	2④	1			兼3
	制御工学ⅠA(ME)	2③	1		1	兼1
	制御工学ⅠB(ME)	2④	1		1	兼1
	数値解析A	2③	1			兼2
	数値解析B	2④	1			兼2
	メカトロニクスA	3①	1	1		
	メカトロニクスB	3②	1	1		
電子回路概論A	3①	1	1			
電子回路概論B	3②	1	1			
電気回路C	3③	1	1			

	東洋医学	3-43-④	2			兼2
	コンピュータグラフィクス演習	1-23-④	2			兼1
	生物学実験	1-21-②	2			兼11
	実践Webプログラミング実習	1-23-④	2			兼1
	実践システム開発工程入門	1-23-④	2			兼1
	プログラミング演習	1-23-④	2			兼1
	環境動態学概説Ⅰ	1-2③	1			兼1
	環境動態学概説Ⅱ	1-2④	1			兼1
	海洋生化学演習	1-21-②	2			兼4
	動画配信サービスを用いた情	1-21-②	2			兼1
	プレゼンテーション演習	1-23-④	2			兼1
	Pythonデータ分析入門	1-2③	1			兼1
	英語セミナー	1-23-④	1			兼4
	英語セミナー	1-23-④	2			兼2
	ゼミ/漢文資料読解A	1-21-②	2			兼1
	ゼミ/漢文資料読解B	1-23-④	2			兼1
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を	1-23-④	2			兼1
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を	1-2③	1			兼1
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を	1-2④	1			兼1
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1			兼1
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2③	1			兼1
	身体・スポーツ実技/野外活	1-21-②	1			兼3
	身体・スポーツ実技/初心者	1-23-④	1			兼6
	ゼミ/身体運動心理学	3-43-②	2			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			兼1
	ドイツ語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			兼1
	フランス語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅠ-1)	1③	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅠ-2)	1④	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅡ-1)	1③	1			兼1
	中国語A(充実クラスⅡ-2)	1④	1			兼1
学域GS科目	数学物理学演習A	1③	1			兼3
	数学物理学演習B	1④	1			兼3
	物質化学序論A	2①	1			兼4
	物質化学序論B	2②	1			兼4
	先端テクノロジー概論	1③	1	15		兼1
	数学物理基礎リテラシー	2①-②	1	2		兼5
	電子情報通信工学序論	2①	1			兼4
	地球社会基盤情報処理演	2①	1			兼8
	地球社会基盤情報処理演	2②	1			兼8
	生命科学技術論A	1①	1			兼14
生命科学技術論B	1②	1			兼7	
S言語	学域GS言語科目Ⅰ(理工系)	2①	1	1		
	学域GS言語科目Ⅱ(理工系)	2②	1	1		
フロンティア工学基礎	【学域共通科目】					
	情報・計算科学基礎	1③	2			兼3
	計算科学	1④	2			兼2
	情報処理演習	1③-④	1			兼2
	工業力学	2①-②	2			兼4
	計算機リテラシーA	2①	1			兼2
	計算機リテラシーB	2②	1			兼2
	地球社会基盤学概論A	2①	1			兼43
	地球社会基盤学概論B	2②	1			兼43
	生命理工学概論A	1③	2			兼14
	生命理工学概論B	1④	2			兼7
	国際研修A	1	1		1	
	国際研修B	2	1		1	
	【専門基礎科目Ⅰ】					
	微分方程式及び演習	1③-④	2			兼1
	フーリエ解析及び演習	2①-②	2			兼1
	ベクトル解析及び演習	2①-②	2			兼1
	複素解析及び演習	2③-④	2			兼1
	【専門基礎科目Ⅱ】					
	電気回路A	2①	1	1		
電気回路B	2②	1	1			
プログラミング演習	2①-②	2		1		
材料力学Ⅰ及び演習	2①-②	2	2	1	兼3	
プロセス工学A	2①	1	1	1		
プロセス工学B	2②	1	1	1		
コアプログラム(電子機械)	【実践コア科目】					
	機械工学設計製図基礎(M)	2③-④	2			兼1
	【コア科目Ⅰ】					
	材料力学ⅡA(ME)	2③	1	1		兼1
	材料力学ⅡB(ME)	2④	1	1		兼1
	振動工学Ⅰ及び演習(ME)	2③-④	2	1	1	
	流れ学Ⅰ及び演習(ME)	2③-④	2			兼2
	熱力学Ⅰ及び演習(ME)	2③-④	2			兼2
	【コア科目Ⅱ】					
	基礎加工学A	2③	1			兼3
	基礎加工学B	2④	1			兼3
	制御工学ⅠA(ME)	2③	1		1	兼1
	制御工学ⅠB(ME)	2④	1		1	兼1
	数値解析A	2③	1			兼2
	数値解析B	2④	1			兼2
	メカトロニクスA	3①	1	1		
	メカトロニクスB	3②	1	1		
電子回路概論A	3①	1	1			
電子回路概論B	3②	1	1			
電気回路C	3③	1	1			

	電気回路D	3④		1												
	技術社会と倫理	4③		1												兼2
	【実践コア科目】															兼2
	機械工学設計製図基礎(B)	2③~④	2													兼2
	【コア科目Ⅰ】															
	振動工学Ⅰ及び演習(BH)	2③~④		2		1			1							兼1
	流れ工学Ⅰ及び演習(BH)	2③~④		2												兼4
	熱力学Ⅰ及び演習(BH)	2③~④		2												兼1
	材料力学ⅡA(BH)	2③		1												兼1
	材料力学ⅡB(BH)	2④		1												兼1
	信頼性工学A	2③		1		1										兼1
	信頼性工学B	2④		1		1										兼1
	【コア科目Ⅱ】															
	材料工学A(BH)	2③		1												兼1
	材料工学B(BH)	2④		1												兼1
	加工学A	2③		1												兼1
	加工学B	2④		1												兼1
	制御工学ⅠA(BH)	2③		1							1					兼1
	制御工学ⅠB(BH)	2④		1							1					兼1
	機械設計工学A	2③		1							1					兼1
	機械設計工学B	2④		1							1					兼1
	技術社会と倫理	4③		1												兼2
	【実践コア科目】															
	プロセス工学実験	2③~④		1												1
	プロセス工学演習	2③~④		1												2
	【コア科目Ⅰ】															
	統計解析A	2③		1												1
	統計解析B	2④		1												1
	プロセス工学数学A	2③		1					1							
	プロセス工学数学B	2④		1					1							
	伝熱工学A	2③		1					1							
	伝熱工学B	2④		1					1							
	流体工学A	2③		1												兼1
	流体工学B	2④		1												兼1
	熱力学A	2③		1												兼2
	熱力学B	2④		1												兼2
	物理化学A	2③		1					1							
	物理化学B	2④		1					1							
	化学反応速度論A	2③		1					1							
	化学反応速度論B	2④		1					1							
	プロセス工学量論A	2③		1					1	1						
	プロセス工学量論B	2④		1					2							
	プロセス制御A	2③		1					1							1
	プロセス制御B	2④		1					1							1
	単位操作A	2③		1					1							1
	単位操作B	2④		1					1							1
	工学における倫理と法	4①~②		2												兼3
	【実践コア科目】															
	電子情報基礎実験	2③~④	2			1										1
	【コア科目Ⅰ】															
	統計解析A	2③		1					1							
	統計解析B	2④		1					1							
	パターン認識A	2③		1												1
	パターン認識B	2④		1												1
	電気回路C	2③		1					1							
	電気回路D	2④		1					1							
	電子回路Ⅰ	2③		2					1							
	電子回路Ⅱ	2④		2					1							
	電気磁気学及び演習A	3①		1												兼2
	電気磁気学及び演習B	3②		1												兼2
	電気磁気学及び演習C	3③		1												兼1
	電気磁気学及び演習D	3④		1												兼1
	論理回路A	2③		1												1
	論理回路B	2④		1												1
	通信工学A	2③		1					1							
	通信工学B	2④		1					1							
	システム制御基礎A	2③		1					1							
	システム制御基礎B	2④		1					1							
	振動工学	2③~④		2					1							
	工学における倫理と法	4①~②		2												兼3
	【実践科目】															
	知能ロボティクス基礎実	3①~②		1					1	1						2
	機械工作実習(ME)	3①~②		1					1							2
	機械設計演習A	3①~②		1					1	1						2
	機械設計演習B	3②		1					1	1						2
	応用プログラミング技術	2③~④		2					1	1						兼2
	【専門科目】															
	振動工学ⅡA(ME)	3①		1					1							
	振動工学ⅡB(ME)	3②		1					1							
	航空宇宙工学A	3①		1						1						兼2
	航空宇宙工学B	3②		1						1						兼2
	制御工学ⅡA(ME)	3①		1						1						兼1
	制御工学ⅡB(ME)	3②		1						1						兼1
	熱力学ⅡA(ME)	3①		1						1						兼1
	熱力学ⅡB(ME)	3②		1						1						兼1
	機械設計学	3①		2					1							
	信号処理A	3①		1												1
	信号処理B	3②		1												1
	計測工学A	3③		1												兼1
	計測工学B	3④		1												兼1
	確率・統計解析A	3③		1												兼1
	確率・統計解析B	3④		1												兼2
	ロボット工学A	3①		1						2	2					
	ロボット工学B	3②		1						2	2					

	電気回路D	3④		1												
	技術社会と倫理	4③		1												兼2
	【実践コア科目】															兼2
	機械工学設計製図基礎(B)	2③~④	2													兼2
	【コア科目Ⅰ】															
	振動工学Ⅰ及び演習(BH)	2③~④		2					1							兼1
	流れ工学Ⅰ及び演習(BH)	2③~④		2												兼4
	熱力学Ⅰ及び演習(BH)	2③~④		2												兼1
	材料力学ⅡA(BH)	2③		1							1					兼1
	材料力学ⅡB(BH)	2④		1							1					兼1
	信頼性工学A	2③		1							1					兼1
	信頼性工学B	2④		1							1					兼1
	【コア科目Ⅱ】															
	材料工学A(BH)	2③		1												兼1
	材料工学B(BH)	2④		1												兼1
	加工学A	2③		1												兼1
	加工学B	2④		1												兼1
	制御工学ⅠA(BH)	2③		1												兼1
	制御工学ⅠB(BH)	2④		1												兼1
	機械設計工学A	2③		1							1	1				兼1
	機械設計工学B	2④		1							1	1				兼1
	技術社会と倫理															



～御システムデザイン	信号処理A	3①	1		1				
	信号処理B	3②	1		1				
	計算機アーキテクチャA	3①	1		1				
	計算機アーキテクチャB	3②	1		1				
	アルゴリズムとデータ構	3①	1		1				兼2
	アルゴリズムとデータ構	3②	1		1				兼2
	画像処理A	3③	1			1			
	画像処理B	3④	1			1			
	オペレーティングシステ	3①	1						兼1
オペレーティングシステ	3②	1						兼1	
情報ネットワークA	3①	1						兼1	
情報ネットワークB	3②	1						兼1	
フロントティアプログラム(ヒューマン・エコシステム)	【専門科目】								
	材料設計学A	3①	1						兼1
	材料設計学B	3②	1						兼1
	人間工学A	3③	1	1	1				
	人間工学B	3④	1	1	1				
	生体計測A	3③	1		1				
	生体計測B	3④	1		1				
	生物工学A	3③	1	1					兼1
	生物工学B	3④	1	1					兼1
	熱力学II A (BH)	3①	1						兼1
	熱力学II B (BH)	3②	1						兼1
	物質循環工学A	3③	1						兼1
	物質循環工学B	3④	1						兼1
	エネルギー・環境工学A	3③	1						兼1
	エネルギー・環境工学B	3④	1						兼1
	エネルギー変換工学A	3③	1						兼3
	エネルギー変換工学B	3④	1						兼3
	バイオテクノロジーA	3③	1		1				
	バイオテクノロジーB	3④	1		1				
	環境安全工学A	3①	1						兼1
	環境安全工学B	3②	1						兼1
	高分子材料物性A	3③	1	1					
高分子材料物性B	3④	1	1						
電気化学	3③～④	2							兼1
工業デザインA	4①	1							兼1
工業デザインB	4②	1							兼1
フロントティアプログラム(ナノセンシング)	【実践科目】								
	計測プログラミング及び	3③～④	2			2			
	【専門科目】								
	電気電子計測A	3①	1		1				
	電気電子計測B	3②	1		1				
	分離工学A	3①	1		1				
	分離工学B	3②	1		1				
	量子物理学	3①～②	2						
	計測標準学A	3③	1		1				
	計測標準学B	3④	1		1				
	マイクロコピーA	3③	1		1				
	マイクロコピーB	3④	1		1				
	スペクトロスコーピーA	3③	1		1			2	
	スペクトロスコーピーB	3④	1		1			2	
	バイオアナリシスA	3③	1		1				
	バイオアナリシスB	3④	1		1				
	ナノ粒子工学A	3③	1		1				
	ナノ粒子工学B	3④	1		1				
	センサ工学A	3③	1		1			1	
	センサ工学B	3④	1		1			1	
	環境計測A	3③	1						兼1
	環境計測B	3④	1						兼1
表面科学A	3③	1		1					
表面科学B	3④	1		1					
発展科目I	材料工学A (ME)	2③	1						
	材料工学B (ME)	2④	1						兼1
	機構運動学A	2③	1						兼1
	機構運動学B	2④	1						兼1
	伝熱工学A	3③	1						兼2
	伝熱工学B	3④	1						兼2
	応用数理解析A	3③	1						兼2
	応用数理解析B	3④	1						兼2
	レーザー工学A	3③	1						兼1
	レーザー工学B	3④	1						兼1
	機械材料学IA	3③	1						兼1
	機械材料学IB	3④	1						兼1
	企業開放講義	3③～④	1						兼2
	発展科目II	材料設計学A	3①	1					
材料設計学B		3②	1						兼1
熱力学II A (BH)		3①	1						兼1
熱力学II B (BH)		3②	1						兼1
生物工学A		3③	1	1					兼1
生物工学B		3④	1	1					兼1
企業開放講義		3③～④	1						兼2
物質循環工学A		3③	1						兼1
物質循環工学B		3④	1						兼1
応用伝熱学A		3③	1						兼1
応用伝熱学B		3④	1						兼1
エネルギー・環境工学A		3③	1						兼1
エネルギー・環境工学B		3④	1						兼1
発展		人体科学A	3①	1		1			
	人体科学B	3②	1		1				兼1
	振動工学II A (BH)	3①	1		1				兼1
	振動工学II B (BH)	3②	1		1				兼1
	流れ学II A (BH)	3①	1						兼1
	流れ学II B (BH)	3②	1						兼1

～御システムデザイン	信号処理A	3①	1			1			
	信号処理B	3②	1			1			
	計算機アーキテクチャA	3①	1			1			
	計算機アーキテクチャB	3②	1			1			
	アルゴリズムとデータ構	3①	1			1			兼2
	アルゴリズムとデータ構	3②	1			1			兼2
	画像処理A	3③	1				1		
	画像処理B	3④	1				1		
	オペレーティングシステ	3①	1						兼1
オペレーティングシステ	3②	1						兼1	
情報ネットワークA	3①	1						兼1	
情報ネットワークB	3②	1						兼1	
フロントティアプログラム(ヒューマン・エコシステム)	【専門科目】								
	材料設計学A	3①	1						兼1
	材料設計学B	3②	1						兼1
	人間工学A	3③	1	1	1				
	人間工学B	3④	1	1	1				
	生体計測A	3③	1		1				
	生体計測B	3④	1		1				
	生物工学A	3③	1	1					兼1
	生物工学B	3④	1	1					兼1
	熱力学II A (BH)	3①	1						兼1
	熱力学II B (BH)	3②	1						兼1
	物質循環工学A	3③	1						兼1
	物質循環工学B	3④	1						兼1
	エネルギー・環境工学A	3③	1						兼1
	エネルギー・環境工学B	3④	1						兼1
	エネルギー変換工学A	3③	1						兼3
	エネルギー変換工学B	3④	1						兼3
	バイオテクノロジーA	3③	1		1				
	バイオテクノロジーB	3④	1		1				
	環境安全工学A	3①	1						兼1
	環境安全工学B	3②	1						兼1
	高分子材料物性A	3③	1	1					
高分子材料物性B	3④	1	1						
電気化学	3③～④	2							兼1
工業デザインA	4①	1							兼1
工業デザインB	4②	1							兼1
フロントティアプログラム(ナノセンシング)	【実践科目】								
	計測プログラミング及び	3③～④	2				1	2	
	【専門科目】								
	電気電子計測A	3①	1		1				
	電気電子計測B	3②	1		1				
	分離工学A	3①	1		1				
	分離工学B	3②	1		1				
	量子物理学	3①～②	2						
	計測標準学A	3③	1		1				
	計測標準学B	3④	1		1				
	マイクロコピーA	3③	1		1				
	マイクロコピーB	3④	1		1				
	スペクトロスコーピーA	3③	1		1			2	
	スペクトロスコーピーB	3④	1		1			2	
	バイオアナリシスA	3③	1		1				
	バイオアナリシスB	3④	1		1				
	ナノ粒子工学A	3③	1		1				
	ナノ粒子工学B	3④	1		1				
	センサ工学A	3③	1		1			1	
	センサ工学B	3④	1		1			1	
	環境計測A	3③	1						兼1
	環境計測B	3④	1						兼1
表面科学A	3③	1		1					
表面科学B	3④	1		1					
発展科目I	材料工学A (ME)	2③	1						
	材料工学B (ME)	2④	1						兼1
	機構運動学A	2③	1						兼1
	機構運動学B	2④	1						兼1
	伝熱工学A	3③	1						兼2
	伝熱工学B	3④	1						兼2
	応用数理解析A	3③	1						兼2
	応用数理解析B	3④	1						兼2
	レーザー工学A	3③	1						兼1
	レーザー工学B	3④	1						兼1
	機械材料学IA	3③	1						兼1
	機械材料学IB	3④	1						兼1
	企業開放講義	3③～④	1						兼2
	発展科目II	材料設計学A	3①	1					
材料設計学B		3②	1						兼1
熱力学II A (BH)		3①	1						兼1
熱力学II B (BH)		3②	1						兼1
生物工学A		3③	1	1					兼1
生物工学B		3④	1	1					兼1
企業開放講義		3③～④	1						兼2
物質循環工学A		3③	1						兼1
物質循環工学B		3④	1						兼1
応用伝熱学A		3③	1						兼1
応用伝熱学B		3④	1						兼1
エネルギー・環境工学A		3③	1						兼1
エネルギー・環境工学B		3④	1						兼1
発展		人体科学A	3①	1		2			

科目 目 Ⅲ	伝熱学A	3①	1						兼1
	伝熱学B	3②	1						兼1
	制御工学ⅡA(BH)	3①	1	1					
	制御工学ⅡB(BH)	3②	1	1					
	企業開放講義	3③~④	1						兼2
応用伝熱学A	3③	1						兼1	
応用伝熱学B	3④	1						兼1	
フロン ティ ア 総 合 科 目	【専門総合科目】								
	フロンティアプロジェクト	3③	1	14	13	2	9		兼3
	フロンティアプロジェクト	3④	1	14	13	2	9		兼3
	学外技術体験実習A	1~2~3~4	1	14	13	2	9		兼3
	学外技術体験実習B	1~2~3~4	2	14	13	2	9		兼3
	海外技術体験実習	1~2~3~4	2	14	13	2	9		兼3
	卒業プロジェクト	4通	8	14	13	2	9		兼3
教職 科 目	工業概論	4①~②	2						兼11
	職業指導第1	3③~④	2						兼1
	職業指導第2	4①~②	2						兼1

科目 目 Ⅲ	伝熱学A	3①	1						兼1
	伝熱学B	3②	1						兼1
	制御工学ⅡA(BH)	3①	1	1					
	制御工学ⅡB(BH)	3②	1	1					
	企業開放講義	3③~④	1						兼2
応用伝熱学A	3③	1						兼1	
応用伝熱学B	3④	1						兼1	
フロン ティ ア 総 合 科 目	【専門総合科目】								
	フロンティアプロジェクト	3③	1	15	13	1	6		兼3
	フロンティアプロジェクト	3④	1	15	13	1	6		兼3
	学外技術体験実習A	1~2~3~4	1	15	13	1	6		兼3
	学外技術体験実習B	1~2~3~4	2	15	13	1	6		兼3
	海外技術体験実習	1~2~3~4	2	15	13	1	6		兼3
	卒業プロジェクト	4通	8	15	13	1	6		兼3
教職 科 目	工業概論	4①~②	2						兼11
	職業指導第1	3③~④	2						兼1
	職業指導第2	4①~②	2						兼1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>共通教育科目の見直しにより、「初学セミナー」の配当年次を「1年102030」から「1年1030」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「ケーススタディによる応用倫理」の配当年次を「1年102030Q4」から「1年2030Q4」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「プレゼン・ディベート論(初学セミナー)」の配当年次を「1年1020」から「1年2030」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の配当年次を「1年2030Q4」から「1年2030Q4」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「グローバル社会と地域の課題」の配当年次を「1年1030Q4」から「1年102030Q4」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「生活と社会保障」の配当年次を「1年30Q4」から「1年102030Q4」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「口頭発表1A」の配当年次を「1年30」から「1年10」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「口頭発表1B」の配当年次を「1年40」から「1年20」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「口頭発表1A」の配当年次を「1年10」から「1年30」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「口頭発表1B」の配当年次を「1年20」から「1年40」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-1」の配当年次を「2年1030」から「2年10」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-2」の配当年次を「2年2040」から「2年20」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「英語アソシエイト」の配当年次を「1年2010」から「1年2030Q4」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「クラウド時代の「ものづくり」概論」の配当年次を「1年2020」から「1年2030Q4」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「シミュレーション言語」の配当年次を「1年2020」から「1年2030Q4」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「画像解剖学」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「死と喪失」の配当年次を「1年2020」から「1年2010」に変更。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「アートセラピーを通じた自己分析1」「アートセラピーを通じた自己分析2」「香りと日本文化」「エンターテインメントの英語」「芸術としての料理と写真」「国連スタディ」「課題入門」「経済学入門」「日本語と社会」「行政学の基礎」「Pythonデータ分析入門」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2」を新規追加。</li> <li>共通教育科目の見直しにより、「哲学A」の配当年次を「2年1020」から「3年4年1020」に変更。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開講教室として大教室が利用できることになった理由により、「先端テクノロジー概論」の配当年次を「1年03、04」から「1年03」に変更。(受講生を2クラスに分け03、04にそれぞれ1クラスずつ開講する予定だったが、03に受講生全員を1クラスにして開講することが可能となった)</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「先端テクノロジー概論」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「制御工学ⅠA(ME)(コアプログラム(電子機械))」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「制御工学ⅠB(ME)(コアプログラム(電子機械))」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「材料力学ⅡA(BH)(コアプログラム(機械))」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>専任教員の助教の新規採用の理由により、「情報性工学A」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教0」および「助教1」に変更。</li> <li>専任教員の助教の新規採用の理由により、「情報性工学B」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教0」および「助教1」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「機械設計工学A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」および「准教授1」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「機械設計工学B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」および「准教授1」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任の理由により、「プロセス工学演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」および「助教1」に変更。</li> <li>専任教員の助教の退職の理由により、「プロセス工学実験」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任および助教の退職の理由により、「プロセス工学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」および「助教2」から「助教0」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任の理由により、「プロセス制御」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」および「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任の理由により、「プロセス制御」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」および「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>専任教員の助教の退職の理由により、「単位操作A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>専任教員の助教の退職の理由により、「単位操作B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「制御工学ⅡA(ME)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「制御工学ⅡB(ME)」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「ロボット工学A(フロンティアプログラム(知能ロボティクス))」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」および「准教授2」から「准教授1」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「ロボット工学B(フロンティアプログラム(知能ロボティクス))」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」および「准教授2」から「准教授1」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「バイオメカトロニクス基礎実験」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」および「准教授2」から「准教授1」に変更。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>専任教員の助教から准教授への昇任の理由により、「創造デザイン実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」および「准教授1」から「准教授0」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「人体科学A(フロンティアプログラム(バイオメカトロニクス))」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「人体科学B(フロンティアプログラム(バイオメカトロニクス))」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「ロボット工学A(フロンティアプログラム(バイオメカトロニクス))」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」および「准教授2」から「准教授1」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任の理由により、「ロボット工学B(フロンティアプログラム(バイオメカトロニクス))」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」および「准教授2」から「准教授1」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任の理由により、「マテリアルプロセス実験」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」および「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>他学類(機械工学類)と科目開講時期を再調整したことの理由により、「プラスチック成形加工A」の配当年次を「3年01」から「3年03」に変更、「プラスチック成形加工B」の配当年次を「3年02」から「3年04」に変更。</li> <li>他学類(機械工学類)と科目開講時期を再調整したことの理由により、「金属材料A」の配当年次を「4年01」から「3年03」に変更、「金属材料B」の配当年次を「4年02」から「3年04」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任および助教の退職の理由により、「計測プログラミング及び演習」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」および「助教2」から「助教0」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任および助教の退職の理由により、「スベクトロスコピー」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」および「助教2」から「助教0」に変更。</li> <li>専任教員の助教から准教授への昇任および助教の退職の理由により、「スベクトロスコピー」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」および「助教2」から「助教0」に変更。</li> <li>助教の退職の理由により、「センサ工学A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>助教の退職の理由により、「センサ工学B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。</li> <li>他学類(機械工学類)と科目開講時期を再調整したことの理由により、「機械材料学ⅠA」の配当年次を「3年03」から「3年01」に変更、「機械材料学ⅠB」の配当年次を「3年04」から「3年02」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「人体科学A(発展科目)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>兼任教員から専任教員への配置転換の理由により、「人体科学B(発展科目)」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」および兼任・兼任を「兼1」から「兼0」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任および助教から准教授への昇任および助教の新規採用および講師の退職および助教の退職の理由により、「フロンティアプロジェクトA」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」および「講師2」から「講師1」および「助教9」から「助教6」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任および助教から准教授への昇任および助教の新規採用および講師の退職および助教の退職の理由により、「フロンティアプロジェクトB」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」および「講師2」から「講師1」および「助教9」から「助教6」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任および助教から准教授への昇任および助教の新規採用および講師の退職および助教の退職の理由により、「学外技術体験実習A」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」および「講師2」から「講師1」および「助教9」から「助教6」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任および助教から准教授への昇任および助教の新規採用および講師の退職および助教の退職の理由により、「学外技術体験実習B」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」および「講師2」から「講師1」および「助教9」から「助教6」に変更。</li> <li>専任教員の准教授から教授への昇任および助教から准教授への昇任および助教の新規採用および講師の退職および助教の退職の理由により、「卒業プロジェクト」の専任教員等の配置を「教授14」から「教授15」および「講師2」から「講師1」および「助教9」から「助教6」に変更。</li> </ul>	

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画					変更状況					備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計			
35 科目	542 科目	39 科目	616 科目	35 科目	527 科目	39 科目	601 科目	[ ]	[ Δ15 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	ラテン語B-1	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	ラテン語B-2	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	ラテン語C-1	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
4	ラテン語C-2	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
5	キャリアディベロップメント実践	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
6	ダイバーシティとインクルージョン	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
7	学生・学習論	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
8	ことばと文化J	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
9	ゼミ／政治哲学入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
10	ESD入門	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
11	廃棄物管理と循環型社会	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
12	持続可能性と福祉	1	1・2①・③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
13	異文化間ディベート	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
14	日本の歴史からみた暦と時間	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
15	行政学入門	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
16	公共政策入門 I	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
17	経済学入門C	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
18	法論理学入門	2	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
19	ビジネス入門	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
20	日本のオープンデータ活用	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
21	ビジネスと金融	1	1・2③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
22	世界のオープンデータ活用	1	1・2④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
23	実践Webプログラミング実習	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
24	実践システム開発工程入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
25	ゼミ／アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
26	身体・スポーツ実技／野外活動	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
27	身体・スポーツ実技／初心者スキー	1	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
28	ゼミ／身体運動心理学	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っているため、廃止科目が生じることはやむを得ないとする。  
学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{28}{616} = \boxed{4.54}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	731,780㎡	㎡	㎡	731,780㎡				
	運動場用地	103,704㎡	㎡	㎡	103,704㎡				
	小 計	835,484㎡	㎡	㎡	835,484㎡				
	そ の 他	1,805,514㎡	㎡	㎡	1,805,514㎡				
	合 計	2,640,998㎡	㎡	㎡	2,640,998㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		283,269㎡ ( 283,269㎡)	㎡ ( ㎡)	㎡ ( ㎡)	283,269㎡ ( 283,269㎡)				
(3) 教室等		講義室 133室	演習室 194室	実験実習室 910室	情報処理学習施設 8室 (補助職員 人)	語学学習施設 6室 (補助職員 人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数					
		理工学域フロンティア工学類		35 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	全て大学全体での共用分	
	医薬保健学総合研究科医学専攻	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)		
	計	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)		
(6) 図書館		面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
		19,793㎡	2,187	1,625,424					
(7) 体育館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
		6,295㎡	可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-	-	
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-	-	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		-	-	-	-	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	金沢大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間社会学域									
人文学類	4	145	—	580	学士 (文学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.97	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	135	—	690	学士 (経済学)	0.99	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員185→135
学校教育学類	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	90	—	330	学士 (地域創造学)	1	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員80→90
国際学類	4	85	—	295	学士 (国際学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員70→85
理工学域									※理工学域の平均入学定員超過率には学域共通編入学に係る数値を含んでいない。
数物科学類	4	84	3年次 5	336	学士 (理学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	324	学士 (理学・工学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	100	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	110	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	80	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	100	学士 (理学・工学)	0.94	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	59	学士 (理学・工学)	0.86	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
電子情報学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
環境デザイン学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
自然システム学類	4	—	—	—	学士 (理学・工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
(学域共通編入学)			3年次 40	80					平成32年度より学域共通編入学停止
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	0.99	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	—	210	学士 (薬学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	—	160	学士 (創薬科学)		平成20年度	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.01	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.98	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.92	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.81	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.84	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	

教育学研究科												
教育実践高度化専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成21年度	金沢市角間町	平成28年度より学生募集停止			
人間社会環境研究科												
人文学専攻	2	23	—	46	修士 (文学・学術)	0.82	平成24年度	金沢市角間町				
法学・政治学専攻	2	8	—	16	修士 (法学・政治学)	0.25	平成24年度	金沢市角間町				
経済学専攻	2	6	—	14	修士 (経済学・経営学・学術)	0.71	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→6			
地域創造学専攻	2	14	—	22	修士 (地域創造学・学術)	1.09	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→14			
国際学専攻	2	10	—	18	修士 (国際学・学術)	1.05	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→10			
人間社会環境学専攻	3	12	—	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.22	平成18年度	金沢市角間町				
自然科学研究科												
数物科学専攻	2	56	—	112	修士 (理学・学術)	1.08	平成24年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	2	57	—	114	修士 (理学・工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	2	90	—	180	修士 (工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	2	67	—	134	修士 (工学・学術)	1.20	平成24年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	2	40	—	80	修士 (工学・学術)	1.03	平成24年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	2	67	—	134	修士 (理学・工学・学術)	1.04	平成24年度	金沢市角間町				
数物科学専攻	3	15	—	45	博士 (理学・学術)	0.75	平成16年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	3	14	—	42	博士 (理学・工学・学術)	0.33	平成26年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	3	25	—	75	博士 (工学・学術)	0.65	平成26年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	3	18	—	54	博士 (工学・学術)	0.64	平成16年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	3	10	—	30	博士 (工学・学術)	1.23	平成26年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	3	21	—	63	博士 (理学・工学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町				
システム創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
物質科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
環境科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			

医薬保健学総合研究科							
医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.90	平成24年度 金沢市宝町13-1
医学専攻	4	64	—	384	博士 (医学・学術)	0.91	平成28年度 金沢市宝町13-1
脳医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	—	76	修士 (創薬科学)	1.18	平成24年度 金沢市角間町
創薬科学専攻	3	11	—	33	博士 (創薬科学・学術)	0.87	平成24年度 金沢市角間町
薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学・学術)	1.06	平成24年度 金沢市角間町
保健学専攻	2	70	—	140	修士 (保健学)	0.77	平成24年度 金沢市小立野5-11-80
保健学専攻	3	25	—	75	博士 (保健学)	1.00	平成24年度 金沢市小立野5-11-80
先進予防医学研究科							
先進予防医学共同専攻	4	12	—	36	博士 (医学)	1.11	平成28年度 金沢市宝町13-1
新学術創成研究科							
融合科学共同専攻	2	14	—	14	修士 (融合科学)	0.92	平成30年度 金沢市角間町
法務研究科							
法務専攻	3	15	—	45	法務博士 (専門職)	0.60	平成16年度 金沢市角間町
教職実践研究科							
教職実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.06	平成28年度 金沢市角間町
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履							
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。							

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学域 フロンティア工学類>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	坂本 二郎 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	福間 剛士 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 通信工学A, 通信工学B, 電気電子計測A, 電気電子計測B, マイクロスコープA, マイクロスコープB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	内田 博久 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 化学反応速度論A, 化学反応速度論B, 結晶工学A, 結晶工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	大谷 吉生 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	瀬戸 章文 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, プロセス工学A, プロセス工学B, 統計解析A, 統計解析B, プロセス工学量論A, プロセス工学量論B, 微粒子工学A, 微粒子工学B, ナノ粒子工学A, ナノ粒子工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	新田 晃平 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 材料力学I及び演習, 物理化学A, 物理化学B, 高分子材料物性A, 高分子材料物性B, スペクトロスコープA, スペクトロスコープB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	岩田 佳雄 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	小松崎 俊彦 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 振動工学I及び演習(BH), 数値解析及びプログラミング演習A, 数値解析及びプログラミング演習B, 振動工学IIA(BH), 振動工学IIB(BH), 人間工学A, 人間工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	坂本 二郎 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 材料力学IIA(BH), 材料力学IIB(BH), 人体科学A, 人体科学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	福間 剛士 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 通信工学A, 通信工学B, 電気電子計測A, 電気電子計測B, マイクロスコープA, マイクロスコープB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	内田 博久 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 化学反応速度論A, 化学反応速度論B, 結晶工学A, 結晶工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	大谷 吉生 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	瀬戸 章文 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, プロセス工学A, プロセス工学B, 統計解析A, 統計解析B, プロセス工学量論A, プロセス工学量論B, 微粒子工学A, 微粒子工学B, ナノ粒子工学A, ナノ粒子工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	新田 晃平 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 材料力学I及び演習, 物理化学A, 物理化学B, 高分子材料物性A, 高分子材料物性B, スペクトロスコープA, スペクトロスコープB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	岩田 佳雄 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	小松崎 俊彦 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論, 振動工学I及び演習(BH), 数値解析及びプログラミング演習A, 数値解析及びプログラミング演習B, 振動工学IIA(BH), 振動工学IIB(BH), 人間工学A, 人間工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	関 啓明 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、振動工学I及び演習(ME)、振動工学、知能ロボティクス基礎実験、応用プログラミング技術、振動工学IIA(ME)、振動工学IIB(ME)、ロボット工学A、ロボット工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		立矢 宏 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、機械設計演習A、機械設計演習B、機械設計学、ロボット工学A、ロボット工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	教授	田中 茂雄 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、材料力学I及び演習、生体材料工学A、生体材料工学B、生物工学A、生物工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		田中 志信 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、信頼性工学A、信頼性工学B、創造デザイン実習、人体科学A、人体科学B、制御工学IIA(BH)、制御工学IIB(BH)、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	教授	飯山 宏一 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、電気回路A、電気回路B、電子情報基礎実験、電子回路I、電子回路II、電子回路概論A、電子回路概論B、電気回路C、電気回路D、センサ工学A、センサ工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		山本 茂 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、計測制御実験、システム制御C、システム制御D、デジタル制御A、デジタル制御B、システム最適化A、システム最適化B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	准教授	川西 琢也 ( ) <平成30年4月> プロセス工学数学A、プロセス工学数学B、分離工学A、分離工学B、表面科学A、表面科学B、計測標準学A、計測標準学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		汲田 幹夫 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー、プロセス工学数学A、プロセス工学数学B、伝熱工学A、伝熱工学B、プロセス工学量論A、プロセス工学量論B、マテリアルプロセス創成、表面科学A、表面科学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	准教授	滝口 昇 ( ) <平成30年4月> バイオテクノロジーA、バイオテクノロジーB、反応工学A、反応工学B、バイオアナリシスA、バイオアナリシスB、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	関 啓明 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、振動工学I及び演習(ME)、振動工学、知能ロボティクス基礎実験、応用プログラミング技術、振動工学IIA(ME)、振動工学IIB(ME)、ロボット工学A、ロボット工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		立矢 宏 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、機械設計演習A、機械設計演習B、機械設計学、ロボット工学A、ロボット工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	教授	田中 茂雄 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、材料力学I及び演習、生体材料工学A、生体材料工学B、生物工学A、生物工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		田中 志信 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、信頼性工学A、信頼性工学B、創造デザイン実習、人体科学A、人体科学B、制御工学IIA(BH)、制御工学IIB(BH)、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	教授	飯山 宏一 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、電気回路A、電気回路B、電子情報基礎実験、電子回路I、電子回路II、電子回路概論A、電子回路概論B、電気回路C、電気回路D、センサ工学A、センサ工学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		山本 茂 ( ) <平成30年4月> 先端テクノロジー概論、計測制御実験、システム制御C、システム制御D、デジタル制御A、デジタル制御B、システム最適化A、システム最適化B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	准教授	川西 琢也 ( ) <平成30年4月> プロセス工学数学A、プロセス工学数学B、分離工学A、分離工学B、表面科学A、表面科学B、計測標準学A、計測標準学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
		汲田 幹夫 ( ) <平成30年4月> 数学物理基礎リテラシー、プロセス工学数学A、プロセス工学数学B、伝熱工学A、伝熱工学B、プロセス工学量論A、プロセス工学量論B、マテリアルプロセス創成、表面科学A、表面科学B、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト
専	准教授	滝口 昇 ( ) <平成30年4月> バイオテクノロジーA、バイオテクノロジーB、反応工学A、反応工学B、バイオアナリシスA、バイオアナリシスB、フロンティア工学特別演習A、フロンティア工学特別演習B、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B、海外技術体験実習、卒業プロジェクト

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	東 秀憲 ( ) <平成30年4月>
		プロセス工学量論A, プロセス工学量論B, プロセス制御A, プロセス制御B, 単位操作A, 単位操作B, マテリアルシミュレーションA, マテリアルシミュレーションB, 計測標準学A, 計測標準学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	岸田 由美 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	辻 徳生 ( ) <平成30年4月>
		メカトロニクスA, メカトロニクスB, 知能ロボティクス基礎実験, 応用プログラミング技術, ロボット工学A, ロボット工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	得竹 浩 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習(ME), 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	内藤 尚 ( ) <平成30年4月>
		制御工学IA(BH), 制御工学IB(BH), バイオメカトロニクス基礎実験, 人間工学A, 人間工学B, 生体計測A, 生体計測B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	樋口 理宏 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 材料力学IIA(ME), 材料力学IIB(ME), 機械設計演習A, 機械設計演習B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	渡邊 哲陽 ( ) <平成30年4月>
		機械設計工学A, 機械設計工学B, バイオメカトロニクス基礎実験, 創造デザイン実習, ロボット工学A, ロボット工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	軸屋 一郎 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, システム制御基礎A, システム制御基礎B, 計測制御実験, システム制御A, システム制御B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	菅沼 直樹 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	東 秀憲 ( ) <平成30年4月>
		プロセス工学量論A, プロセス工学量論B, プロセス制御A, プロセス制御B, 単位操作A, 単位操作B, マテリアルシミュレーションA, マテリアルシミュレーションB, 計測標準学A, 計測標準学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	岸田 由美 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	辻 徳生 ( ) <平成30年4月>
		メカトロニクスA, メカトロニクスB, 知能ロボティクス基礎実験, 応用プログラミング技術, ロボット工学A, ロボット工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	得竹 浩 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習(ME), 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	内藤 尚 ( ) <平成30年4月>
		制御工学IA(BH), 制御工学IB(BH), バイオメカトロニクス基礎実験, 人間工学A, 人間工学B, 生体計測A, 生体計測B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	樋口 理宏 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 材料力学IIA(ME), 材料力学IIB(ME), 機械設計演習A, 機械設計演習B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	教授	渡邊 哲陽 ( ) <平成30年4月>
		機械設計工学A, 機械設計工学B, バイオメカトロニクス基礎実験, 創造デザイン実習, ロボット工学A, ロボット工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	軸屋 一郎 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, システム制御基礎A, システム制御基礎B, 計測制御実験, システム制御A, システム制御B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	准教授	菅沼 直樹 ( ) <平成30年4月>
		制御工学IA(ME), 制御工学IB(ME), 応用プログラミング技術, 制御工学IIB(ME), 熱力学IIA(ME), フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 康史 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	講師	香川 博之 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	講師	平野 晃宏 ( ) <平成30年4月>
		論理回路A, 論理回路B, 計測制御実験, 信号処理A, 信号処理B, 計算機アーキテクチャA, 計算機アーキテクチャB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B
専	助教	宮田 一輝 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	畝山 多加志 ( ) <平成30年4月>
		プロセス工学実験, プロセス工学演習, 単位操作A, 単位操作B, 計測プログラミング及び演習, スペクトロスコーピーA, スペクトロスコーピーB, センサ工学A, センサ工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	比江嶋 祐介 ( ) <平成30年4月>
		プロセス工学演習, プロセス制御A, プロセス制御B, マテリアルプロセス実験, 計測プログラミング及び演習, スペクトロスコーピーA, スペクトロスコーピーB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	浅沼 春彦 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習(BH), バイオメカトロニクス基礎実験, 創造デザイン実習, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	小塚 裕明 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械設計演習A, 機械設計演習B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	鈴木 陽介 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械設計演習A, 機械設計演習B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	野川 雅道 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 康史 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	講師	平野 晃宏 ( ) <平成30年4月>
		論理回路A, 論理回路B, 計測制御実験, 信号処理A, 信号処理B, 計算機アーキテクチャA, 計算機アーキテクチャB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B
専	助教	宮田 一輝 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	比江嶋 祐介 ( ) <平成30年4月>
		プロセス工学演習, プロセス制御A, プロセス制御B, マテリアルプロセス実験, 計測プログラミング及び演習, スペクトロスコーピーA, スペクトロスコーピーB, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	浅沼 春彦 ( ) <平成30年4月>
		振動工学I及び演習(BH), バイオメカトロニクス基礎実験, 創造デザイン実習, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	小塚 裕明 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械設計演習A, 機械設計演習B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	鈴木 陽介 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械設計演習A, 機械設計演習B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	野川 雅道 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	定津 正利 ( ) <平成30年4月>
		フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	久保 守 ( ) <平成30年4月>
		プログラミング演習, 電子情報基礎実験, パターン認識A, パターン認識B, 画像処理A, 画像処理B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
兼任	准教授	和田出 秀光 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, 微分方程式及び演習, フーリエ解析及び演習, ベクトル解析及び演習, 複素解析及び演習, 数値解析A, 数値解析B, 確率・統計解析A, 確率・統計解析B, 応用数理解析A, 応用数理解析B
兼任	准教授	門上 晃久 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, 微分方程式及び演習, フーリエ解析及び演習, ベクトル解析及び演習, 複素解析及び演習, 数値解析A, 数値解析B, 確率・統計解析A, 確率・統計解析B, 応用数理解析A, 応用数理解析B
兼任	准教授	兵頭 政春 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	准教授	砂田 哲 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, 計測工学A, 計測工学B
兼任	助教	新山 友暁 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	教授	北山 哲士 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 構造解析学A, 構造解析学B, 工業デザインA, 工業デザインB
兼任	教授	喜成 年泰 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 機械設計演習A, 機械設計演習B, 機構運動学A, 機構運動学B, 企業開放講義
兼任	教授	下川 智嗣 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 材料力学IIA(ME), 材料力学IIB(ME), 機械設計演習A, 機械設計演習B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	久保 守 ( ) <平成30年4月>
		プログラミング演習, 電子情報基礎実験, パターン認識A, パターン認識B, 画像処理A, 画像処理B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
専	助教	立野 大地 ( ) <平成30年4月>
		信頼性工学A, 信頼性工学B, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業プロジェクト
兼任	准教授	和田出 秀光 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, 微分方程式及び演習, フーリエ解析及び演習, ベクトル解析及び演習, 複素解析及び演習, 数値解析A, 数値解析B, 確率・統計解析A, 確率・統計解析B, 応用数理解析A, 応用数理解析B
兼任	教授	門上 晃久 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, 微分方程式及び演習, フーリエ解析及び演習, ベクトル解析及び演習, 複素解析及び演習, 数値解析A, 数値解析B, 確率・統計解析A, 確率・統計解析B, 応用数理解析A, 応用数理解析B
兼任	教授	兵頭 政春 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	准教授	砂田 哲 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー, 計測工学A, 計測工学B
兼任	助教	新山 友暁 ( ) <平成30年4月>
		数学物理基礎リテラシー
兼任	教授	北山 哲士 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 構造解析学A, 構造解析学B, 工業デザインA, 工業デザインB
兼任	教授	喜成 年泰 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 機械設計演習A, 機械設計演習B, 機構運動学A, 機構運動学B, 企業開放講義
兼任	教授	下川 智嗣 ( ) <平成30年4月>
		材料力学I及び演習, 材料力学IIA(ME), 材料力学IIB(ME), 機械設計演習A, 機械設計演習B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	岩井 智昭 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(ME)
兼任	教授	木綿 隆弘 ( ) <平成30年4月>
		流れ学I及び演習(ME), 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, 流れ学IIA(ME), 流れ学IIB(ME), エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B
兼任	准教授	小松 信義 ( ) <平成30年4月>
		流れ学I及び演習(ME), 伝熱工学A, 伝熱工学B, 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, 流れ学IIA(ME), 流れ学IIB(ME)
兼任	准教授	榎本 啓士 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(ME), エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B
兼任	准教授	寺岡 喜和 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(ME), 伝熱工学A, 伝熱工学B, 応用プログラミング技術, 熱力学IIA(ME), 熱力学IIB(ME)
兼任	教授	古本 達明 ( ) <平成30年4月>
		基礎加工学A, 基礎加工学B, 機械工作実習(ME), レーザー工学A, レーザー工学B
兼任	助教	小谷野 智広 ( ) <平成30年4月>
		基礎加工学A, 基礎加工学B, 知能ロボティクス基礎実験, 機械工作実習(ME)
兼任	教授	児玉 昭雄 ( ) <平成30年4月>
		技術社会と倫理, 熱力学IIB(BH), 物質循環工学A, エネルギー・環境工学A, エネルギー・環境工学B, エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B
兼任	教授	多田 幸生 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH), 技術社会と倫理, 伝熱学A, 伝熱学B, 応用伝熱学A, 応用伝熱学B
兼任	助教	大西 元 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(BH), バイオメカトロニクス基礎実験
兼任	助教	長谷川 雅人 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(BH), 流れ学I及び演習(BH), バイオメカトロニクス基礎実験, 流れ学IIA(BH), 流れ学IIB(BH)
兼任	教授	田村 和弘 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	岩井 智昭 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(ME)
兼任	教授	木綿 隆弘 ( ) <平成30年4月>
		流れ学I及び演習(ME), 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, 流れ学IIA(ME), 流れ学IIB(ME), エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B
兼任	准教授	小松 信義 ( ) <平成30年4月>
		流れ学I及び演習(ME), 伝熱工学A, 伝熱工学B, 航空宇宙工学A, 航空宇宙工学B, 流れ学IIA(ME), 流れ学IIB(ME)
兼任	准教授	榎本 啓士 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(ME), エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B
兼任	准教授	寺岡 喜和 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(ME), 伝熱工学A, 伝熱工学B, 応用プログラミング技術, 熱力学IIA(ME), 熱力学IIB(ME)
兼任	教授	古本 達明 ( ) <平成30年4月>
		基礎加工学A, 基礎加工学B, 機械工作実習(ME), レーザー工学A, レーザー工学B
兼任	助教	小谷野 智広 ( ) <平成30年4月>
		基礎加工学A, 基礎加工学B, 知能ロボティクス基礎実験, 機械工作実習(ME)
兼任	教授	児玉 昭雄 ( ) <平成30年4月>
		技術社会と倫理, 熱力学IIB(BH), 物質循環工学A, エネルギー・環境工学A, エネルギー・環境工学B, エネルギー変換工学A, エネルギー変換工学B
兼任	教授	多田 幸生 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH), 技術社会と倫理, 伝熱学A, 伝熱学B, 応用伝熱学A, 応用伝熱学B
兼任	助教	大西 元 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(BH), バイオメカトロニクス基礎実験
兼任	助教	長谷川 雅人 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(BH), 流れ学I及び演習(BH), バイオメカトロニクス基礎実験, 流れ学IIA(BH), 流れ学IIB(BH)
兼任	教授	田村 和弘 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH)

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	春木 将司 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH), 熱力学IIA(BH)
兼任	助教	多田 薫 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH), 熱力学A, 熱力学B
兼任	教授	石川 和宏 ( ) <平成30年4月>
		材料工学A(BH), 材料工学B(BH), 材料設計学A, 材料設計学B, 物質循環工学B
兼任	教授	浅川 直紀 ( ) <平成30年4月>
		加工学A, 加工学B, 機械工作実習(BH), 知的生産システムA, 知的生産システムB, 企業開放講義
兼任	准教授	瀧 健太郎 ( ) <平成30年4月>
		流体工学A, 流体工学B, 環境安全工学A, 環境安全工学B, プラスチック成形加工A, プラスチック成形加工B
兼任	准教授	丸山 武男 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習A, 電気磁気学及び演習B
兼任	准教授	後藤 由貴 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習A, 電気磁気学及び演習B, 機械学習A, 機械学習B, 数値シミュレーションA, 数値シミュレーションB
兼任	教授	八木谷 聡 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習C, 電気磁気学及び演習D
兼任	助教	若子 倫菜 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械設計演習A, 機械設計演習B
兼任	助教	米陀佳祐 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業研究
兼任	助教	橋本 洋平 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械工作実習(ME)
兼任	助教	河野 孝昭 ( ) <平成30年4月>
		流れ学IIA(ME), 流れ学IIB(ME)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	春木 将司 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH), 熱力学IIA(BH)
兼任	助教	多田 薫 ( ) <平成30年4月>
		熱力学I及び演習(BH), 熱力学A, 熱力学B
兼任	教授	石川 和宏 ( ) <平成30年4月>
		材料工学A(BH), 材料工学B(BH), <b>材料設計学A, 材料設計学B</b> , 物質循環工学B
兼任	教授	浅川 直紀 ( ) <平成30年4月>
		加工学A, 加工学B, 機械工作実習(BH), 知的生産システムA, 知的生産システムB, 企業開放講義
兼任	准教授	瀧 健太郎 ( ) <平成30年4月>
		流体工学A, 流体工学B, 環境安全工学A, 環境安全工学B, プラスチック成形加工A, プラスチック成形加工B
兼任	准教授	丸山 武男 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習A, 電気磁気学及び演習B
兼任	准教授	後藤 由貴 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習A, 電気磁気学及び演習B, 機械学習A, 機械学習B, 数値シミュレーションA, 数値シミュレーションB
兼任	教授	八木谷 聡 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習C, 電気磁気学及び演習D
兼任	助教	若子 倫菜 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械設計演習A, 機械設計演習B
兼任	助教	米陀佳祐 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, フロンティア工学特別演習A, フロンティア工学特別演習B, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B, 海外技術体験実習, 卒業研究
兼任	助教	橋本 洋平 ( ) <平成30年4月>
		知能ロボティクス基礎実験, 機械工作実習(ME)
兼任	准教授	河野 孝昭 ( ) <平成30年4月>
		流れ学IIA(ME), 流れ学IIB(ME)

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	准教授	松林 昭 ( ) <平成30年4月>
		アルゴリズムとデータ構造A, アルゴリズムとデータ構造B
兼担	助教	安永 憲司 ( ) <平成30年4月>
		アルゴリズムとデータ構造A, アルゴリズムとデータ構造B
兼担	助教	大坂 侑吾 ( ) <平成30年4月>
		バイオメカトロニクス基礎実験
兼担	助教	大西 元 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(BH), バイオメカトロニクス基礎実験
兼担	助教	高杉 敬吾 ( ) <平成30年4月>
		バイオメカトロニクス基礎実験, 創造デザイン実習
兼担	助教	猪股弥生 ( ) <平成30年4月>
		環境安全工学A, 環境安全工学B, 環境計測A, 環境計測B
兼担	准教授	山口孝浩 ( ) <平成30年4月>
		電気化学
兼担	准教授	栗原貴之 ( ) <平成30年4月>
		無機材料
兼担	教授	千木昌人 ( ) <平成30年4月>
		有機化学
兼担	教授	田中 康規 ( ) <平成30年4月>
		プラズマ工学A, プラズマ工学B
兼担	教授	渡邊 千尋 ( ) <平成30年4月>
		金属材料A, 金属材料B, 材料工学A (ME), 材料工学B (ME), 機械材料学IA, 機械材料学IB
兼担	教授	山根 智 ( ) <平成30年4月>
		オペレーティングシステムA, オペレーティングシステムB

【平成30年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	准教授	松林 昭 ( ) <平成30年4月>
		アルゴリズムとデータ構造A, アルゴリズムとデータ構造B
兼担	助教	安永 憲司 ( ) <平成30年4月>
		アルゴリズムとデータ構造A, アルゴリズムとデータ構造B
兼担	助教	大坂 侑吾 ( ) <平成30年4月>
		バイオメカトロニクス基礎実験
兼担	助教	大西 元 ( ) <平成30年4月>
		機械工学設計製図基礎(BH), バイオメカトロニクス基礎実験
兼担	助教	高杉 敬吾 ( ) <平成30年4月>
		バイオメカトロニクス基礎実験, 創造デザイン実習
兼担	助教	猪股弥生 ( ) <平成30年4月>
		環境安全工学A, 環境安全工学B, 環境計測A, 環境計測B
兼担	准教授	山口孝浩 ( ) <平成30年4月>
		電気化学
兼担	准教授	
兼担	教授	千木昌人 ( ) <平成30年4月>
		<b>有機化学</b>
兼担	教授	田中 康規 ( ) <平成30年4月>
		プラズマ工学A, プラズマ工学B
兼担	教授	渡邊 千尋 ( ) <平成30年4月>
		金属材料A, 金属材料B, 材料工学A (ME), 材料工学B (ME), 機械材料学IA, 機械材料学IB
兼担	教授	山根 智 ( ) <平成30年4月>
		オペレーティングシステムA, オペレーティングシステムB

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	満保 雅浩 ( ) <平成30年4月>
		情報ネットワークA, 情報ネットワークB
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成33年4月>
		工学における倫理と法
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成33年4月>
		工学における倫理と法
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成33年4月>
		工学における倫理と法
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成33年4月>
		工業デザインA, 工業デザインB
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成33年4月>
		工業デザインA, 工業デザインB
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成33年4月>
		工業デザインA, 工業デザインB
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成33年4月>
		工業デザインA, 工業デザインB
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成32年4月>
		量子物理学
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成32年4月>
		計測標準学A, 計測標準学B
兼任		【学外非常勤講師予定】 ( ) <平成32年4月>
		計測標準学A, 計測標準学B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	満保 雅浩 ( ) <平成30年4月>
		情報ネットワークA, 情報ネットワークB

(注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年3月31日 香川講師退職。
- ・平成30年3月31日 畷山助教退職。
- ・平成30年3月31日 野川助教退職。
- ・平成30年3月31日 疋津助教退職。
- ・平成30年4月1日 渡邊准教授、教授昇任。
- ・平成30年4月1日 比江嶋助教、准教授昇任。
- ・平成30年4月1日 立野助教採用。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
15	8
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
14	13	2	9	38	15	13	1	6	35	15	13	1	6	35
(14)	(13)	(2)	(9)	(38)						[ 1 ]	[ 0 ]	[ Δ 1 ]	[ Δ 3 ]	[ Δ 3 ]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{35}{38} = \boxed{92.1} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	香川 博之	選択	フロンティアプロジェクトA	①	H30. 3. 31付け退職（公立小松大学就職）のため就任辞退（30）			
			選択	フロンティアプロジェクトB					
			選択	学外技術体験実習A					
			選択	学外技術体験実習B					
			選択	海外技術体験実習					
			必修	卒業プロジェクト					
2	助教	野川 雅道	選択	フロンティアプロジェクトA	①	H30. 3. 31付け退職（公立小松大学就職）のため就任辞退（30）			
			選択	フロンティアプロジェクトB					
			選択	学外技術体験実習A					
			選択	学外技術体験実習B					
			選択	海外技術体験実習					
			必修	卒業プロジェクト					
3	助教	疋津 正利	選択	フロンティアプロジェクトA	①	H30. 3. 31付け退職（公立小松大学就職）のため就任辞退（30）			
			選択	フロンティアプロジェクトB					
			選択	学外技術体験実習A					
			選択	学外技術体験実習B					
			選択	海外技術体験実習					
			必修	卒業プロジェクト					
4	助教	畝山 多加志	必修	プロセス工学実験	①	H30. 3. 31付け退職（名古屋大学就職）のため就任辞退（30）			
			必修	プロセス工学演習					
			選択	単位操作A					
			選択	単位操作B					
			必修	計測プログラミング及び演習					
			選択	スペクトロスコーピーA					
			選択	スペクトロスコーピーB					
			選択	センサ工学A					
			選択	センサ工学B					
			選択	フロンティアプロジェクトA					
			選択	フロンティアプロジェクトB					
			選択	学外技術体験実習A					
			選択	学外技術体験実習B					
			選択	海外技術体験実習					
必修	卒業プロジェクト								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
4	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	27 科目	選択	27 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	34 科目	計	34 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4	人	必修	7 科目	必修	7 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	27 科目	選択	27 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	34 科目	計	34 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{4}{38} = \boxed{10.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生への周知は、シラバス等で周知を行った。担当科目については、他の専任教員が担当するため、学生への影響は少ない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<理工学域 フロンティア工学類>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
教育方法改善委員会（理工学域に設置）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
年10回程度開催（委員9名は毎回ほぼ全員出席している）

c 委員会の審議事項等  
教育方法改善にかかる諸事項審議・決定

② 実施状況

a 実施内容

① 授業方法改善のためのアンケート

② FD研修会，新任教員研修会の実施

③ アクティブラーニングに関する検討

b 実施方法

① 授業評価アンケート：各クォーター終了後，学生がWebからアンケート回答→集計→各教員へフィードバック

② FD研修会，新任教員研修会：年に1回実施。

③ アクティブラーニングに関する検討：アクティブラーニングアドバイザーを選出・実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

① 授業評価アンケート回答率：約50%

② FD研修会出席率：約50% 新任教員研修会出席率：約60%

③ アクティブラーニング：28科目実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
科目ごとにアンケート結果を踏まえたリフレクションペーパーを作成している。  
実施例：板書とPPT資料を織り交ぜた授業展開。単元毎の小テスト実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
実施（年4回。各クォーター終了後）

b 教員や学生への公開状況，方法等  
理工学域Webサイトに，学類毎の集計結果を掲載。（授業担当教員はポータルサイトから担当科目の結果を参照できる）

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員充足，施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。  
FD活動や授業評価アンケートなどをもとに，カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・未定（検討中）

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （平成30年7月1日（予定））

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には，5月1日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学

## (3) 大学の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
学域長	(アオキ ケンイチ) 青木 健一 (平成28年4月)		
学類長	(イノクマ タカオ) 猪熊 孝夫 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。



(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学域 電子情報通信学類 学士(工学)	工学関係	4年	80人	年次 3年次 7人	334人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 252 ( - ) [ - ]	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	人 ( ) ( )	1.02倍	機械工学類, フロンティア工学類, 電子情報通信学類については, 「理工3学類 前期一括入試」を実施し, 2年次に学類配属を行う。  本表には, 「理系後期一括」入試による入学者分は含んでいない。
志願者数	505 ( - ) [ 14 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
受験者数	494 ( - ) [ 12 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
合格者数	264 ( - ) [ 8 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
B 入学者数	258 ( - ) [ 6 ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
1年次	258 [6] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	1年次の在学者には、「理工3学類（機械工学類，フロンティア工学類，電子情報通信学類）前期一括入試」による入学者を計上している。  1年次の在学者には、「理系後期一括」入試による入学者は含んでいない。	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )		[ ] ( )
4年次					/		[ ] ( )	[ ] ( )		[ ] ( )
計			258 [6] ( - )	[ ] ( )			[ ] ( )	[ ] ( )		[ ] ( )

- (注) ・ 数字は，平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には，留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際，備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には，留年者の状況について，内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	258 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	258 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{258} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



目	化学 I	1①-②	2	兼11
	化学 II	1③-④	2	兼7
化学実験	化学実験	1①-②-③-④	2	兼15
	化学実験	2①	1	兼11
地学 I	地学 I	1①-②	2	兼4
	地学 II	1③-④	2	兼1
初習言語科目	ドイツ語A1-1	1①-③	1	兼8
	ドイツ語A1-2	1②-④	1	兼8
	ドイツ語A2-1	1①-③	1	兼8
	ドイツ語A2-2	1②-④	1	兼8
	ドイツ語A3-1	1①-③	1	兼8
	ドイツ語A3-2	1②-④	1	兼8
	ドイツ語A4-1	1①-③	1	兼7
	ドイツ語A4-2	1②-④	1	兼7
	ドイツ語B-1	2①	1	兼3
	ドイツ語B-2	2②	1	兼3
	ドイツ語C-1	2①-③	1	兼2
	ドイツ語C-2	2②-④	1	兼2
	フランス語A1-1	1①-③	1	兼4
	フランス語A1-2	1②-④	1	兼4
	フランス語A2-1	1①-③	1	兼5
	フランス語A2-2	1②-④	1	兼5
	フランス語A3-1	1①-③	1	兼4
	フランス語A3-2	1②-④	1	兼4
	フランス語A4-1	1①-③	1	兼4
	フランス語A4-2	1②-④	1	兼4
	フランス語B-1	2①-③	1	兼6
	フランス語B-2	2②-④	1	兼6
	フランス語C-1	2①-③	1	兼4
	フランス語C-2	2②-④	1	兼4
	ロシア語A1-1	1①	1	兼1
	ロシア語A1-2	1②	1	兼1
	ロシア語A2-1	1①	1	兼1
	ロシア語A2-2	1②	1	兼1
	ロシア語A3-1	1③	1	兼1
	ロシア語A3-2	1④	1	兼1
	ロシア語A4-1	1③	1	兼1
	ロシア語A4-2	1④	1	兼1
	ロシア語B-1	2①-③	1	兼1
	ロシア語B-2	2②-④	1	兼1
	ロシア語C-1	2①-③	1	兼1
	ロシア語C-2	2②-④	1	兼1
	中国語A1-1	1①-③	1	兼6
	中国語A1-2	1②-④	1	兼6
	中国語A2-1	1①-③	1	兼4
	中国語A2-2	1②-④	1	兼4
	中国語A3-1	1①-③	1	兼5
	中国語A3-2	1②-④	1	兼5
	中国語A4-1	1①-③	1	兼4
	中国語A4-2	1②-④	1	兼4
	中国語B-1	2①-③	1	兼3
	中国語B-2	2②-④	1	兼3
	中国語C-1	2①-③	1	兼3
	中国語C-2	2②-④	1	兼3
	朝鮮語A1-1	1①-③	1	兼2
	朝鮮語A1-2	1②-④	1	兼2
	朝鮮語A2-1	1①-③	1	兼2
	朝鮮語A2-2	1②-④	1	兼2
	朝鮮語A3-1	1①-③	1	兼1
	朝鮮語A3-2	1②-④	1	兼1
	朝鮮語A4-1	1①-③	1	兼1
	朝鮮語A4-2	1②-④	1	兼1
	朝鮮語B-1	2①-③	1	兼1
	朝鮮語B-2	2②-④	1	兼1
	朝鮮語C-1	2①-③	1	兼2
	朝鮮語C-2	2②-④	1	兼2
	ギリシャ語A1-1	1①	1	兼1
	ギリシャ語A1-2	1②	1	兼1
	ギリシャ語A2-1	1③	1	兼1
	ギリシャ語A2-2	1④	1	兼1
	ギリシャ語A3-1	1①	1	兼1
	ギリシャ語A3-2	1②	1	兼1
	ギリシャ語A4-1	1③	1	兼1
	ギリシャ語A4-2	1④	1	兼1
	ギリシャ語B-1	1①	1	兼1
	ギリシャ語B-2	1②	1	兼1
	ギリシャ語C-1	1③	1	兼1
	ギリシャ語C-2	1④	1	兼1
	ラテン語A1-1	1①	1	兼2
	ラテン語A1-2	1②	1	兼2
	ラテン語A2-1	1③	1	兼2
	ラテン語A2-2	1④	1	兼2
	ラテン語A3-1	1①	1	兼1
	ラテン語A3-2	1②	1	兼1
	ラテン語A4-1	1③	1	兼1
	ラテン語A4-2	1④	1	兼1
	ラテン語B-1	1①	1	兼1
	ラテン語B-2	1②	1	兼1
	ラテン語C-1	1③	1	兼1
	ラテン語C-2	1④	1	兼1
	スペイン語A1-1	1①	1	兼1
	スペイン語A1-2	1②	1	兼1
	スペイン語A2-1	1①	1	兼1
	スペイン語A2-2	1②	1	兼1

共通教育科目

目	化学 I	1①-②	2	兼9
	化学 II	1③-④	2	兼6
化学実験	化学実験	1①-②-③-④	2	兼15
	化学実験	2①	1	兼12
地学 I	地学 I	1①-②	2	兼2
	地学 II	1③-④	2	兼1
初習言語科目	ドイツ語A1-1	1①-③	1	兼9
	ドイツ語A1-2	1②-④	1	兼9
	ドイツ語A2-1	1①-③	1	兼8
	ドイツ語A2-2	1②-④	1	兼8
	ドイツ語A3-1	1①-③	1	兼9
	ドイツ語A3-2	1②-④	1	兼9
	ドイツ語A4-1	1①-③	1	兼8
	ドイツ語A4-2	1②-④	1	兼8
	ドイツ語B-1	2①	1	兼3
	ドイツ語B-2	2②	1	兼3
	ドイツ語C-1	2①-③	1	兼3
	ドイツ語C-2	2②-④	1	兼3
	フランス語A1-1	1①-③	1	兼4
	フランス語A1-2	1②-④	1	兼4
	フランス語A2-1	1①-③	1	兼2
	フランス語A2-2	1②-④	1	兼2
	フランス語A3-1	1①-③	1	兼4
	フランス語A3-2	1②-④	1	兼4
	フランス語A4-1	1①-③	1	兼3
	フランス語A4-2	1②-④	1	兼3
	フランス語B-1	2①	1	兼5
	フランス語B-2	2②	1	兼5
	フランス語C-1	2①-③	1	兼5
	フランス語C-2	2②-④	1	兼5
	ロシア語A1-1	1①	1	兼1
	ロシア語A1-2	1②	1	兼1
	ロシア語A2-1	1①	1	兼1
	ロシア語A2-2	1②	1	兼1
	ロシア語A3-1	1③	1	兼1
	ロシア語A3-2	1④	1	兼1
	ロシア語A4-1	1③	1	兼1
	ロシア語A4-2	1④	1	兼1
	ロシア語B-1	2①-③	1	兼2
	ロシア語B-2	2②-④	1	兼2
	ロシア語C-1	2①-③	1	兼1
	ロシア語C-2	2②-④	1	兼1
	中国語A1-1	1①	1	兼5
	中国語A1-2	1②	1	兼5
	中国語A2-1	1①	1	兼4
	中国語A2-2	1②	1	兼4
	中国語A3-1	1①-③	1	兼6
	中国語A3-2	1②-④	1	兼6
	中国語A4-1	1①-③	1	兼4
	中国語A4-2	1②-④	1	兼4
	中国語B-1	2①-③	1	兼3
	中国語B-2	2②-④	1	兼3
	中国語C-1	2①-③	1	兼3
	中国語C-2	2②-④	1	兼3
	朝鮮語A1-1	1①	1	兼2
	朝鮮語A1-2	1②	1	兼2
	朝鮮語A2-1	1①	1	兼1
	朝鮮語A2-2	1②	1	兼1
	朝鮮語A3-1	1①-③	1	兼2
	朝鮮語A3-2	1②-④	1	兼2
	朝鮮語A4-1	1①-③	1	兼1
	朝鮮語A4-2	1②-④	1	兼1
	朝鮮語B-1	2①-③	1	兼2
	朝鮮語B-2	2②-④	1	兼2
	朝鮮語C-1	2①-③	1	兼2
	朝鮮語C-2	2②-④	1	兼2
	ギリシャ語A1-1	1①	1	兼1
	ギリシャ語A1-2	1②	1	兼1
	ギリシャ語A2-1	1③	1	兼1
	ギリシャ語A2-2	1④	1	兼1
	ギリシャ語A3-1	1①	1	兼1
	ギリシャ語A3-2	1②	1	兼1
	ギリシャ語A4-1	1③	1	兼1
	ギリシャ語A4-2	1④	1	兼1
	ギリシャ語B-1	1①	1	兼1
	ギリシャ語B-2	1②	1	兼1
	ギリシャ語C-1	1③	1	兼1
	ギリシャ語C-2	1④	1	兼1
	ラテン語A1-1	1①	1	兼2
	ラテン語A1-2	1②	1	兼2
	ラテン語A2-1	1③	1	兼2
	ラテン語A2-2	1④	1	兼2
	ラテン語A3-1	1①	1	兼1
	ラテン語A3-2	1②	1	兼1
	ラテン語A4-1	1③	1	兼1
	ラテン語A4-2	1④	1	兼1
	ラテン語B-1	1①	1	兼1
	ラテン語B-2	1②	1	兼1
	ラテン語C-1	1③	1	兼1
	ラテン語C-2	1④	1	兼1
	スペイン語A1-1	1①	1	兼2
	スペイン語A1-2	1②	1	兼2
	スペイン語A2-1	1①	1	兼2
	スペイン語A2-2	1②	1	兼2

共通教育科目

	スペイン語A3-1	1③	1	兼1
	スペイン語A3-2	1④	1	兼1
	スペイン語A4-1	1③	1	兼1
	スペイン語A4-2	1④	1	兼1
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
自由履修科目	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼1
	石川県の行政	1-2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1-2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	1-2③-④	2	兼2
	健康論実践D	1-2③-④	1	兼4
	健康論実践E	1-2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1-2①-②	1	兼8
	里山体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	里海体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1-2①-②	1	兼8
	クラウド時代の「もの」のグラミング	1-2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1-2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1-2③-④	2	兼1
	ダイバーシティ&インクルージョン	1-2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1-2①-②	2	兼1
	ファシリテーション入門	1-2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1-2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1-2③-④	2	兼13
	画像解剖学	2-3③-④	1	兼1
	よくわかる健康と病気	1-2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1-2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1-2③	1	兼3
	死と喪失	1-2③-④	1	兼1
	ひとのからだ I	1-2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1-2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1-2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1-2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1-2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白川)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	1③-④	1	兼1
	地方行政	1-2③-④	2	兼1
	ブランディング入門	1-2①-②	2	兼1
	ゼミノ政治哲学入門	1-2③-④	2	兼1
	茶道を通して学ぶ日本文化	1-2③-④	2	兼1
	日本の伝統芸能	1-2①-②	2	兼1
	金沢の歴史と文化	1-2③-④	2	兼2
	ESD入門	1-2①-②	1	兼1
廃棄物管理と循環型社会	1-2①-②	1	兼1	
持続可能性と福祉	1-2①-③	1	兼1	
異文化間イベント	1-2③-④	2	兼1	
日本の歴史からみた歴史と時間	1-2③-④	2	兼1	
日本と金沢の建築・都市	1-2①-②	2	兼2	
コミュニケーションビジネス	1-2③-④	2	兼2	
日本国憲法概説	1-2③-④	2	兼4	
行政学入門	1-2①-②	2	兼1	
公共政策入門 I	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門C	1-2③-④	2	兼1	
日本史要説	2③-④	2	兼4	
東洋史要説	2③-④	2	兼3	
法論理学入門	1-2①	2	兼1	
異文化理解のためのビデオ	1-2③	1	兼1	
ビジネス入門	1-2①	1	兼1	
日本のオープンデータ活用	1-2②	1	兼1	
ビジネスと金融	1-2③	1	兼1	
世界のオープンデータ活用	1-2④	1	兼1	
ガラスとクリスタル I	1-2②	1	兼1	
ガラスとクリスタル II	1-2③	1	兼1	
英国諸島の地史 I	1-2②	1	兼1	
英国諸島の地史 II	1-2③	1	兼1	
地学実験	1-2③-④	2	兼16	
東洋医学	3-4③-④	2	兼2	
コンピューターグラフィクス演習	1-2③-④	2	兼1	
生物学実験	1-2①-②	2	兼13	
実践Webプログラミング実習	1-2③-④	2	兼1	
実践システム開発工程入門	1-2③-④	2	兼1	
プログラミング演習	1-2③-④	2	兼1	
環境動態学概説 I	1-2③	1	兼1	
環境動態学概説 II	1-2④	1	兼1	

	スペイン語A3-1	1③	1	兼2
	スペイン語A3-2	1④	1	兼2
	スペイン語A4-1	1③	1	兼2
	スペイン語A4-2	1④	1	兼2
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
自由履修科目	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼2
	石川県の行政	1-2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1-2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	1-2③-④	2	兼2
	健康論実践D	1-2③-④	1	兼3
	健康論実践E	1-2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1-2①-②	1	兼7
	里山体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	里海体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼5
	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1-2①-②	1	兼1
	クラウド時代の「もの」のグラミング	1-2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1-2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1-2③-④	2	兼1
	ダイバーシティ&インクルージョン	1-2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1-2①-②	2	兼1
	ファシリテーション入門	1-2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1-2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1-2③-④	2	兼11
	画像解剖学	2-3③-④	2	兼1
	よくわかる健康と病気	1-2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1-2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1-2③	1	兼3
	死と喪失	1-2③-④	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己	1-2①	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己	1-2③	1	兼1
	香りと日本文化	1-2②	1	兼1
	エンターテインメントの英語	1-2②	1	兼1
	芸術としての料理と写真	1-2③	1	兼1
	ひとのからだ I	1-2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1-2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1-2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1-2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1-2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白川)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	1③-④	1	兼1
	地方行政	1-2③-④	2	兼1
	ブランディング入門	1-2①-②	2	兼1
ゼミノ政治哲学入門	1-2③-④	2	兼1	
日本文化・社会体験「茶道を	1-2③-④	2	兼1	
日本文化・社会体験「日本の	1-2①-②	2	兼1	
金沢の歴史と文化	1-2③-④	2	兼2	
ESD入門	1-2①-②	1	兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1-2①-②	1	兼1	
持続可能性と福祉	1-2①-③	1	兼1	
異文化間イベント	1-2③-④	2	兼1	
日本の歴史からみた歴史と時間	1-2③-④	2	兼1	
日本と金沢の建築・都市	1-2①-②	1	兼2	
コミュニケーションビジネス	1-2③-④	2	兼2	
日本国憲法概説	1-2③-④	2	兼5	
行政学入門	1-2①-②	2	兼1	
公共政策入門 I	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門C	1-2③-④	2	兼1	
簿記入門	1-2③-④	2	兼1	
経済学入門D	1-2③-④	2	兼1	
日本史要説	2①-②	2	兼4	
東洋史要説	2③-④	2	兼3	
法論理学入門	1-2①	2	兼1	
異文化理解のためのビデオ	1-2③	1	兼1	
ビジネス入門	1-2①	1	兼1	
日本のオープンデータ活用	1-2②	1	兼1	
ビジネスと金融	1-2③	1	兼1	
世界のオープンデータ活用	1-2④	1	兼1	
日本語と社会	1-2③-④	2	兼1	
行政学の基礎	1-2①-②	2	兼1	
ガラスとクリスタル I	1-2②	1	兼1	
ガラスとクリスタル II	1-2③	1	兼1	
英国諸島の地史 I	1-2②	1	兼1	
英国諸島の地史 II	1-2③	1	兼1	
地学実験	1-2③-④	2	兼17	
東洋医学	3-4③-④	2	兼2	
コンピューターグラフィクス演習	1-2③-④	2	兼1	
生物学実験	1-2①-②	2	兼11	
実践Webプログラミング実習	1-2③-④	2	兼1	
実践システム開発工程入門	1-2③-④	2	兼1	
プログラミング演習	1-2③-④	2	兼1	
環境動態学概説 I	1-2③	1	兼1	
環境動態学概説 II	1-2④	1	兼1	

専 門 科 目	学 域 G S 科 目	海洋生化学演習	1-2①-2	2	兼4		
		動画配信サービスを用いた情 プレゼンテーション演習	1-2①-2 1-2③-④	2	兼1 兼1		
		英語セミナー	1-2③-④	1	兼7		
		英語セミナー	1-2③-④	2	兼2		
		ゼミ/漢文資料読解A	1-2③-④	2	兼1		
		ゼミ/漢文資料読解B	1-2③-④	2	兼1		
		ゼミ/アフリカ系人の音楽を ゼミ/アフリカ系人の音楽を	1-2③-④ 1-2③-④	2	兼1 兼1		
		ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1	兼1		
		ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2②	1	兼1		
		身体・スポーツ実技/野外活 身体・スポーツ実技/野外活	1-2③-④ 1-2③-④	1	兼3 兼3		
		身体・スポーツ実技/初心者 身体・スポーツ実技/初心者	1-2③-④ 1-2③-④	1	兼6 兼6		
		ゼミ/身体運動心理学 ゼミ/身体運動心理学	1-2③-④ 1-2③-④	2	兼1 兼1		
		ドイツ語A(充実クラス I-1)	1③	1	兼1		
		ドイツ語A(充実クラス I-2)	1④	1	兼1		
		ドイツ語A(充実クラス II-1)	1③	1	兼1		
		ドイツ語A(充実クラス II-2)	1④	1	兼1		
		フランス語A(充実クラス I-1)	1③	1	兼1		
		フランス語A(充実クラス I-2)	1④	1	兼1		
		フランス語A(充実クラス II-1)	1③	1	兼1		
		フランス語A(充実クラス II-2)	1④	1	兼1		
		中国語A(充実クラス I-1)	1③	1	兼1		
		中国語A(充実クラス I-2)	1④	1	兼1		
		中国語A(充実クラス II-1)	1③	1	兼1		
		中国語A(充実クラス II-2)	1④	1	兼1		
		専 門 科 目	学 域 G S 科 目	数学物理学演習A	1③	1	兼3
				数学物理学演習B	1④	1	兼3
物質化学序論A	2①			1	兼4		
物質化学序論B	2②			1	兼4		
先端テクノロジー概論	1③-④			1	兼5		
数学物理基礎リテラシー	2①-②			1	兼5		
電子情報通信工学序論	2①			1	兼8		
地球社会基盤情報処理演 地球社会基盤情報処理演	2① 2②			1	兼8 兼8		
生命科学技術論A	1①			1	兼14		
生命科学技術論B	1②			1	兼7		
学域GS言語科目 I (理工系)	2①			1	1		
学域GS言語科目 II (理工系)	2②			1	1		
【学域共通科目】							
情報・計算科学基礎	1③			2	兼3		
計算科学	1④			2	兼2		
情報処理演習	1③-④			1	兼2		
工業力学	2①			2	兼4		
計算機リテラシーA	2①			1	兼2		
計算機リテラシーB	2②			1	兼2		
地球社会基盤学概論A	2①			1	兼43		
地球社会基盤学概論B	2②			1	兼43		
生命理工学概論A	1③			2	兼14		
生命理工学概論B	1④			2	兼7		
国際研修A	-----			1	1		
国際研修B	-----			2	1		
【学域共通科目(専門基礎)】							
微分方程式及び演習	1③-④	2	1				
フーリエ解析及び演習	2①-②	2	1				
ベクトル解析及び演習	2①-②	2	1				
複素解析及び演習	2③-④	2	1				
確率・統計及び演習	2③-④	2	1				
専 門 科 目	学 域 G S 科 目	【学域共通科目(専門)】					
		アルゴリズムとデータ構造	2①	1	1	1	
		アルゴリズムとデータ構造	2②	1	1	1	
		Cプログラミング序論A	2①	1			
		Cプログラミング序論B	2②	1			
		電気回路及び演習A	2①	1	1		
		電気回路及び演習B	2②	1	1		
		電気磁気学及び演習A	2①	1	2		
		電気磁気学及び演習B	2②	1	2		
		論理回路A	2①	1	1	1	
		論理回路B	2②	1	1	1	
		情報ネットワークA	2①	1	1		
		情報ネットワークB	2②	1	1		
		Cプログラミング演習A	2③	1	1	1	
		Cプログラミング演習B	2④	1	1	1	
		情報理論A(電気電子コー 情報理論B(電気電子コー	2③ 2④	1 1	1 1	1 1	
		情報理論A(情報通信コー 情報理論B(情報通信コー	2③ 2④	1 1	1 1	1 1	
		計算機システムA	2③	1		1	
		計算機システムB	2④	1		1	
		数値シミュレーションA	3①	1	1		
		数値シミュレーションB	3②	1	1		
		情報通信方式A	3①	1	1		
		情報通信方式B	3②	1	1		
		電磁波工学A	3①	1	1		
		電磁波工学B	3②	1	1		
		信号処理A	3①	1		1	
		信号処理B	3②	1		1	
		集積回路工学A	3①	1	1		
		集積回路工学B	3②	1	1		
		集積回路工学C	3③	1	1		
		集積回路工学D	3④	1	1		
		デジタル通信A	3③	1		兼1	

専 門 科 目	学 域 G S 科 目	海洋生化学演習	1-2①-2	2	兼4	
		動画配信サービスを用いた情 プレゼンテーション演習	1-2①-2 1-2③-④	2	兼1 兼1	
		英語セミナー	1-2③-④	1	兼7	
		英語セミナー	1-2③-④	2	兼2	
		ゼミ/漢文資料読解A	1-2③-④	2	兼1	
		ゼミ/漢文資料読解B	1-2③-④	2	兼1	
		ゼミ/アフリカ系人の音楽を ゼミ/アフリカ系人の音楽を	1-2③-④ 1-2③-④	2	兼1 兼1	
		ゼミ/アフリカ系人の音楽を ゼミ/アフリカ系人の音楽を	1-2③-④ 1-2③-④	1	兼1 兼1	
		ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1	兼1	
		ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2②	1	兼1	
		身体・スポーツ実技/野外活 身体・スポーツ実技/野外活	1-2③-④ 1-2③-④	1	兼3 兼3	
		身体・スポーツ実技/初心者 身体・スポーツ実技/初心者	1-2③-④ 1-2③-④	1	兼6 兼6	
		ゼミ/身体運動心理学 ゼミ/身体運動心理学	1-2③-④ 1-2③-④	2	兼1 兼1	
		ドイツ語A(充実クラス I-1)	1③	1	兼1	
		ドイツ語A(充実クラス I-2)	1④	1	兼1	
		ドイツ語A(充実クラス II-1)	1③	1	兼1	
		ドイツ語A(充実クラス II-2)	1④	1	兼1	
		フランス語A(充実クラス I-1)	1③	1	兼1	
		フランス語A(充実クラス I-2)	1④	1	兼1	
		フランス語A(充実クラス II-1)	1③	1	兼1	
		フランス語A(充実クラス II-2)	1④	1	兼1	
		中国語A(充実クラス I-1)	1③	1	兼1	
		中国語A(充実クラス I-2)	1④	1	兼1	
		中国語A(充実クラス II-1)	1③	1	兼1	
		中国語A(充実クラス II-2)	1④	1	兼1	
		専 門 科 目	学 域 G S 科 目	数学物理学演習A	1③	1
数学物理学演習B	1④			1	兼3	
物質化学序論A	2①			1	兼4	
物質化学序論B	2②			1	兼4	
先端テクノロジー概論	1③			1	兼5	
数学物理基礎リテラシー	2①-②			1	兼5	
電子情報通信工学序論	2①			1	兼8	
地球社会基盤情報処理演 地球社会基盤情報処理演	2① 2②			1	兼8 兼8	
生命科学技術論A	1①			1	兼14	
生命科学技術論B	1②			1	兼7	
学域GS言語科目 I (理工系)	2①			1	1	
学域GS言語科目 II (理工系)	2②			1	1	
【学域共通科目】						
情報・計算科学基礎	1③			2	兼3	
計算科学	1④			2	兼2	
情報処理演習	1③-④			1	兼2	
工業力学	2①			2	兼4	
計算機リテラシーA	2①			1	兼2	
計算機リテラシーB	2②			1	兼2	
地球社会基盤学概論A	2①			1	兼43	
地球社会基盤学概論B	2②			1	兼43	
生命理工学概論A	1③			2	兼14	
生命理工学概論B	1④			2	兼7	
国際研修A	-----			1	1	
国際研修B	-----			2	1	
【学域共通科目(専門基礎)】						
微分方程式及び演習	1③-④	2	1			
フーリエ解析及び演習	2①-②	2	1			
ベクトル解析及び演習	2①-②	2	1			
複素解析及び演習	2③-④	2	1			
確率・統計及び演習	2③-④	2	1			
専 門 科 目	学 域 G S 科 目	【学域共通科目(専門)】				
		アルゴリズムとデータ構造	2①	1	1	1
		アルゴリズムとデータ構造	2②	1	1	1
		Cプログラミング序論A	2①	1		
		Cプログラミング序論B	2②	1		
		電気回路及び演習A	2①	1	2	
		電気回路及び演習B	2②	1	2	
		電気磁気学及び演習A	2①	1	2	
		電気磁気学及び演習B	2②	1	2	
		論理回路A	2①	1	1	1
		論理回路B	2②	1	1	1
		情報ネットワークA	2①	1	1	
		情報ネットワークB	2②	1	1	
		Cプログラミング演習A	2③	1	1	1
		Cプログラミング演習B	2④	1	1	1
		情報理論A(電気電子コー 情報理論B(電気電子コー	2③ 2④	1 1	1 1	1 1
		情報理論A(情報通信コー 情報理論B(情報通信コー	2③ 2④	1 1	1 1	1 1
		計算機システムA	2③	1		1
		計算機システムB	2④	1		1
		数値シミュレーションA	3①	1	1	
		数値シミュレーションB	3②	1	1	
		情報通信方式A	3①	1	1	
		情報通信方式B	3②	1	1	
		電磁波工学A	3①	1	1	
		電磁波工学B	3②	1	1	
		信号処理A	3①	1		1
		信号処理B	3②	1		1
		集積回路工学A	3①	1	1	
		集積回路工学B	3②	1	1	
		集積回路工学C	3③	1	1	
		集積回路工学D	3④	1	1	
		デジタル通信A	3③	1		兼1

デジタル通信B	3④	1							兼1
無線通信システムA	3③	1	1						
無線通信システムB	3④	1	1						
音声音響工学A	3③	1	1						
音声音響工学B	3④	1	1						
【実践科目】									
電気電子工学実験第1 (電気)	2③・④	2	2	3	1				
電気電子工学実験第2 (電気)	3①・②	2	2	1	1				
電気電子工学実験第3 (電気)	3③・④	2	2	2					
情報通信工学実験第1 (情報)	2③・④	2	1	2				兼1	
情報通信工学実験第2 (情報)	3①・②	2		1	2				
情報通信工学実験第3 (情報)	3③・④	2		2	1				
自主課題研究 (情報通信)	3③・④	2	4	3	2				兼1
【総合科目】									
学外技術体験実習A	2①・2・3・4	1	1						
学外技術体験実習B	2①・2・3・4	2	1						
工学における倫理と法 (電気)	3①・②	2							兼3
工学における倫理と法 (情報)	4①・②	2							兼3
卒業研究	4通	8	16	12	2	4			兼2
工業概論	4①・②	2							兼11
職業指導第1	3③・④	2							兼1
職業指導第2	4①・②	2							兼1
《電気電子コース》									
【コース科目 (電気電子)】									
電気回路及び演習C	2③	1	1						
電気回路及び演習D	2④	1	1						
電子回路及び演習A	2③	1	1						
電子回路及び演習B	2④	1	1						
電気磁気学及び演習C	2③	1	1						
電気磁気学及び演習D	2④	1	1						
半導体工学A	2③	1	1						
半導体工学B	2④	1	1						
電気エネルギー変換工学A	2③	1	1						
電気エネルギー変換工学B	2④	1	1						
システム制御基礎A	2③	1							兼1
システム制御基礎B	2④	1							兼1
電子回路及び演習C	3①	1	1						
電子回路及び演習D	3②	1	1						
電気エネルギー伝送工学A	3①	1	1						
電気エネルギー伝送工学B	3②	1	1						
電気機器学A	3①	1	1						
電気機器学B	3②	1	1						
量子力学A	3①	1	1						
量子力学B	3②	1	1						
電子デバイスA	3①	1	1						
電子デバイスB	3②	1	1						
電気電子計測A	3①	1							兼1
電気電子計測B	3②	1							兼1
システム制御A	3①	1							兼1
システム制御B	3②	1							兼1
システム制御C	3③	1							兼1
システム制御D	3④	1							兼1
伝送回路A	3③	1	1						
伝送回路B	3④	1	1						
光エレクトロニクスA	3③	1	1						
光エレクトロニクスB	3④	1	1						
パワーエレクトロニクスA	3③	1	1						
パワーエレクトロニクスB	3④	1	1						
高電圧プラズマ工学A	3③	1	1						
高電圧プラズマ工学B	3④	1	1						
電子物性A	3③	1	1						
電子物性B	3④	1	1						
電気電子材料A	3③	1	1						
電気電子材料B	3④	1	1						
熱・統計力学A	3③	1	1						
熱・統計力学B	3④	1	1						
《情報通信コース》									
【コース科目 (情報通信)】									
情報基礎A	2③	1	1						
情報基礎B	2④	1	1						
形式言語論とオートマトン	2③	1	1						
形式言語論とオートマトン	2④	1	1						
電気・電子回路A	2③	1	1						
電気・電子回路B	2④	1	1						
電気磁気学及び演習C	2③	1	1						
電気磁気学及び演習D	2④	1	1						
コンパイラA	3①	1	1						
コンパイラB	3②	1	1						
オペレーティングシステム	3①	1	1						
オペレーティングシステム	3②	1	1						
オブジェクト指向プログラ	3①	1			1				
オブジェクト指向プログラ	3②	1			1				
システム最適化A	3①	1							
システム最適化B	3②	1							
情報セキュリティA	3①	1	1						1
情報セキュリティB	3②	1	1						1
先端情報通信技術論A	3③	1	4		1				
先端情報通信技術論B	3④	1	2	4		1			1
情報セキュリティC	3③	1	1		1				

デジタル通信B	3④	1							兼1
無線通信システムA	3③	1	1						
無線通信システムB	3④	1	1						
音声音響工学A	3③	1	1						
音声音響工学B	3④	1	1						
【実践科目】									
電気電子工学実験第1 (電気)	2③・④	2			3	3			
電気電子工学実験第2 (電気)	3①・②	2			2	1	1		
電気電子工学実験第3 (電気)	3③・④	2			2	2			
情報通信工学実験第1 (情報)	2③・④	2			1	2			兼1
情報通信工学実験第2 (情報)	3①・②	2			1	2			2
情報通信工学実験第3 (情報)	3③・④	2			2	2	1		
自主課題研究 (情報通信)	3③・④	2			4	3	2		兼1
【総合科目】									
学外技術体験実習A	2①・2・3・4	1	1						
学外技術体験実習B	2①・2・3・4	2	1						
工学における倫理と法 (電気)	3①・②	2							兼3
工学における倫理と法 (情報)	4①・②	2							兼3
卒業研究	4通	8				15	13	2	4
工業概論	4①・②	2				1	2		兼12
職業指導第1	3③・④	2							兼1
職業指導第2	4①・②	2							兼1
《電気電子コース》									
【コース科目 (電気電子)】									
電気回路及び演習C	2③	1	1						
電気回路及び演習D	2④	1	1						
電子回路及び演習A	2③	1	1						
電子回路及び演習B	2④	1	1						
電気磁気学及び演習C	2③	1	1						
電気磁気学及び演習D	2④	1	1						
半導体工学A	2③	1	1						
半導体工学B	2④	1	1						
電気エネルギー変換工学A	2③	1	1						
電気エネルギー変換工学B	2④	1	1						
システム制御基礎A	2③	1							兼1
システム制御基礎B	2④	1							兼1
電子回路及び演習C	3①	1	1						
電子回路及び演習D	3②	1	1						
電気エネルギー伝送工学A	3①	1	1						
電気エネルギー伝送工学B	3②	1	1						
電気機器学A	3①	1	1						
電気機器学B	3②	1	1						
量子力学A	3①	1	1						
量子力学B	3②	1	1						
電子デバイスA	3①	1	1						
電子デバイスB	3②	1	1						
電気電子計測A	3①	1							兼1
電気電子計測B	3②	1							兼1
システム制御A	3①	1							兼1
システム制御B	3②	1							兼1
自動設計・制御A	3①	1				1			
自動設計・制御B	3②	1				1			
システム制御C	3③	1							兼1
システム制御D	3④	1							兼1
伝送回路A	3③	1	1						
伝送回路B	3④	1	1						
光エレクトロニクスA	3③	1	1						
光エレクトロニクスB	3④	1	1						
パワーエレクトロニクスA	3③	1	1						
パワーエレクトロニクスB	3④	1	1						
高電圧プラズマ工学A	3③	1	1						
高電圧プラズマ工学B	3④	1	1						
電子物性A	3③	1	1						
電子物性B	3④	1	1						
電気電子材料A	3③	1	1						
電気電子材料B	3④	1	1						
熱・統計力学A	3③	1	1						
熱・統計力学B	3④	1	1						
電気エネルギー発生工学A	3③	1							兼1
電気エネルギー発生工学B	3④	1							兼1
電気法令	4③	1							兼1
《情報通信コース》									
【コース科目 (情報通信)】									
情報基礎A	2③	1	1						
情報基礎B	2④	1	1						
形式言語論とオートマトン	2③	1	1						
形式言語論とオートマトン	2④	1	1						
電気・電子回路A	2③	1	1						
電気・電子回路B	2④	1	1						
電気磁気学及び演習C	2③	1	1						
電気磁気学及び演習D	2④	1	1						
コンパイラA	3①	1	1						
コンパイラB	3②	1	1						
オペレーティングシステム	3①	1	1						
オペレーティングシステム	3②	1	1						
オブジェクト指向プログラ	3①	1							1
オブジェクト指向プログラ	3②	1							1
システム最適化A	3①	1							
システム最適化B	3②	1							
情報セキュリティA	3①	1	1						1
情報セキュリティB	3②	1	1						1
先端情報通信技術論A	3③	1	4		1				
先端情報通信技術論B	3④	1	2	4		1			1
情報セキュリティC	3③	1	1		1				



情報セキュリティD	3④	1	1	1	情報セキュリティD	3④	1	1	1
機械学習A	3③	1	1		機械学習A	3③	1	1	
機械学習B	3④	1	1		機械学習B	3④	1	1	
分散システムA	3③	1	1		分散システムA	3③	1	1	
分散システムB	3④	1	1		分散システムB	3④	1	1	
データベース論A	3③	1	1		データベース論A	3③	1	1	
データベース論B	3④	1	1		データベース論B	3④	1	1	
画像情報処理A	3③	1	1		画像情報処理A	3③	1	1	
画像情報処理B	3④	1	1		画像情報処理B	3④	1	1	
情報解析の数理A	3③	1	1		情報解析の数理A	3③	1	1	
情報解析の数理B	3④	1	1		情報解析の数理B	3④	1	1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字とさせていただきます。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・共通教育科目の見直しにより、「初學者ゼミ」の配当年次を「1年102030」から「1年1030」に変更。	・「ケーススタディによる応用倫理」の配当年次を「1年10203040」から「1年203040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「プレゼン・ディベート論(初學者ゼミ)」の配当年次を「1年1020」から「1年2030」に変更。	・「異文化間コミュニケーション」の配当年次を「1年203040」から「1年203040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の配当年次を「1年203040」から「1年203040」に変更。	・「グローバル社会と地域の課題」の配当年次を「1年103040」から「1年10203040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「生活と社会保障」の配当年次を「1年3040」から「1年10203040」に変更。	・「口頭発表ⅠA」の配当年次を「1年30」から「1年10」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅠB」の配当年次を「1年40」から「1年20」に変更。	・「口頭発表ⅡA」の配当年次を「1年10」から「1年30」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅡB」の配当年次を「1年20」から「1年40」に変更。	・「フランス語B-1」の配当年次を「2年1030」から「2年10」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-2」の配当年次を「2年2040」から「2年20」に変更。	・「中国語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。	・「中国語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。	・「中国語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。	・「朝鮮語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。	・「朝鮮語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。	・「朝鮮語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。	・「実践アントレプレナー学」の配当年次を「1年2年1010」から「1年2年3040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「実践アントレプレナー学」の配当年次を「1年2年1010」から「1年2年3040」に変更。	・「クラウド時代の「ものグラミング」概論」の配当年次を1年2年1020から「1年2年3040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「クラウド時代の「ものグラミング」概論」の配当年次を1年2年1020から「1年2年3040」に変更。	・「シェルスクリプト言語論」の配当年次を「1年2年1020」から「1年2年3040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプト言語論」の配当年次を「1年2年1020」から「1年2年3040」に変更。	・「画像解剖学」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「画像解剖学」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。	・「死と喪失」の配当年次を「1年2年102040」から「1年2年1020」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「死と喪失」の配当年次を「1年2年102040」から「1年2年1020」に変更。	・「アートセラピーを通じた自己分析1」「アートセラピーを通じた自己分析2」「香りと日本文化」「エンターテインメントの英語」「芸術としての料理と写真」「国連サステイナブル開発目標入門」「経済学入門」「日本語と社会」「行政学の基礎」「Pythonデータ分析入門」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2」を新規追加。
・共通教育科目の見直しにより、「アートセラピーを通じた自己分析1」「アートセラピーを通じた自己分析2」「香りと日本文化」「エンターテインメントの英語」「芸術としての料理と写真」「国連サステイナブル開発目標入門」「経済学入門」「日本語と社会」「行政学の基礎」「Pythonデータ分析入門」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2」を新規追加。	・「哲学A」の配当年次を「2年1020」から「3年4年1020」に変更。
・「哲学A」の配当年次を「2年1020」から「3年4年1020」に変更。	・「受講生を2クラスに分け03,04にそれぞれ1クラスずつ開講する予定だったが、大きな教室が利用できることになり03に受講生全員を1クラスにして開講できた」理由により、「先端テクノロジー概論」の配当年次を「1③・④」から「1③」に変更。
・「受講生を2クラスに分け03,04にそれぞれ1クラスずつ開講する予定だったが、大きな教室が利用できることになり03に受講生全員を1クラスにして開講できた」理由により、「先端テクノロジー概論」の配当年次を「1③・④」から「1③」に変更。	・「全教員の負担均一化」の理由により、「学域6S言語科目I(理工系英語I)」「学域6S言語科目II(理工系英語II)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
・「全教員の負担均一化」の理由により、「学域6S言語科目I(理工系英語I)」「学域6S言語科目II(理工系英語II)」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。	・「担当教員の職任変更」の理由により、「国際研修A」「国際研修B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
・「担当教員の職任変更」の理由により、「国際研修A」「国際研修B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。	・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。	・「担当科目の負担軽減」の理由により、「電気回路及び演習A」「電気回路及び演習B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。	・「担当科目の負担軽減」の理由により、「Cプログラミング演習A」「Cプログラミング演習B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。	・「担当科目の負担軽減」の理由により、「情報理論A」「情報理論B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。	・「全教員の負担均一化」の理由により、「電気電子工学実験第1」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教1」から「教授3、准教授3」に変更。
・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。	・「教員の退職および新規採用」の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授1、6、准教授1、2、講師2、助教4」から「教授1、5、准教授1、3、講師2、助教4」に変更。
・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。	・「担当科目の負担軽減」の理由により、「工業概論」の専任教員等の配置を「教授0、准教授0、兼1」から「教授1、准教授2、兼1」に変更。
・「担当教員の退職」の理由により、「ペクトル解析及び演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。	・「電気主任技術者の資格認定」の理由により、「自動設計・演習A」「自動設計・演習B」「電気エネルギー発生工学A」「電気エネルギー発生工学B」「電気法令」を新規科目として追加。またそれぞれの科目の専任教員等の配置を「准教授1」「准教授1」「兼1」「兼1」とした。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
52 科目	389 科目	0 科目	441 科目	52 科目 [ ]	407 科目 [18]	0 科目 [ ]	459 科目 [18]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	ラテン語B-1	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	ラテン語B-2	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	ラテン語C-1	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
4	ラテン語C-2	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
5	キャリアディベロップメント実践	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
6	ダイバーシティとインクルージョン	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
7	学生・学習論	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
8	ことばと文化J	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
9	ゼミ／政治哲学入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
10	ESD入門	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
11	廃棄物管理と循環型社会	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
12	持続可能性と福祉	1	1・2①・③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
13	異文化間ディベート	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
14	日本の歴史からみた暦と時間	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
15	行政学入門	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
16	公共政策入門 I	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
17	経済学入門C	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
18	法論理学入門	2	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
19	ビジネス入門	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
20	日本のオープンデータ活用	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
21	ビジネスと金融	1	1・2③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
22	世界のオープンデータ活用	1	1・2④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
23	実践Webプログラミング実習	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
24	実践システム開発工程入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
25	ゼミ／アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
26	身体・スポーツ実技／野外活動	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
27	身体・スポーツ実技／初心者スキー	1	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
28	ゼミ／身体運動心理学	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っているため、廃止科目が生じることはやむを得ないとする。学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{28}{441} = \boxed{6.34}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	731,780㎡	㎡	㎡	731,780㎡				
	運動場用地	103,704㎡	㎡	㎡	103,704㎡				
	小 計	835,484㎡	㎡	㎡	835,484㎡				
	そ の 他	1,805,514㎡	㎡	㎡	1,805,514㎡				
	合 計	2,640,998㎡	㎡	㎡	2,640,998㎡				
(2) 校舎	専 用	283,269㎡	㎡	㎡	283,269㎡	大学全体			
	( 283,269㎡)	( ㎡)	( ㎡)	( 283,269㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	133室	194室	910室	8室 (補助職員 人)	6室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学域電子情報通信学類			34 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	全て大学全体での共用分	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	医薬保健学総合研究科医学専攻	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)		
計	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	19,793㎡		2,187		1,625,424				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,295㎡		可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-	-	
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		-	-	-	-	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	金沢大学							備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学 定員	収 容 員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間社会学域									
人文学類	4	145	—	580	学士 (文学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.97	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	135	—	690	学士 (経済学)	0.99	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員185 →135
学校教育学類	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	90	—	330	学士 (地域創造学)	1	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員80→ 90
国際学類	4	85	—	295	学士 (国際学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員70→ 85
理工学域									※理工学域の平均入学定員超過率には学域共通 編入学に係る数値を含んでいない。
数物科学類	4	84	3年次 5	336	学士 (理学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	324	学士 (理学・工学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	100	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	110	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	80	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	100	学士 (理学・工学)	0.94	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	59	学士 (理学・工学)	0.86	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
電子情報学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
環境デザイン学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
自然システム学類	4	—	—	—	学士 (理学・工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
(学域共通編入学)			3年次 40	80					平成32年度より学域共通編入 学停止
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	0.99	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	—	210	学士 (薬学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	—	160	学士 (創薬科学)		平成20年度	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.01	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.98	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.92	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.81	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.84	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	

教育学研究科												
教育実践高度化専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成21年度	金沢市角間町	平成28年度より学生募集停止			
人間社会環境研究科												
人文学専攻	2	23	—	46	修士 (文学・学術)	0.82	平成24年度	金沢市角間町				
法学・政治学専攻	2	8	—	16	修士 (法学・政治学)	0.25	平成24年度	金沢市角間町				
経済学専攻	2	6	—	14	修士 (経済学・経営学・学術)	0.71	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→6			
地域創造学専攻	2	14	—	22	修士 (地域創造学・学術)	1.09	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→14			
国際学専攻	2	10	—	18	修士 (国際学・学術)	1.05	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→10			
人間社会環境学専攻	3	12	—	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.22	平成18年度	金沢市角間町				
自然科学研究科												
数物科学専攻	2	56	—	112	修士 (理学・学術)	1.08	平成24年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	2	57	—	114	修士 (理学・工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	2	90	—	180	修士 (工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	2	67	—	134	修士 (工学・学術)	1.20	平成24年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	2	40	—	80	修士 (工学・学術)	1.03	平成24年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	2	67	—	134	修士 (理学・工学・学術)	1.04	平成24年度	金沢市角間町				
数物科学専攻	3	15	—	45	博士 (理学・学術)	0.75	平成16年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	3	14	—	42	博士 (理学・工学・学術)	0.33	平成26年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	3	25	—	75	博士 (工学・学術)	0.65	平成26年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	3	18	—	54	博士 (工学・学術)	0.64	平成16年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	3	10	—	30	博士 (工学・学術)	1.23	平成26年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	3	21	—	63	博士 (理学・工学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町				
システム創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
物質科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
環境科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			

医薬保健学総合研究科							
医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.90	平成24年度 金沢市宝町13-1
医学専攻	4	64	—	384	博士 (医学・学術)	0.91	平成28年度 金沢市宝町13-1
脳医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1 平成28年度より学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	—	76	修士 (創薬科学)	1.18	平成24年度 金沢市角間町
創薬科学専攻	3	11	—	33	博士 (創薬科学・学術)	0.87	平成24年度 金沢市角間町
薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学・学術)	1.06	平成24年度 金沢市角間町
保健学専攻	2	70	—	140	修士 (保健学)	0.77	平成24年度 金沢市小立野5-11-80
保健学専攻	3	25	—	75	博士 (保健学)	1.00	平成24年度 金沢市小立野5-11-80
先進予防医学研究科							
先進予防医学共同専攻	4	12	—	36	博士 (医学)	1.11	平成28年度 金沢市宝町13-1
新学術創成研究科							
融合科学共同専攻	2	14	—	14	修士 (融合科学)	0.92	平成30年度 金沢市角間町
法務研究科							
法務専攻	3	15	—	45	法務博士 (専門職)	0.60	平成16年度 金沢市角間町
教職実践研究科							
教職実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.06	平成28年度 金沢市角間町
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履							
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。							

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学域 電子情報通信学類>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	石島 達夫 ( ) <平成30年4月>
		熱・統計力学 電子回路及び演習C 電子回路及び演習D 電気電子工学実験第3 国際研修A 国際研修B
専	教授	秋田 純一 ( ) <平成30年4月>
		論理回路A 論理回路B 電気・電子回路B 情報通信工学実験第1 集積回路工学C 集積回路工学D 先端情報通信技術論A 自主課題研究
専	教授	猪熊 孝夫 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論 計算機リテラシーA 計算機リテラシーB 電気電子工学実験第2 電気磁気学及び演習C 電気磁気学及び演習D
専	教授	上杉 喜彦 ( ) <平成30年4月>
		電気回路及び演習A 電気回路及び演習B
専	教授	蚊戸 宣幸 ( ) <平成30年4月>
		微分方程式及び演習
専	教授	北川 章夫 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論 電子情報通信工学序論 集積回路工学A 集積回路工学B 電子回路及び演習A 電子回路及び演習B 先端情報通信技術論A 自主課題研究
専	教授	佐々木 公洋 ( ) <平成30年4月>
専	教授	田中 康規 ( ) <平成30年4月>
		電気機器学A 電気機器学B 電気エネルギー伝送工学A 電気エネルギー伝送工学B 先端テクノロジー概論 電気電子工学実験第1 高電圧プラズマ工学A 高電圧プラズマ工学B
専	教授	藤解 和也 ( ) <平成30年4月>
		複素解析及び演習

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	石島 達夫 ( ) <平成30年4月>
		熱・統計力学 電子回路及び演習C 電子回路及び演習D 電気電子工学実験第3 国際研修A 国際研修B 学外技術体験学習A 学外技術体験学習B
専	教授	秋田 純一 ( ) <平成30年4月>
		工業概論 論理回路A 論理回路B 電気・電子回路B 情報通信工学実験第1 集積回路工学C 集積回路工学D 先端情報通信技術論A 自主課題研究
専	教授	猪熊 孝夫 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論 計算機リテラシーA 計算機リテラシーB 電気電子工学実験第2 電気磁気学及び演習C 電気磁気学及び演習D
専	教授	上杉 喜彦 ( ) <平成30年4月>
		電気回路及び演習A 電気回路及び演習B
専	教授	蚊戸 宣幸 ( ) <平成30年4月>
		微分方程式及び演習
専	教授	北川 章夫 ( ) <平成30年4月>
		先端テクノロジー概論 電子情報通信工学序論 集積回路工学A 集積回路工学B 電子回路及び演習A 電子回路及び演習B 先端情報通信技術論A 自主課題研究
専	教授	佐々木 公洋 ( ) <平成30年4月>
		電気電子工学実験第1
専	教授	田中 康規 ( ) <平成30年4月>
		電気機器学A 電気機器学B 電気エネルギー伝送工学A 電気エネルギー伝送工学B 先端テクノロジー概論 電気電子工学実験第1 高電圧プラズマ工学A 高電圧プラズマ工学B
専	教授	藤解 和也 ( ) <平成30年4月>
		複素解析及び演習



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	畑上 到 ( ) <平成30年4月> ベクトル解析及び演習
専	教授	松田 吉雄 ( ) <平成30年4月>
専	教授	満保 雅浩 ( ) <平成30年4月> 電子情報通信工学序論 情報ネットワークA 情報ネットワークB 情報セキュリティA 情報セキュリティB 先端テクノロジー概論 情報理論A 情報理論B 情報セキュリティC 情報セキュリティD 先端情報通信技術論A 先端情報通信技術論B 自主課題研究
専	教授	三好 正人 ( ) <平成30年4月> 電気・電子回路A 音声音響工学A 音声音響工学B 電気電子工学実験第3
専	教授	森本 章治 ( ) <平成30年4月> 電子デバイスA 電子デバイスB 電気電子工学実験第2 電子物性A 電子物性B 学外技術体験学習A 学外技術体験学習B
専	教授	八木谷 聡 ( ) <平成30年4月> 電磁波工学B 電子情報通信工学序論 先端テクノロジー概論 電気磁気学及び演習C 電気磁気学及び演習D 電気電子工学実験第1 無線通信システムA 無線通信システムB
専	教授	山根 智 ( ) <平成30年4月> オペレーティングシステムA オペレーティングシステムB コンパイラA コンパイラB 先端テクノロジー概論 情報基礎A 情報基礎B 先端情報通信技術論A 先端情報通信技術論B 分散システムA 分散システムB 自主課題研究
専	准教授	今村 幸祐 ( ) <平成30年4月> 情報通信工学実験第2 Cプログラミング演習A Cプログラミング演習B 画像情報処理A 画像情報処理B 先端情報技術論B 自主課題研究

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	松田 吉雄 ( ) <平成30年4月>
専	教授	満保 雅浩 ( ) <平成30年4月> 電子情報通信工学序論 情報ネットワークA 情報ネットワークB 情報セキュリティA 情報セキュリティB 先端テクノロジー概論 情報理論A 情報理論B 情報セキュリティC 情報セキュリティD 先端情報通信技術論A 先端情報通信技術論B 自主課題研究
専	教授	三好 正人 ( ) <平成30年4月> <b>電気回路及び演習A</b> <b>電気回路及び演習B</b> 電気・電子回路A 音声音響工学A 音声音響工学B 電気電子工学実験第3
専	教授	森本 章治 ( ) <平成30年4月> 電子デバイスA 電子デバイスB 電気電子工学実験第2 電子物性A 電子物性B
専	教授	八木谷 聡 ( ) <平成30年4月> 電磁波工学B 電子情報通信工学序論 先端テクノロジー概論 電気磁気学及び演習C 電気磁気学及び演習D 電気電子工学実験第1 無線通信システムA 無線通信システムB
専	教授	山根 智 ( ) <平成30年4月> オペレーティングシステムA オペレーティングシステムB コンパイラA コンパイラB 先端テクノロジー概論 情報基礎A 情報基礎B 先端情報通信技術論A 先端情報通信技術論B 分散システムA 分散システムB 自主課題研究
専	准教授	今村 幸祐 ( ) <平成30年4月> <b>工業概論</b> 情報通信工学実験第2 Cプログラミング演習A Cプログラミング演習B 画像情報処理A 画像情報処理B 先端情報技術論B 自主課題研究

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	上野 敏幸 ( ) <平成30年4月>
		電気電子工学実験第2 電気エネルギー変換工学A 電気エネルギー変換工学B パワーエレクトロニクスA パワーエレクトロニクスB
専	准教授	尾崎 光紀 ( ) <平成30年4月>
		情報通信方式A 情報通信方式B 電気電子工学第3 伝送回路A 伝送回路B
専	准教授	川江 健 ( ) <平成30年4月>
		電気回路及び演習C 電気回路及び演習D 電気電子材料A 電気電子材料B 電気電子工学実験第3
専	准教授	桑村 有司 ( ) <平成30年4月>
		電磁波工学A 電気電子工学実験第1
専	准教授	後藤 由貴 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習A 電気磁気学及び演習B 数値シミュレーションA 数値シミュレーションB 情報通信工学実験第1 機械学習A 機械学習B
専	准教授	唐堂 由其 ( ) <平成30年4月>
		学域GS言語科目I ( ) 学域GS言語科目II ( ) 先端情報通信技術論B
専	准教授	徳田 規夫 ( ) <平成30年4月>
		量子力学A 量子力学B 先端テクノロジー概論 電気電子工学実験第1 半導体工学A 半導体工学B
専	准教授	南保 英孝 ( ) <平成30年4月>
		計算機リテラシーA 計算機リテラシーB 先端情報通信技術論B データベース論A データベース論B 情報通信工学実験第3 自主課題研究
専	准教授	藤崎 礼志 ( ) <平成30年4月>
		フーリエ解析及び演習 情報解析の数理A 情報解析の数理B 自主課題研究
専	准教授	松林 昭 ( ) <平成30年4月>
		アルゴリズムとデータ構造A アルゴリズムとデータ構造B 形式言語論とオートマトンA 形式言語論とオートマトンB 情報通信工学実験第1 先端情報通信技術論B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	上野 敏幸 ( ) <平成30年4月>
		<b>工業理論</b> 電気電子工学実験第2 電気エネルギー変換工学A 電気エネルギー変換工学B パワーエレクトロニクスA パワーエレクトロニクスB <b>自動設計・製図A</b> <b>自動設計・製図B</b>
専	准教授	尾崎 光紀 ( ) <平成30年4月>
		情報通信方式A 情報通信方式B 電気電子工学第3 伝送回路A 伝送回路B
専	准教授	川江 健 ( ) <平成30年4月>
		電気回路及び演習C 電気回路及び演習D 電気電子材料A 電気電子材料B 電気電子工学実験第3
専	准教授	桑村 有司 ( ) <平成30年4月>
		電磁波工学A 電気電子工学実験第1
専	准教授	後藤 由貴 ( ) <平成30年4月>
		電気磁気学及び演習A 電気磁気学及び演習B 数値シミュレーションA 数値シミュレーションB 情報通信工学実験第1 機械学習A 機械学習B
専	准教授	唐堂 由其 ( ) <平成30年4月>
		<b>計算機リテラシーA</b> <b>計算機リテラシーB</b> 先端情報通信技術論B
専	准教授	徳田 規夫 ( ) <平成30年4月>
		量子力学A 量子力学B 先端テクノロジー概論 電気電子工学実験第1 半導体工学A 半導体工学B
専	准教授	南保 英孝 ( ) <平成30年4月>
		<b>情報理論A</b> <b>情報理論B</b> 先端情報通信技術論B データベース論A データベース論B 情報通信工学実験第3 自主課題研究
専	准教授	藤崎 礼志 ( ) <平成30年4月>
		フーリエ解析及び演習 情報解析の数理A 情報解析の数理B 自主課題研究
専	准教授	松林 昭 ( ) <平成30年4月>
		アルゴリズムとデータ構造A アルゴリズムとデータ構造B 形式言語論とオートマトンA 形式言語論とオートマトンB 情報通信工学実験第1 先端情報通信技術論B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 武男 ( ) <平成30年4月> 電子情報通信工学序論 電気磁気学及び演習A 電気磁気学及び演習B 電気電子工学実験第1 光エレクトロニクスA 光エレクトロニクスB
専	講師	堀田 英輔 ( ) <平成30年4月> 信号処理A 信号処理B 確率・統計及び演習 自主課題研究
専	講師	深山 正幸 ( ) <平成30年4月> 論理回路A 論理回路B 計算機システムA 計算機システムB 先端情報通信技術論A 情報通信工学実験第3 自主課題研究
専	助教	齋藤 毅 ( ) <平成30年4月> 電気電子工学実験第1
専	助教	櫻井 孝平 ( ) <平成30年4月> オブジェクト指向プログラミングA オブジェクト指向プログラミングB 情報通信工学実験第2 先端情報通信技術論B 情報通信工学実験第3
専	助教	松本 翼 ( ) <平成30年4月> 電気電子工学実験第2
専	助教	安永 憲司 ( ) <平成30年4月> アルゴリズムとデータ構造A アルゴリズムとデータ構造B 情報通信工学実験第2 情報セキュリティA 情報セキュリティB 情報セキュリティC 情報セキュリティD
兼担	教授	笠原 禎也 ( ) <平成30年4月> Cプログラミング序論A, Cプログラミング序論B, デジタル通信A, デジタル通信B
兼担	准教授	軸屋 一郎 ( ) <平成30年4月> システム制御基礎A, システム制御基礎B
兼担	教授	山本 茂 ( ) <平成30年4月> システム制御A, システム制御B, システム最適化 A, システム最適化B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 武男 ( ) <平成30年4月> 電子情報通信工学序論 電気磁気学及び演習A 電気磁気学及び演習B 電気電子工学実験第1 光エレクトロニクスA 光エレクトロニクスB
専	講師	堀田 英輔 ( ) <平成30年4月> 信号処理A 信号処理B Cプログラミング演習A Cプログラミング演習B 確率・統計及び演習 自主課題研究
専	講師	深山 正幸 ( ) <平成30年4月> 論理回路A 論理回路B 計算機システムA 計算機システムB 先端情報通信技術論A 情報通信工学実験第3 自主課題研究
専	助教	齋藤 毅 ( ) <平成30年4月>
専	助教	櫻井 孝平 ( ) <平成30年4月> オブジェクト指向プログラミングA オブジェクト指向プログラミングB 情報通信工学実験第2 先端情報通信技術論B 情報通信工学実験第3
専	助教	松本 翼 ( ) <平成30年4月> 電気電子工学実験第2
専	助教	安永 憲司 ( ) <平成30年4月> 学域GS言語科目I ( ) 学域GS言語科目II ( ) アルゴリズムとデータ構造A アルゴリズムとデータ構造B 情報通信工学実験第2 情報セキュリティA 情報セキュリティB 情報セキュリティC 情報セキュリティD
専	准教授	中村 伊南沙 ( ) <平成30年4月>
兼担	教授	笠原 禎也 ( ) <平成30年4月> Cプログラミング序論A, Cプログラミング序論B, デジタル通信A, デジタル通信B
兼担	准教授	軸屋 一郎 ( ) <平成30年4月> システム制御基礎A, システム制御基礎B
兼担	教授	山本 茂 ( ) <平成30年4月> システム制御A, システム制御B, システム最適化 A, システム最適化B

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	福間 剛士 ( ) <平成30年4月>
		電気電子計測A, 電気電子計測B
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成32年4月>
		電気エネルギー発生工学A, 電気エネルギー発生工学B, 電気法令

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	福間 剛士 ( ) <平成30年4月>
		電気電子計測A, 電気電子計測B
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) <平成32年4月>
		電気エネルギー発生工学A, 電気エネルギー発生工学B, 電気法令

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年3月31日 畑上教授退職。
- ・平成30年4月1日 中村准教授採用。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
16	12	2	4	34	15	13	2	4	34	15	13	2	4	34
(16)	(12)	(2)	(4)	(34)						[Δ1]	[1]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{34} = \boxed{100} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{34} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	教授	畑上 到	選択	ベクトル解析及び演習	③	H30.3.31付け退職（東京都市大学就職）のため就任辞退（30）				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	1	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
1 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	1 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	1 科目	計	1 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{34} = \boxed{2.94} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし										
合計					後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生への周知は、シラバス等で周知を行った。担当科目については、他の専任教員が担当するため、学生への影響は少ない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



## 7 その他全般的事項

<理工学域 電子情報通信学類>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

教育方法改善委員会（理工学域に設置）

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年10回程度開催（委員9名は毎回ほぼ全員出席している）

##### c 委員会の審議事項等

教育方法改善にかかる諸事項審議・決定

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

① 授業方法改善のためのアンケート

② FD研修会、新任教員研修会の実施

③ アクティブラーニングに関する検討

##### b 実施方法

① 授業評価アンケート：各クォーター終了後、学生がWebからアンケート回答→集計→各教員へフィードバック

② FD研修会、新任教員研修会：年に1回実施。

③ アクティブラーニングに関する検討：アクティブラーニングアドバイザーを選出・実施。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

① 授業評価アンケート回答率：約50%

② FD研修会出席率：約50% 新任教員研修会出席率：約60%

③ アクティブラーニング：28科目実施

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

科目ごとにアンケート結果を踏まえたリフレクションペーパーを作成している。

実施例：板書とPPT資料を織り交ぜた授業展開。単元毎の小テスト実施。

#### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

##### a 実施の有無及び実施時期

実施（年4回。各クォーター終了後）

##### b 教員や学生への公開状況、方法等

理工学域Webサイトに、学類毎の集計結果を掲載。（授業担当教員はポータルサイトから担当科目の結果を参照できる）

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員充足，施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。  
FD活動や授業評価アンケートなどをもとに，カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・未定（検討中）

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （平成30年7月1日（予定））

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には，5月1日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名

金沢大学

## (3) 大学の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
学域長	(アオキ ケンイチ) 青木 健一 (平成28年4月)		
学類長	(タカヤマ ジュンイチ) 高山 純一 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学域 地球社会基盤学類 学士(理学) 学士(工学)	理学関係 工学関係	4年	100人	年次 3年次 7人	414人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	90 ( - ) [ - ]								1.04 倍	本表には, 「理系後期一括」入試による入学者分は含んでいない。
志願者数	275 ( - ) [ 2 ]									
受験者数	213 ( - ) [ 2 ]									
合格者数	98 ( - ) [ 2 ]									
B 入学者数	94 ( - ) [ 2 ]									
入学定員超過率 B/A	1.04									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	94 [2] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	1年次の在学者には、「理系後期一括」入試による入学者は含んでいない。
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	94 [2] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	94 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合 計	94 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{94} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工学域 地球社会基盤学類>

(1) ①-1 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1									兼73
	初學者ゼミⅠ	①②③	1									兼84
	情報処理基礎	1①	1									兼107
	地域概論	①②	1									兼61
	現代世界への歴史学的アプローチ	①②③④	1									兼69
	グローバル時代の政治経済学	①②③④	1									兼3
	グローバル時代の社会学	①②③④	1									兼5
	ケーススタディによる応用倫理	①②③④	1									兼2
	地球生物圏と人間	①②③④	1									兼5
	物理の世界	①②③④	1									兼3
	化学の世界	①②③④	1									兼10
	哲学(自我論)	①②③④	1									兼3
	パーソナリティ心理学	①②③④	1									兼3
	グローバル時代の文学	①②③④	1									兼6
	健康科学	①②③④	1									兼7
	細胞・分子生物学	①②③④	1									兼9
	エクササイズ&スポーツ 実技	①②③④	1									兼18
	ブレゼン・ディベート論(初學者)	①②	1									兼86
	クリティカルシンキング	①②③④	1									兼4
価値と情動の認知科学	①②③④	1									兼5	
論理学から見る世界	①②③④	1									兼1	
数学的発想法	①②③④	1									兼4	
芸術と自己表現	①②③④	1									兼9	
スポーツ科学	①②③④	1									兼4	
金沢・能登と世界の地域文化	①②③④	1									兼5	
日本史・日本文化	①②③④	1									兼9	
異文化間コミュニケーション	①②③④	1									兼10	
異文化体験	①②④	1									兼2	
異文化体験	①②④	2									兼4	
異文化体験	①②④	3									兼6	
異文化体験	①②④	4									兼3	
異文化体験	①②④	5									兼1	
異文化体験	①②④	6									兼1	
異文化体験	①②④	7									兼1	
異文化体験	①②④	8									兼1	
国際社会とボランティア	①②③④	1									兼3	
グローバル社会と地域の課題	①②③④	1									兼1	
科学技術と科学方法論	①②③④	1									兼7	
統計学から未来を見る	①②③④	1									兼2	
情報の科学	①②③④	1									兼4	
環境学とESD	①②③④	1									兼2	
生活と社会保障	①③④	1									兼3	
人権・ジェンダー論	①②③④	1									兼5	
GS言語科目(英語)	TOEIC準備Ⅰ	1①	1									兼28
	TOEIC準備Ⅱ	1②	1									兼28
	TOEIC準備Ⅲ	1③	1									兼31
	TOEIC準備Ⅳ	1④	1									兼31
	TOEIC準備(演習)	①②③④	1									兼2
	English for Academic Purpose	1①	1									兼25
	English for Academic Purpose	1②	1									兼27
	English for Academic Purpose	1③	1									兼36
	English for Academic Purpose	1④	1									兼36
	EAP(Retake)	①②③④	1									兼14
	アカデミック基礎日本語A	①②③	1									兼2
	アカデミック基礎日本語B	①②④	1									兼2
	アカデミックライティングⅠA	①③④	1									兼1
アカデミックライティングⅠB	①②④	1									兼1	
アカデミックライティングⅡA	①③④	1									兼1	
アカデミックライティングⅡB	①②④	1									兼1	
講義の聴解A	①③④	1									兼1	
講義の聴解B	①②④	1									兼1	
口頭発表ⅠA	1③	1									兼1	
口頭発表ⅠB	1④	1									兼1	
口頭発表ⅡA	1①	1									兼1	
口頭発表ⅡB	1②	1									兼1	
上級読解ⅠA	1①	1									兼1	
上級読解ⅠB	1②	1									兼1	
上級読解ⅡA	1③	1									兼1	
上級読解ⅡB	1④	1									兼1	
日本事情A	①③④	1									兼1	
日本事情B	①②④	1									兼1	
日本語で学ぶ論理A	1③	1									兼1	
日本語で学ぶ論理B	1④	1									兼1	
基礎科目	微分積分学第一	①②	2									兼9
	微分積分学第二	③④	2									兼7
	線形代数第一	①②	2									兼10
	線形代数第二	③④	2									兼7
	統計学	③④	2									兼3
	物理学Ⅰ	①②	2									兼16
	物理学Ⅱ	③④	2									兼15
	物理学実験	①②③④	2									兼32
	化学Ⅰ	①②	2									兼11
	化学Ⅱ	③④	2									兼7
	化学実験	①②③④	2									兼15
	化学実験	2①	1									兼11
	地学Ⅰ	①②	2									兼4
	地学Ⅱ	③④	2									兼1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教員	准教授	講師	助教	助手		
導入科目	大学・社会生活論	1①	1									兼84
	初學者ゼミⅠ	①②③	1									兼107
	情報処理基礎	1①	1									兼54
	地域概論	①②	1									兼81
	現代世界への歴史学的アプローチ	①②③④	1									兼4
	グローバル時代の政治経済学	①②③④	1									兼5
	グローバル時代の社会学	①②③④	1									兼3
	ケーススタディによる応用倫理	①②③④	1									兼4
	地球生物圏と人間	①②③④	1									兼2
	物理の世界	①②③④	1									兼3
	化学の世界	①②③④	1									兼10
	哲学(自我論)	①②③④	1									兼3
	パーソナリティ心理学	①②③④	1									兼3
	グローバル時代の文学	①②③④	1									兼5
	健康科学	①②③④	1									兼9
	細胞・分子生物学	①②③④	1									兼10
	エクササイズ&スポーツ 実技	①②③④	1									兼18
	ブレゼン・ディベート論(初學者ゼミⅡ)	①②③	1									兼108
	クリティカルシンキング	①②③④	1									兼3
価値と情動の認知科学	①②③④	1									兼5	
論理学から見る世界	①②③④	1									兼1	
数学的発想法	①②③④	1									兼6	
芸術と自己表現	①②③④	1									兼9	
スポーツ科学	①②③④	1									兼6	
金沢・能登と世界の地域文化	①②③④	1									兼5	
日本史・日本文化	①②③④	1									兼9	
異文化間コミュニケーション	①②③④	1									兼8	
異文化体験	①②④	1									兼11	
異文化体験	①②④	2									兼10	
異文化体験	①②④	3									兼7	
異文化体験	①②④	4									兼6	
異文化体験	①②④	5									兼3	
異文化体験	①②④	6									兼3	
異文化体験	①②④	7									兼3	
異文化体験	①②④	8									兼3	
国際社会とボランティア	①②③④	1									兼3	
グローバル社会と地域の課題	①②③④	1									兼1	
科学技術と科学方法論	①②③④	1									兼7	
統計学から未来を見る	①②③④	1									兼2	
情報の科学	①②③④	1									兼4	
環境学とESD	①②③④	1									兼2	
生活と社会保障	①③④	1									兼3	
人権・ジェンダー論	①②③④	1									兼5	
GS言語科目(英語)	TOEIC準備Ⅰ	1①	1									兼30
	TOEIC準備Ⅱ	1②	1									兼28
	TOEIC準備Ⅲ	1③	1									兼31
	TOEIC準備Ⅳ	1④	1									兼31
	TOEIC準備(演習)	①②③④	1									兼2
	English for Academic Purposes(EAP)Ⅰ	1①	1									兼27
	English for Academic Purposes(EAP)Ⅱ	1②	1									兼28
	English for Academic Purposes(EAP)Ⅲ	1③										





	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼1	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼2
	石川県の行政	1-2③-4	2	兼1	石川県の行政	1-2③-4	2	兼1
	石川県の市町	1-2③-4	2	兼1	石川県の市町	1-2③-4	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	1-2③-4	2	兼2	キャリアディベロップメント実践	1-2③-4	2	兼2
	健康論実践D	1-2③-4	1	兼4	健康論実践D	1-2③-4	1	兼3
	健康論実践E	1-2③-4	1	兼2	健康論実践E	1-2③-4	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶス	1-2③-4	1	兼8	能登の世界農業遺産を学ぶスタディツアー	1-2③-4	1	兼7
	里山体験実習in能登半島	1-2③-4	1	兼6	里山体験実習in能登半島	1-2③-4	1	兼6
	里海体験実習in能登半島	1-2③-4	1	兼6	里海体験実習in能登半島	1-2③-4	1	兼5
	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1-2③-4	1	兼8	実践アントレプレナー学	1-2③-4	1	兼1
	クラウド時代の「ものグラミング」	1-2③-4	2	兼3	クラウド時代の「ものグラミング」概論	1-2③-4	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1-2③-4	2	兼2	シェルスクリプト言語論	1-2③-4	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1-2③-4	2	兼1	ライフキャリアデザイン	1-2③-4	2	兼1
	ダイバーシティとインクルージョン	1-2②	1	兼3	ダイバーシティとインクルージョン	1-2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1-2③-4	1	兼1	キャリアディベロップメント	1-2③-4	1	兼1
	フASHリテーション入門	1-2③-4	1	兼3	フASHリテーション入門	1-2③-4	1	兼3
	学生・学習論	1-2③	1	兼2	学生・学習論	1-2③	1	兼2
	コーヒーの世界	1-2③-4	2	兼13	コーヒーの世界	1-2③-4	2	兼11
	画像解剖学	1-2③-4	1	兼1	画像解剖学	1-2③-4	1	兼1
	よくわかる健康と病気	1-2③-4	1	兼1	よくわかる健康と病気	1-2③-4	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル化	1-2③-4	2	兼1	国際協力と地域のグローバル化	1-2③-4	2	兼1
	心と体の健康	1-2③	1	兼3	心と体の健康	1-2③	1	兼3
	死と喪失	1-2③-4	1	兼1	死と喪失	1-2③-4	1	兼1
					アートセラピーを通じて自己分析1	1-2①	1	兼1
					アートセラピーを通じて自己分析2	1-2②	1	兼1
					審りと日本文化	1-2②	1	兼1
					エンターテインメントの英語	1-2②	1	兼1
					芸術としての料理と写真	1-2③	1	兼1
	ひとのからだ I	1-2③-4	2	兼1	ひとのからだ I	1-2③-4	2	兼1
	ひとのからだ II	1-2③-4	2	兼1	ひとのからだ II	1-2③-4	2	兼1
	基礎病態学	1-2③-4	1	兼1	基礎病態学	1-2③-4	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1	哲学A	1-2③-4	2	兼1
	宗教学A	1-2③-4	2	兼1	宗教学A	1-2③-4	2	兼1
	ことばと文化J	1-2③-4	2	兼1	ことばと文化J	1-2③-4	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1	地域「超」体験プログラム(能登 珠洲)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1	地域「超」体験プログラム(能登 小木)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白山)	1①-②	1	兼1	地域「超」体験プログラム(白山麓)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③-④	1	兼1	地域「超」体験プログラム(五箇山)	1③-④	1	兼1
	地方行政	1-2③-4	2	兼1	地方行政	1-2③-4	2	兼1
	ブランディング入門	1-2③-4	2	兼1	ブランディング入門	1-2③-4	2	兼1
	ゼミ/政治哲学入門	1-2③-4	2	兼1	ゼミ/政治哲学入門	1-2③-4	2	兼1
	茶道を通して学ぶ日本文化	1-2③-4	2	兼1	日本文化・社会体験「茶道を通して学ぶ日本文化」	1-2③-4	2	兼1
	日本の伝統芸能	1-2③-4	2	兼1	日本文化・社会体験「日本の伝統芸能」	1-2③-4	2	兼1
	金沢の歴史と文化	1-2③-4	2	兼2	金沢の歴史と文化	1-2③-4	2	兼2
	ESD入門	1-2③-4	1	兼1	ESD入門	1-2③-4	1	兼1
	廃棄物管理と循環型社会	1-2③-4	1	兼1	廃棄物管理と循環型社会	1-2③-4	1	兼1
	持続可能性と福祉	1-2③-4	1	兼1	持続可能性と福祉	1-2③-4	1	兼1
	異文化間イベント	1-2③-4	2	兼1	異文化間イベント	1-2③-4	2	兼1
	日本の歴史からみた層と時間	1-2③-4	2	兼1	日本の歴史からみた層と時間	1-2③-4	2	兼1
	日本と金沢の建築・都市	1-2③-4	2	兼2	日本と金沢の建築・都市	1-2③-4	1	兼2
	コミュニケーションビジネス	1-2③-4	2	兼2	コミュニケーションビジネス	1-2③-4	2	兼2
					国選スタディー	1-2③	1	兼1
					日本国憲法概説	1-2③-4	2	兼5
					行政学入門	1-2③-4	2	兼1
					公共政策入門 I	1-2③-4	2	兼1
					経済学入門C	1-2③-4	2	兼1
					簿記入門	1-2③-4	2	兼1
					経済学入門D	1-2③-4	2	兼1
					日本史要説	2①-②	2	兼4
					東洋史要説	2③-④	2	兼3
					法論理学入門	1-2③	2	兼1
					異文化理解のためのビデオ会	1-2③	1	兼1
					ビジネス入門	1-2③	1	兼1
					日本のオープンデータ活用	1-2②	1	兼1
					ビジネスと金融	1-2③	1	兼1
					世界のオープンデータ活用	1-2④	1	兼1
					日本語と社会	1-2③	2	兼1
					行政学の基礎	1-2③	2	兼1
					ガラスとクリスタル I	1-2②	1	兼1
					ガラスとクリスタル II	1-2③	1	兼1
					英国諸島の地史 I	1-2②	1	兼1
					英国諸島の地史 II	1-2③	1	兼1
					地学実験	1-2③-4	2	兼17
					東洋医学	1-2③-4	2	兼2
					コンピュータグラフィックス演習	1-2③-4	2	兼1
					生物学実験	1-2③-4	2	兼13
					実践Webプログラミング実習	1-2③-4	2	兼1
					実践システム開発工程入門	1-2③-4	2	兼1
					プログラミング演習	1-2③-4	2	兼1
					環境動態学概説 I	1-2③	1	兼1
					環境動態学概説 II	1-2④	1	兼1
					海洋生化学演習	1-2③-4	2	兼4
					動画配信サービスを用いた情報発信演習	1-2③-4	2	兼1
					プレゼンテーション演習	1-2③-4	2	兼1
					Pythonデータ分析入門	1-2③	1	兼1
					英語セミナー	1-2③-4	1	兼4
					英語セミナー	1-2③-4	2	兼2
					ゼミ/漢文資料読解A	1-2③-4	2	兼1
					ゼミ/漢文資料読解B	1-2③-4	2	兼1
					ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の	1-2③	2	兼1
					ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の	1-2④	1	兼1
					自由履修科目			

		ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1						兼1		
		ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2③	1						兼1		
		身体・スポーツ実技/野外活	1-2④	1						兼3		
		身体・スポーツ実技/初心者	1-2⑤	1						兼6		
		ゼミ/身体運動心理学	1-2⑥	2						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス I-1)	1③	1						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス I-2)	1④	1						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス II-1)	1③	1						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス II-2)	1④	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス I-1)	1③	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス I-2)	1④	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス II-1)	1③	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス II-2)	1④	1						兼1		
		中国語A(充実クラス I-1)	1③	1						兼1		
		中国語A(充実クラス I-2)	1④	1						兼1		
		中国語A(充実クラス II-1)	1③	1						兼1		
		中国語A(充実クラス II-2)	1④	1						兼1		
専 門 科 目	学 域 G S 科 目	数学物理学演習A	1③	1						兼3		
		数学物理学演習B	1④	1						兼3		
		物質化学序論A	2①	1							兼4	
		物質化学序論B	2②	1							兼4	
		先端テクノロジー概論	1②-④	1							兼13	
		数学物理基礎リテラシー	1①-②	1							兼5	
		電子情報通信工学序論	2①	1							兼4	
		地球社会基盤情報処理演習A	2①	1	4	2	1				兼1	
		地球社会基盤情報処理演習B	2②	1	4	2	1				兼1	
		生命科学技術論A	1①	1							兼14	
	生命科学技術論B	1②	1							兼7		
	S 言	学域GS言語科目 I (理工)	2①	1	1							
		学域GS言語科目 II (理工)	2②	1	1							
	専 門 科 目	【学域共通科目】	情報・計算科学基礎	1③	2						兼3	
			計算科学	1④	2						兼2	
			情報処理演習	1③-④	1							兼2
			工業力学	1①-②	2							兼4
			計算機リテラシーA	2①	1							兼2
			計算機リテラシーB	2②	1							兼2
			地球社会基盤学概論A	2①	1	17	12	2	9			兼3
			地球社会基盤学概論B	2②	1	17	12	2	9			兼3
			生命理工学概論A	1③	2							兼14
			生命理工学概論B	1④	2							兼7
		国際研修A	-----	1		1						
		国際研修B	-----	2		1						
		【学類共通科目】	基礎地質学A	2①	1	2						兼1
			基礎地質学B	2②	1	2						兼1
			測量学及び実習第1	1③-④	2	4	4	1	2			兼1
			微分方程式及び演習	1③-④	2							兼1
			ベクトル解析及び演習	2①-②	2							兼1
フーリエ解析及び演習			2①-②	2							兼1	
複素解析及び演習			2③-④	2							兼1	
【地球惑星科学コース】			基礎地球惑星物理学A	2③	1	1	1					
			基礎地球惑星物理学B	2④	1	1	1					
			基礎地球惑星物質学A	2③	1	1	1					
		基礎地球惑星物質学B	2④	1	1	1						
		基礎岩石学A	2③	1	2	1						
		基礎岩石学B	2④	1	2	1						
		基礎環境変動学A	2③	1	1	1					兼3	
		基礎環境変動学B	2④	1	1	1					兼3	
		鉱物・結晶学演習A	2③	1	1	1						
		鉱物・結晶学演習B	2④	1	1	1						
岩石学実験A		2③	1	2	1							
岩石学実験B		2④	1	2	1							
古生物学実験A		2③	1	2	2							
古生物学実験B		2④	1	2	2							
地球惑星データ解析A		2③	1							兼1		
地球惑星データ解析B		2④	1							兼1		
【土木防災コース及び環境都市コース】		測量学及び実習第2	1③-④	4	4	4	1	2				
		社会基盤デザイン演習第1	2③-④	1	8	8	5					
		流体力学A	2③	1	1							
		流体力学B	2④	1	1							
		構造力学A	2③	1	1							
		構造力学B	2④	1	1							
		環境基礎工学A	2③	1	1							
		環境基礎工学B	2④	1	1							
		環境反応工学A	2③	1	1							
		環境反応工学B	2④	1	1							
		計画数理	2③	1	1	1	1					
	施工・維持管理計画基礎	2④	1	1	1	1						
	計画プロセス	2③	1	1	1	1						
	地域計画基礎	2④	1	1	1	1						
	応用物理学	2③	1	1								
	建築学概論A	2③	1	1	1	2						
	建築学概論B	2④	1	1	1	2						
	建築設計演習	1③-④	1	1	1	1						

		ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1						兼1		
		ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2③	1						兼1		
		身体・スポーツ実技/野外活	1-2④	1						兼3		
		身体・スポーツ実技/初心者	1-2⑤	1						兼6		
		ゼミ/身体運動心理学	1-2⑥	2						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス I-1)	1③	1						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス I-2)	1④	1						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス II-1)	1③	1						兼1		
		ドイツ語A(充実クラス II-2)	1④	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス I-1)	1③	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス I-2)	1④	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス II-1)	1③	1						兼1		
		フランス語A(充実クラス II-2)	1④	1						兼1		
		中国語A(充実クラス I-1)	1③	1						兼1		
		中国語A(充実クラス I-2)	1④	1						兼1		
		中国語A(充実クラス II-1)	1③	1						兼1		
		中国語A(充実クラス II-2)	1④	1						兼1		
専 門 科 目	学 域 G S 科 目	数学物理学演習A	1③	1						兼3		
		数学物理学演習B	1④	1						兼3		
		物質化学序論A	2①	1							兼4	
		物質化学序論B	2②	1							兼4	
		先端テクノロジー概論	1②	1							兼13	
		数学物理基礎リテラシー	1①-②	1							兼5	
		電子情報通信工学序論	2①	1							兼4	
		地球社会基盤情報処理演習A	2①	1	4	2	1				兼1	
		地球社会基盤情報処理演習B	2②	1	4	2	1				兼1	
		生命科学技術論A	1①	1							兼14	
	生命科学技術論B	1②	1							兼7		
	S 言	学域GS言語科目 I (理工系英語I)	2①	1	1							
		学域GS言語科目 II (理工系英語II)	2②	1	1							
	専 門 科 目	【学域共通科目】	情報・計算科学基礎	1③	2						兼3	
			計算科学	1④	2						兼2	
			情報処理演習	1③-④	1							兼2
			工業力学	1①-②	2							兼4
			計算機リテラシーA	2①	1							兼2
			計算機リテラシーB	2②	1							兼2
			地球社会基盤学概論A	2①	1	17	12	2	9			兼3
			地球社会基盤学概論B	2②	1	17	12	2	9			兼3
			生命理工学概論A	1③	2							兼14
			生命理工学概論B	1④	2							兼7
		国際研修A	-----	1		1						
		国際研修B	-----	2		1						
		【学類共通科目】	基礎地質学A	2①	1	2						兼1
			基礎地質学B	2②	1	2						兼1
			測量学及び実習第1	1③-④	2	4	4	1	2			兼1
			微分方程式及び演習	1③-④	2							兼1
			ベクトル解析及び演習	2①-②	2							兼1
フーリエ解析及び演習			2①-②	2							兼1	
複素解析及び演習			2③-④	2							兼1	
【地球惑星科学コース】			基礎地球惑星物理学A	2③	1	1	1					
			基礎地球惑星物理学B	2④	1	1	1					
			基礎地球惑星物質学A	2③	1	1	1					
		基礎地球惑星物質学B	2④	1	1	1						
		基礎岩石学A	2③	1	2	1						
		基礎岩石学B	2④	1	2	1						
		基礎環境変動学A	2③	1	1	1					兼3	
		基礎環境変動学B	2④	1	1	1					兼3	
		鉱物・結晶学演習A	2③	1	1	1						
		鉱物・結晶学演習B	2④	1	1	1						
岩石学実験A		2③	1	2	1							
岩石学実験B		2④	1	2	1							
古生物学実験A		2③	1	2	2							
古生物学実験B		2④	1	2	2							
地球惑星データ解析A		2③	1							兼1		
地球惑星データ解析B		2④	1							兼1		
【土木防災コース及び環境都市コース】		測量学及び実習第2	1③-④	4	4	4	1	2				
		社会基盤デザイン演習第1	2③-④	1	8	8	5					
		流体力学A	2③	1	1							
		流体力学B	2④	1	1							
		構造力学A	2③	1	1							
		構造力学B	2④	1	1							
		環境基礎工学A	2③	1	1							
		環境基礎工学B	2④	1	1							
		環境反応工学A	2③	1	1							
		環境反応工学B	2④	1	1							
		計画数理	2③	1	1	1	1					
	施工・維持管理計画基礎	2④	1									

環境地球化学B	3②	1			兼3	
結晶学A	3③	1	1	1		
結晶学B	3④	1	1	1		
岩石発達史A	3③	1	2	1		
岩石発達史B	3④	1	2	1		
同位体地球学A	3③	1			兼1	
同位体地球学B	3④	1			兼1	
数理地球惑星科学A	3③	1	1	1		
数理地球惑星科学B	3④	1	1	1		
鉱物学特論A	3③	1	1	1		
鉱物学特論B	3④	1	1	1		
生命環境進化学A	3③	1	2	2		
生命環境進化学B	3④	1	2	2		
地球学巡検1	3①~②	1	5	2	5	兼3
地球物質分析実験A	3①	1	1	1		
地球物質分析実験B	3②	1	1	1		
地球化学実験A	3①	1			兼3	
地球化学実験B	3②	1			兼3	
地球物理学実験A	3①	1	1	1		
地球物理学実験B	3②	1	1	1		
試料解析実験A	3①	1	4	3		
試料解析実験B	3②	1	4	3		
応用地球物質分析実験A	3③	1	1	1		
応用地球物質分析実験B	3④	1	1	1		
応用地球物理学実験A	3③	1	1	1		
応用地球物理学実験B	3④	1	1	1		
応用地球化学実験A	3③	1	2	1	兼2	
応用地球化学実験B	3④	1	2	1	兼2	
応用試料解析実験A	3③	1	2	2		
応用試料解析実験B	3④	1	2	2		
地球学巡検2	3①~④	2	5	2	5	兼3
地球学野外実習A	3①~②	2	4	3		
地球学野外実習B	3①~②	2	4	3		
特別講義	3①~④	1				
地球惑星科学ゼミナール	3①	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール	3②	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール	3③	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール	3④	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール	4①	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール	4②	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール	4③	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール	4④	1	5	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習	4①	2	5	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習	4②	2	5	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習	4③	2	5	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習	4④	2	5	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究	4①	3	5	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究	4②	3	5	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究	4③	3	5	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究	4④	3	5	2	5	兼3
【土木防災コース及び環境都市コース】						
社会基盤工学実験	3①~④	2	6	6	1	4
水理学基礎	3①	2	1	1	1	
管水路水理学A	3②	1	1	1		
開水路水理学A	3②	1	1	1		
構造力学C	3①	1	1	1		
構造力学D	3②	1	1	1		
建設材料学A	3①	1	1	1		
建設材料学B	3②	1	1	1		
土質力学及び演習A	3①	2	1	1		
土質力学及び演習B	3②	2	1	1		
応用振動学A	3①	1	1	1	1	
応用振動学B	3②	1	1	1	1	
水環境工学A	3①	1	1	1		
水環境工学B	3②	1	1	1		
環境システム工学	3①	1	1	1		
熱力学基礎	3②	1	1	1		
都市計画A	3①	1	1	1		
都市計画B	3②	1	1	1		
交通計画	3①	1	1	1		
道路政策論	3②	1	1	1		
建築計画A	3①	1	1	1		
建築計画B	3②	1	1	1		
建築設計演習B	3①	1	1	1		
建築設計演習C	3②	1	1	1		
建築環境工学A	3①	1	1	2		
建築環境工学B	3②	1	1	1		
社会基盤特別講義	3①~④	1				
社会基盤デザイン演習第1	3③・④	1	8	8	5	
プログラミング演習	3③・④	1	1	1	2	
学外技術体験実習A	3③~④	2	1	1		
学外技術体験実習B	3③~④	2	1	1		
管水路水理学B	3③	1	1	1		
開水路水理学B	3③	1	1	1		
海岸工学A	3④	1	1	1		
河川工学A	3④	1	1	1		
構造解析学A	3③	1	1	1		
構造解析学B	3④	1	1	1		
鉄筋コンクリート工学A	3③	1	1	1		
鉄筋コンクリート工学B	3④	1	1	1		
地盤工学A	3③	1	1	1		
地盤工学B	3④	1	1	1		
土木建設防災マネジメントA	3③	1	1	1	1	
土木建設防災マネジメントB	3④	1	1	1	1	
上下水道学A	3③	1	1	1		
上下水道学B	3④	1	1	1		
大気環境工学A	3③	1	1	1		
大気環境工学B	3④	1	1	1		
確率論基礎	3③	1	1	1		
実験・調査分析法	3④	1	1	1		
景観デザイン学A	3③	1		1		

専門科目

環境地球化学B	3②	1			兼3	
結晶学A	3③	1	1	1		
結晶学B	3④	1	1	1		
岩石発達史A	3③	1	2	1		
岩石発達史B	3④	1	2	1		
同位体地球学A	3③	1			兼1	
同位体地球学B	3④	1			兼1	
数理地球惑星科学A	3③	1	1	1		
数理地球惑星科学B	3④	1	1	1		
鉱物学特論A	3③	1	1	1		
鉱物学特論B	3④	1	1	1		
生命環境進化学A	3③	1	2	2		
生命環境進化学B	3④	1	2	2		
地球学巡検1	3①~②	1	5	2	5	兼3
地球物質分析実験A	3①	1	1	1		
地球物質分析実験B	3②	1	1	1		
地球化学実験A	3①	1			兼3	
地球化学実験B	3②	1			兼3	
地球物理学実験A	3①	1	1	1		
地球物理学実験B	3②	1	1	1		
試料解析実験A	3①	1	4	3		
試料解析実験B	3②	1	4	3		
応用地球物質分析実験A	3③	1	1	1		
応用地球物質分析実験B	3④	1	1	1		
応用地球物理学実験A	3③	1	1	1		
応用地球物理学実験B	3④	1	1	1		
応用地球化学実験A	3③	1	2	1	兼2	
応用地球化学実験B	3④	1	2	1	兼2	
応用試料解析実験A	3③	1	2	2		
応用試料解析実験B	3④	1	2	2		
地球学巡検2	3①~④	2	6	2	5	兼3
地球学野外実習A	3①~②	2	4	3		
地球学野外実習B	3①~②	2	4	3		
特別講義	3①~④	1				
地球惑星科学ゼミナール(1)A	3①	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール(1)B	3②	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール(1)C	3③	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール(1)D	3④	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール(2)A	4①	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール(2)B	4②	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール(2)C	4③	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学ゼミナール(2)D	4④	1	6	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習(1)A	4①	2	6	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習(1)B	4②	2	6	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習(2)A	4③	2	6	2	5	兼3
地球惑星科学文献演習(2)B	4④	2	6	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究(1)A	4①	3	6	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究(1)B	4②	3	6	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究(2)A	4③	3	6	2	5	兼3
地球惑星科学課題研究(2)B	4④	3	6	2	5	兼3
【土木防災コース及び環境都市コース】						
社会基盤工学実験	3①~④	2	6	6	1	4
水理学基礎	3①	2	1	1	1	
管水路水理学A	3②	1	1	1		
開水路水理学A	3②	1	1	1		
構造力学C	3①	1	1	1		
構造力学D	3②	1	1	1		
建設材料学A	3①	1	1	1		
建設材料学B	3②	1	1	1		
土質力学及び演習A	3①	2	1	1		
土質力学及び演習B	3②	2	1	1		
応用振動学A	3①	1	1	1	1	
応用振動学B	3②	1	1	1	1	
水環境工学A	3①	1	1	1		
水環境工学B	3②	1	1	1		
環境システム工学	3①	1	1	1		
熱力学基礎	3②	1	1	1		
都市計画A	3①	1	1	1		
都市計画B	3②	1	1	1		
交通計画	3①	1	1	1		
道路政策論	3②	1	1	1		
建築計画A	3①	1	1	1		
建築計画B	3②	1	1	1		
建築設計演習B	3①	1	1	1		
建築設計演習C	3②	1	1	1		
建築環境工学A	3①	1	1	2		
建築環境工学B	3②	1	1	1		
社会基盤特別講義	3①~④	1				
社会基盤デザイン演習第2	3③・④	1	8	8	5	
プログラミング演習	3③・④	1	1	1	2	
学外技術体験実習A	3③~④	2	1	1		
学外技術体験実習B	3③~④	2	1	1		
管水路水理学B	3③	1	1	1		
開水路水理学B	3③	1	1	1		
海岸工学A	3④	1	1	1		
河川工学A	3④	1	1	1		
構造解析学A	3③	1	1	1		
構造解析学B	3④	1	1	1		
鉄筋コンクリート工学A	3③	1	1	1		
鉄筋コンクリート工学B	3④	1	1	1		
地盤工学A	3③	1	1	1		
地盤工学B	3④	1	1	1		
土木建設防災マネジメントA	3③	1	1	1	1	
土木建設防災マネジメントB	3④	1	1	1	1	
上下水道学A	3③	1	1	1		
上下水道学B	3④	1	1	1		
大気環境工学A	3③	1	1	1		
大気環境工学B	3④	1	1	1		
確率論基礎	3③	1	1	1		
実験・調査分析法	3④	1	1	1		
景観デザイン学A	3③	1		1		

景観デザインB	3④	1				景観デザインB	3④	1					
地質学概論	3③・④	2			兼1	地質学概論	3③・④	2			兼1		
都市地理学第1	3③・④	2			兼1	都市地理学第1	3③・④	2			兼1		
都市地理学第2	3③・④	2			兼1	都市地理学第2	3③・④	2			兼1		
住生活学I	3③	1			兼1	住生活学I	3③	1			兼1		
住生活学II	3④	1			兼1	住生活学II	3④	1			兼1		
観光政策論I	3③	1			兼1	観光政策論I	3③	1			兼1		
観光政策論II	3④	1			兼1	観光政策論II	3④	1			兼1		
地域経営論I	3①	1			兼1	地域経営論I	3①	1			兼1		
地域経営論II	3②	1			兼1	地域経営論II	3②	1			兼1		
地域文化論I	3①	1			兼1	地域文化論I	3①	1			兼1		
地域文化論II	3②	1			兼1	地域文化論II	3②	1			兼1		
コミュニティ・デザイン	3①	1			兼1	コミュニティ・デザイン論I	3①	1			兼1		
コミュニティ・デザイン	3②	1			兼1	コミュニティ・デザイン論II	3②	1			兼1		
建築設計演習D	3③	1	1		兼1	建築設計演習D	3③	1	1		兼1		
建築設計演習E	3④	1	1		兼1	建築設計演習E	3④	1	1		兼1		
建築設備工学A	3③	1	1	2	兼1	建築設備工学A	3③	1	1	2	兼1		
建築設備工学B	3④	1	1	2	兼1	建築設備工学B	3④	1	1	2	兼1		
河川工学B	4①	1	1			河川工学B	4①	1	1				
海岸工学B	4②	1	1	1		海岸工学B	4②	1	1	1			
鋼構造学A	4①	1	1			鋼構造学A	4①	1	1				
鋼構造学B	4②	1	1			鋼構造学B	4②	1	1				
プレストレストコンクリ	4①	1	1			プレストレストコンクリート工学	4①	1	1				
コンクリート構造診断学	4②	1	1			コンクリート構造診断学	4②	1	1				
地盤解析学A	4①	1	1	1		地盤解析学A	4①	1	1	1			
地盤解析学B	4②	1	1	1		地盤解析学B	4②	1	1	1			
廃棄物工学	4①	1	1			廃棄物工学	4①	1	1				
ミクロ経済学基礎	4①	1	1	1		ミクロ経済学基礎	4①	1	1	1			
都市経済学	4②	1	1	1		都市経済学	4②	1	1	1			
テクニカルコミュニケー	4①	1			兼1	テクニカルコミュニケーション基礎A	4①	1			兼1		
テクニカルコミュニケー	4②	1			兼1	テクニカルコミュニケーション基礎B	4②	1			兼1		
建築設計演習F	4①	1	1		兼1	建築設計演習F	4①	1	1		兼1		
建築設計演習G	4②	1	1		兼1	建築設計演習G	4②	1	1		兼1		
建築施工A	4①	1	1	1	兼1	建築施工A	4①	1	1	1	兼1		
建築施工B	4②	1	1	1	兼3	建築施工B	4②	1	1	1	兼3		
建築法規	4①	1	1			建築法規	4①	1	1				
工学における倫理と法	4①・②					工学における倫理と法	4①・②						
卒業研究・設計	1+3+4	8	9	10	2	4	卒業研究・設計	1+3+4	8	9	10	2	4
工業概論	4①~②	2				工業概論	4①~②	2				兼11	
職業指導第1	3③~④	2				職業指導第1	3③~④	2				兼1	
職業指導第2	4①~②	2				職業指導第2	4①~②	2				兼1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ①-2 授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

・共通教育科目の見直しにより、「初学セミナー」の配当年次を「1年1Q2030」から「1年1Q30」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「ケーススタディによる応用倫理」の配当年次を「1年1Q2030」から「1年1Q30」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「フレーション・ディベート論(初学セミナー)」の配当年次を「1年1Q20」から「1年1Q30」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の配当年次を「1年2Q3040」から「1年2Q3040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「グローバル社会と地域の課題」の配当年次を「1年1Q3040」から「1年1Q203040」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「生活と社会保障」の配当年次を「1年3040」から「1年1Q203040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表IA」の配当年次を「1年30」から「1年10」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表IB」の配当年次を「1年40」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表IIA」の配当年次を「1年10」から「1年30」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表IIB」の配当年次を「1年20」から「1年40」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-1」の配当年次を「2年1Q30」から「2年1Q」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-2」の配当年次を「2年2Q40」から「2年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-1」の配当年次を「1年1Q30」から「1年10」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-2」の配当年次を「1年2Q40」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-1」の配当年次を「1年1Q30」から「1年10」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-2」の配当年次を「1年2Q40」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-1」の配当年次を「1年1Q30」から「1年10」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-2」の配当年次を「1年2Q40」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-1」の配当年次を「1年1Q30」から「1年10」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-2」の配当年次を「1年2Q40」から「1年20」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「実践アントレプレナー学」の配当年次を「1年2年1Q10」から「1年2年3040」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「クラウド時代の「もの」のグラミング」の配当年次を「1年2年1Q20」から「1年2年3040」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプト言語」の配当年次を「1年2年1Q20」から「1年2年3040」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「画像解剖学」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。
・共通教育科目の見直しにより、「死と喪失」の配当年次を「1年2年1Q2040」から「1年2年1Q20」に変更。	・共通教育科目の見直しにより、「アートセラピーを通じた自己分析」 「アートセラピーを通じた自己分析2」 「香りと日本文化」 「エンターテインメントの英語」 「芸術としての料理と写真」 「国連サテライト」 「簿記入門」 「経済学入門D」 「日本語と社会」 「行政学の基礎」 「Pythonデータ分析入門」 「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2」 を新規追加。
・共通教育科目の見直しにより、「哲学A」の配当年次を「2年1Q20」から「3年4年1Q20」に変更。	・教育効果向上のため、「先端テクノロジー概論」の開講期を、「1年3040」から「1年30」に変更。
・単位換算表記のため、「生命工学概論」の単位数を、「2単位」から「1単位」に変更。	・教育効果向上のため、「地球学巡検2」の開講期を、「4年3040」から「3年3040」に変更。
・届出時は完成年度を想定し定年退職者分1名を算入していなかったが、平成30年度は在職のため算入し、「地球学巡検2」「地球惑星科学ゼミナール」「地球惑星科学文献演習」「地球惑星科学課題研究」の授教数を、「5」から「6」に変更。	

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡潔書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
86 科目	418 科目	0 科目	504 科目	86 科目	403 科目	0 科目	489 科目	
				[ ]	[△15]	[ ]	[△15]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

### (3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

### (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ラテン語B-1	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	ラテン語B-2	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	ラテン語C-1	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
4	ラテン語C-2	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
5	キャリアディベロップメント実践	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
6	ダイバーシティとインクルージョン	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
7	学生・学習論	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
8	ことばと文化J	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
9	ゼミ／政治哲学入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
10	ESD入門	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
11	廃棄物管理と循環型社会	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
12	持続可能性と福祉	1	1・2①・③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
13	異文化間ディベート	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
14	日本の歴史からみた暦と時間	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
15	行政学入門	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
16	公共政策入門 I	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
17	経済学入門C	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
18	法論理学入門	2	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
19	ビジネス入門	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
20	日本のオープンデータ活用	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
21	ビジネスと金融	1	1・2③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
22	世界のオープンデータ活用	1	1・2④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
23	実践Webプログラミング実習	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
24	実践システム開発工程入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
25	ゼミ／アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
26	身体・スポーツ実技／野外活動	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
27	身体・スポーツ実技／初心者スキー	1	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
28	ゼミ／身体運動心理学	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っているため、廃止科目が生じることはやむを得ないとする。  
学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{28}{504} = \boxed{5.55}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	731,780㎡	㎡	㎡	731,780㎡				
	運動場用地	103,704㎡	㎡	㎡	103,704㎡				
	小 計	835,484㎡	㎡	㎡	835,484㎡				
	そ の 他	1,805,514㎡	㎡	㎡	1,805,514㎡				
	合 計	2,640,998㎡	㎡	㎡	2,640,998㎡				
(2) 校舎	専 用	283,269㎡	㎡	㎡	283,269㎡	大学全体			
	( 283,269㎡)	( ㎡)	( ㎡)	( 283,269㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	133室	194室	910室	8室 (補助職員 人)	6室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学域地球社会基盤学類			43 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	全て大学全体での共用分	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点			
	医薬保健学総合研究科医学専攻	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)		
計	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)			
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	19,793㎡		2,187		1,625,424				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,295㎡		可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-	-	
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		-	-	-	-	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	金沢大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収定員	学位又は称号	平均入定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間社会学域									
人文学類	4	145	—	580	学士 (文学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.97	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	135	—	690	学士 (経済学)	0.99	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入定員185→135
学校教育学類	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	90	—	330	学士 (地域創造学)	1	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入定員80→90
国際学類	4	85	—	295	学士 (国際学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入定員70→85
理工学域									※理工学域の平均入定員超過率には学域共通編入学に係る数値を含んでいない。
数物科学類	4	84	3年次 5	336	学士 (理学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	324	学士 (理学・工学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	100	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	110	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	80	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	100	学士 (理学・工学)	0.94	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	59	学士 (理学・工学)	0.86	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
電子情報学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
環境デザイン学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
自然システム学類	4	—	—	—	学士 (理学・工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
(学域共通編入学)			3年次 40	80					平成32年度より学域共通編入学停止
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	0.99	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	—	210	学士 (薬学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	—	160	学士 (創薬科学)		平成20年度	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.01	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.98	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.92	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.81	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.84	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	



教育学研究科												
教育実践高度化専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成21年度	金沢市角間町	平成28年度より学生募集停止			
人間社会環境研究科												
人文学専攻	2	23	—	46	修士 (文学・学術)	0.82	平成24年度	金沢市角間町				
法学・政治学専攻	2	8	—	16	修士 (法学・政治学)	0.25	平成24年度	金沢市角間町				
経済学専攻	2	6	—	14	修士 (経済学・経営学・学術)	0.71	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→6			
地域創造学専攻	2	14	—	22	修士 (地域創造学・学術)	1.09	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→14			
国際学専攻	2	10	—	18	修士 (国際学・学術)	1.05	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→10			
人間社会環境学専攻	3	12	—	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.22	平成18年度	金沢市角間町				
自然科学研究科												
数物科学専攻	2	56	—	112	修士 (理学・学術)	1.08	平成24年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	2	57	—	114	修士 (理学・工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	2	90	—	180	修士 (工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	2	67	—	134	修士 (工学・学術)	1.20	平成24年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	2	40	—	80	修士 (工学・学術)	1.03	平成24年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	2	67	—	134	修士 (理学・工学・学術)	1.04	平成24年度	金沢市角間町				
数物科学専攻	3	15	—	45	博士 (理学・学術)	0.75	平成16年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	3	14	—	42	博士 (理学・工学・学術)	0.33	平成26年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	3	25	—	75	博士 (工学・学術)	0.65	平成26年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	3	18	—	54	博士 (工学・学術)	0.64	平成16年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	3	10	—	30	博士 (工学・学術)	1.23	平成26年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	3	21	—	63	博士 (理学・工学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町				
システム創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
物質科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
環境科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			

医薬保健学総合研究科								
医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.90	平成24年度 金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	—	384	博士 (医学・学術)	0.91	平成28年度 金沢市宝町13-1	
脳医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	—	76	修士 (創薬科学)	1.18	平成24年度 金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	—	33	博士 (創薬科学・学術)	0.87	平成24年度 金沢市角間町	
薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学・学術)	1.06	平成24年度 金沢市角間町	
保健学専攻	2	70	—	140	修士 (保健学)	0.77	平成24年度 金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	—	75	博士 (保健学)	1.00	平成24年度 金沢市小立野5-11-80	
先進予防医学研究科								
先進予防医学共同専攻	4	12	—	36	博士 (医学)	1.11	平成28年度 金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科								
融合科学共同専攻	2	14	—	14	修士 (融合科学)	0.92	平成30年度 金沢市角間町	
法務研究科								
法務専攻	3	15	—	45	法務博士 (専門職)	0.60	平成16年度 金沢市角間町	
教職実践研究科								
教職実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.06	平成28年度 金沢市角間町	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履								
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	森下 知晃 ( ) ＜平成30年4月＞ 基礎岩石学A、基礎岩石学B、岩石学実験A、岩石学実験B、地球学野外調査法A、地球学野外調査法B、岩石学A、岩石学B、岩石学実地A、岩石学実地B、地球学実地1、試料解析実験A、試料解析実験B、応用地球化学実験A、応用地球化学実験B、地球学実地2、地球学野外実習A、地球学野外実習B、地球惑星科学ゼミナール(1)A、地球惑星科学ゼミナール(1)B、地球惑星科学ゼミナール(1)C、地球惑星科学ゼミナール(1)D、地球惑星科学ゼミナール(2)A、地球惑星科学ゼミナール(2)B、地球惑星科学ゼミナール(2)C、地球惑星科学ゼミナール(2)D、地球惑星科学文献演習(1)A、地球惑星科学文献演習(1)B、地球惑星科学文献演習(2)A、地球惑星科学文献演習(2)B、地球惑星科学課題研究(1)A、地球惑星科学課題研究(2)A、地球惑星科学課題研究(2)B
専	教授	五十嵐 心一 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、測量学及び実習第2、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、鉄筋コンクリート工学A、鉄筋コンクリート工学B、プレストレスコンクリート工学、コンクリート構造診断学、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B
専	教授	池本 良子 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、水環境工学A、水環境工学B、水環境工学C、下水道工学B、建築設備工学A、建築設備工学B
専	教授	齋藤 武久 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、水理学基礎、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、海岸工学A
専	教授	高山 純一 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、測量学及び実習第2、卒業研究・設計、計画プロセスA、計画プロセスB、都市計画A、都市計画B、建築学概論A、建築学概論B、建築計画A、建築計画B、建築法規、建築施工A、建築施工B、建築設計演習F
専	教授	近田 康夫 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、確率論基礎、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、景観デザイン学A、景観デザイン学B、実験・調査分析法
専	教授	沈 振江 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、測量学及び実習第2、卒業研究・設計、計画プロセスA、計画プロセスB、都市計画A、都市計画B、建築学概論A、建築学概論B、建築計画A、建築計画B、建築法規、建築施工A、建築施工B、建築設計演習F
専	教授	中山 晶一郎 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、計画理論A、計画理論B、測量学及び実習第2、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、計画プロセスA、計画プロセスB、都市計画A、都市計画B、交通計画A、交通計画B、ミクロ経済学基礎、都市経済学
専	教授	深田 幸史 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、構造力学A、構造力学B、測量学及び実習第1、構造力学C、構造力学D、測量学及び実習第2、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、構造解析学A、構造解析学B、鋼構造学A、鋼構造学B
専	教授	古内 正美 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、環境基礎工学A、環境基礎工学B、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、大気環境工学A、大気環境工学B、建築環境工学B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	教授	森下 知晃 ( ) ＜平成30年4月＞ 基礎岩石学A、基礎岩石学B、岩石学実験A、岩石学実験B、地球学野外調査法A、地球学野外調査法B、岩石学A、岩石学B、岩石学実地A、岩石学実地B、地球学実地1、試料解析実験A、試料解析実験B、応用地球化学実験A、応用地球化学実験B、地球学実地2、地球学野外実習A、地球学野外実習B、地球惑星科学ゼミナール(1)A、地球惑星科学ゼミナール(1)B、地球惑星科学ゼミナール(1)C、地球惑星科学ゼミナール(1)D、地球惑星科学ゼミナール(2)A、地球惑星科学ゼミナール(2)B、地球惑星科学ゼミナール(2)C、地球惑星科学ゼミナール(2)D、地球惑星科学文献演習(1)A、地球惑星科学文献演習(1)B、地球惑星科学文献演習(2)A、地球惑星科学文献演習(2)B、地球惑星科学課題研究(1)A、地球惑星科学課題研究(2)A、地球惑星科学課題研究(2)B
専	教授	五十嵐 心一 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、測量学及び実習第2、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、鉄筋コンクリート工学A、鉄筋コンクリート工学B、プレストレスコンクリート工学、コンクリート構造診断学、学外技術体験実習A、学外技術体験実習B
専	教授	池本 良子 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、水環境工学A、水環境工学B、水環境工学C、下水道工学B、建築設備工学A、建築設備工学B
専	教授	齋藤 武久 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、水理学基礎、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、海岸工学A
専	教授	高山 純一 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、測量学及び実習第2、卒業研究・設計、計画プロセスA、計画プロセスB、都市計画A、都市計画B、建築学概論A、建築学概論B、建築計画A、建築計画B、建築法規、建築施工A、建築施工B、建築設計演習F
専	教授	近田 康夫 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、確率論基礎、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、景観デザイン学A、景観デザイン学B、実験・調査分析法
専	教授	沈 振江 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、測量学及び実習第2、卒業研究・設計、計画プロセスA、計画プロセスB、都市計画A、都市計画B、建築学概論A、建築学概論B、建築計画A、建築計画B、建築法規、建築施工A、建築施工B、建築設計演習F
専	教授	中山 晶一郎 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、測量学及び実習第1、計画理論A、計画理論B、測量学及び実習第2、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、計画プロセスA、計画プロセスB、都市計画A、都市計画B、交通計画A、交通計画B、ミクロ経済学基礎、都市経済学
専	教授	深田 幸史 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、構造力学A、構造力学B、測量学及び実習第1、構造力学C、構造力学D、測量学及び実習第2、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、構造解析学A、構造解析学B、鋼構造学A、鋼構造学B
専	教授	古内 正美 ( ) ＜平成30年4月＞ 地球社会基盤情報処理演習A、地球社会基盤情報処理演習B、地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、環境基礎工学A、環境基礎工学B、社会基盤工学実験、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、大気環境工学A、大気環境工学B、建築環境工学B

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	樹谷 浩 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 構造力学A, 構造力学B, 構造力学C, 構造力学D, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 構造解析学A, 構造解析学B, 鋼構造学A, 鋼構造学B
専	教授	松本 樹典 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B
専	教授	宮島 昌克 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 応用振動学A, 応用振動学B, 土木建設防災マネジメントA, 土木建設防災マネジメントB
専	教授	由比 政年 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 流体力学A, 流体力学B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 海洋工学B
専	准教授	奥寺 浩樹 ( ) <平成30年4月> 鉱物・結晶学演習A, 鉱物・結晶学演習B, 鉱物学A, 鉱物学B, 結晶学A, 結晶学B, 鉱物学特論A, 鉱物学特論B, 地球学巡検1, 地球物質分析実験A, 地球物質分析実験B, 応用地球物質分析実験A, 応用地球物質分析実験B, 地球学巡検2, 地球惑星科学ゼミナール(1) A, 地球惑星科学ゼミナール(1) B, 地球惑星科学ゼミナール(1) C, 地球惑星科学ゼミナール(1) D, 地球惑星科学ゼミナール(2) A, 地球惑星科学ゼミナール(2) B, 地球惑星科学ゼミナール(2) C, 地球惑星科学ゼミナール(2) D, 地球惑星科学文献演習(1) A, 地球惑星科学文献演習(1) B, 地球惑星科学文献演習(2) A, 地球惑星科学文献演習(2) B, 地球惑星科学課題研究(1) A, 地球惑星科学課題研究(2) A, 地球惑星科学課題研究(2) B
専	准教授	隅田 育郎 ( ) <平成30年4月> 基礎地球惑星物理学A, 基礎地球惑星物理学B, 基礎地球惑星物理学A, 基礎地球惑星物理学B, 地球惑星物理学A, 地球惑星物理学B, 数理地球惑星科学A, 数理地球惑星科学B, 地球学巡検1, 地球物理学実験A, 地球物理学実験B, 応用地球物理学実験A, 応用地球物理学実験B, 地球学巡検2, 地球惑星科学ゼミナール(1) A, 地球惑星科学ゼミナール(1) B, 地球惑星科学ゼミナール(1) C, 地球惑星科学ゼミナール(1) D, 地球惑星科学ゼミナール(2) A, 地球惑星科学ゼミナール(2) B, 地球惑星科学ゼミナール(2) C, 地球惑星科学ゼミナール(2) D, 地球惑星科学文献演習(1) A, 地球惑星科学文献演習(1) B, 地球惑星科学文献演習(2) A, 地球惑星科学文献演習(2) B, 地球惑星科学課題研究(1) A, 地球惑星科学課題研究(2) A, 地球惑星科学課題研究(2) B
専	准教授	椋田 真也 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 水理学基礎, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 開水路水理学A, 開水路水理学B, 河川工学A
専	准教授	大橋 政司 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 応用物理学, 熱力学基礎, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 建築設備工学A, 建築設備工学B
専	准教授	久保 善司 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 建設材料学A, 建設材料学B, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計
専	准教授	小林 俊一 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 土質力学及び演習A, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 土質力学及び演習B, 地盤解析学A, 地盤工学A, 地盤工学B, 地盤解析学B
専	准教授	高山 雄貴 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 計画理論A, 計画理論B, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, ミクロ経済学基礎, 都市経済学

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	樹谷 浩 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 構造力学A, 構造力学B, 構造力学C, 構造力学D, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 構造解析学A, 構造解析学B, 鋼構造学A, 鋼構造学B
専	教授	松本 樹典 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 学外技術体験実習A, 学外技術体験実習B
専	教授	宮島 昌克 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 応用振動学A, 応用振動学B, 土木建設防災マネジメントA, 土木建設防災マネジメントB
専	教授	由比 政年 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 流体力学A, 流体力学B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 海洋工学B
専	准教授	奥寺 浩樹 ( ) <平成30年4月> 鉱物・結晶学演習A, 鉱物・結晶学演習B, 鉱物学A, 鉱物学B, 結晶学A, 結晶学B, 鉱物学特論A, 鉱物学特論B, 地球学巡検1, 地球物質分析実験A, 地球物質分析実験B, 応用地球物質分析実験A, 応用地球物質分析実験B, 地球学巡検2, 地球惑星科学ゼミナール(1) A, 地球惑星科学ゼミナール(1) B, 地球惑星科学ゼミナール(1) C, 地球惑星科学ゼミナール(1) D, 地球惑星科学ゼミナール(2) A, 地球惑星科学ゼミナール(2) B, 地球惑星科学ゼミナール(2) C, 地球惑星科学ゼミナール(2) D, 地球惑星科学文献演習(1) A, 地球惑星科学文献演習(1) B, 地球惑星科学文献演習(2) A, 地球惑星科学文献演習(2) B, 地球惑星科学課題研究(1) A, 地球惑星科学課題研究(2) A, 地球惑星科学課題研究(2) B
専	准教授	隅田 育郎 ( ) <平成30年4月> 基礎地球惑星物理学A, 基礎地球惑星物理学B, 基礎地球惑星物理学A, 基礎地球惑星物理学B, 地球惑星物理学A, 地球惑星物理学B, 数理地球惑星科学A, 数理地球惑星科学B, 地球学巡検1, 地球物理学実験A, 地球物理学実験B, 応用地球物理学実験A, 応用地球物理学実験B, 地球学巡検2, 地球惑星科学ゼミナール(1) A, 地球惑星科学ゼミナール(1) B, 地球惑星科学ゼミナール(1) C, 地球惑星科学ゼミナール(1) D, 地球惑星科学ゼミナール(2) A, 地球惑星科学ゼミナール(2) B, 地球惑星科学ゼミナール(2) C, 地球惑星科学ゼミナール(2) D, 地球惑星科学文献演習(1) A, 地球惑星科学文献演習(1) B, 地球惑星科学文献演習(2) A, 地球惑星科学文献演習(2) B, 地球惑星科学課題研究(1) A, 地球惑星科学課題研究(2) A, 地球惑星科学課題研究(2) B
専	准教授	椋田 真也 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 水理学基礎, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 開水路水理学A, 開水路水理学B, 河川工学A
専	准教授	大橋 政司 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 応用物理学, 熱力学基礎, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 建築設備工学A, 建築設備工学B
専	准教授	久保 善司 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 建設材料学A, 建設材料学B, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計
専	准教授	小林 俊一 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 土質力学及び演習A, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 土質力学及び演習B, 地盤解析学A, 地盤工学A, 地盤工学B, 地盤解析学B
専	准教授	高山 雄貴 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 計画理論A, 計画理論B, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, ミクロ経済学基礎, 都市経済学

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	谷口 健司 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 管水路水理学A, 管水路水理学B, 河川工学A, 河川工学B
専	准教授	西野 達也 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 卒業研究・設計, 建築学概論A, 建築学概論B, 建築設計演習基礎, 建築計画A, 建築計画B, 建築設計演習A, 建築設計演習B, 建築設計演習C, 建築設計演習D, 建築設計演習E, 景観デザイン学A, 景観デザイン学B
専	准教授	畑 光彦 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 大気環境工学A, 大気環境工学B, 廃棄物工学, 建築環境工学A, 建築環境工学B, 建築設備工学A, 建築設備工学B
専	准教授	本多 了 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤情報処理演習A, 地球社会基盤情報処理演習B, 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 環境反応工学A, 環境反応工学B, 上下水道学A, 上下水道学B
専	講師	池本 敏和 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 卒業研究・設計, 応用振動学A, 応用振動学B, 土木建設防災マネジメントA, 土木建設防災マネジメントB, 建築学概論A, 建築学概論B, 建築環境工学A, 建築施工A, 建築施工B
専	講師	小林 史彦 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 計画プロセス, 地域計画基礎, 建築学概論A, 建築学概論B, 建築設計演習A, 都市計画A, 都市計画B, 建築環境工学A, 景観デザイン学A, 景観デザイン学, 建築法規, 卒業研究・設計
専	助教	高原 利幸 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 土質力学及び演習A, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 土質力学及び演習B, 地盤解析学A, 地盤工学A, 地盤工学B, 地盤解析学B
専	助教	二宮 順一 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 水理学基礎, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 海岸工学B
専	助教	藤生 慎 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 計画理論A, 計画理論B, 測量学及び実習第2, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 交通計画A, 交通計画B
専	助教	松浦 哲久 ( ) <平成30年4月> 社会基盤工学実験, 卒業研究・設計, 水環境工学A, 水環境工学B, 上下水道学A
専	助教	村田 晶 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 土木建設防災マネジメントA, 土木建設防災マネジメントB
専	助教	遠藤 徳孝 ( ) <平成30年4月> 基礎地球惑星物質学A, 基礎地球惑星物質学B, 基礎環境変動学A, 基礎環境変動学B, 地球惑星物理学A, 地球惑星物理学B, 地球環境学A, 地球環境学B, 数値地球惑星科学A, 数値地球惑星科学B, 地球学巡検1, 地球物理学実験A, 地球物理学実験B, 応用地球物理学実験A, 応用地球物理学実験B, 地球学巡検2, 地球惑星科学ゼミナール(1)A, 地球惑星科学ゼミナール(1)B, 地球惑星科学ゼミナール(1)C, 地球惑星科学ゼミナール(1)D, 地球惑星科学ゼミナール(2)A, 地球惑星科学ゼミナール(2)B, 地球惑星科学ゼミナール(2)C, 地球惑星科学ゼミナール(2)D, 地球惑星科学文献演習(1)A, 地球惑星科学文献演習(1)B, 地球惑星科学文献演習(1)C, 地球惑星科学文献演習(1)D, 地球惑星科学文献演習(2)A, 地球惑星科学文献演習(2)B, 地球惑星科学文献演習(2)C, 地球惑星科学文献演習(2)D, 地球惑星科学課題研究(1)A, 地球惑星科学課題研究(1)B, 地球惑星科学課題研究(1)C, 地球惑星科学課題研究(1)D, 地球惑星科学課題研究(2)A, 地球惑星科学課題研究(2)B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	谷口 健司 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 管水路水理学A, 管水路水理学B, 河川工学A, 河川工学B
専	准教授	西野 達也 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 卒業研究・設計, 建築学概論A, 建築学概論B, 建築設計演習基礎, 建築計画A, 建築計画B, 建築設計演習A, 建築設計演習B, 建築設計演習C, 建築設計演習D, 建築設計演習E, 景観デザイン学A, 景観デザイン学B
専	准教授	畑 光彦 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 大気環境工学A, 大気環境工学B, 廃棄物工学, 建築環境工学A, 建築環境工学B, 建築設備工学A, 建築設備工学B
専	准教授	本多 了 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤情報処理演習A, 地球社会基盤情報処理演習B, 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 環境反応工学A, 環境反応工学B, 上下水道学A, 上下水道学B
専	講師	池本 敏和 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 卒業研究・設計, 応用振動学A, 応用振動学B, 土木建設防災マネジメントA, 土木建設防災マネジメントB, 建築学概論A, 建築学概論B, 建築環境工学A, 建築施工A, 建築施工B
専	講師	小林 史彦 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 計画プロセス, 地域計画基礎, 建築学概論A, 建築学概論B, 建築設計演習A, 都市計画A, 都市計画B, 建築環境工学A, 景観デザイン学A, 景観デザイン学, 建築法規, 卒業研究・設計
専	助教	高原 利幸 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 土質力学及び演習A, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 土質力学及び演習B, 地盤解析学A, 地盤工学A, 地盤工学B, 地盤解析学B
専	助教	二宮 順一 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 水理学基礎, 測量学及び実習第2, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 海岸工学B
専	助教	藤生 慎 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 測量学及び実習第1, 計画理論A, 計画理論B, 測量学及び実習第2, 社会基盤デザイン演習第1, プログラミング演習, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 交通計画A, 交通計画B
専	助教	松浦 哲久 ( ) <平成30年4月> 社会基盤工学実験, 卒業研究・設計, 水環境工学A, 水環境工学B, 上下水道学A
専	助教	村田 晶 ( ) <平成30年4月> 地球社会基盤学概論A, 地球社会基盤学概論B, 社会基盤工学実験, 社会基盤デザイン演習第1, 社会基盤デザイン演習第2, 卒業研究・設計, 土木建設防災マネジメントA, 土木建設防災マネジメントB
専	助教	遠藤 徳孝 ( ) <平成30年4月> 基礎地球惑星物質学A, 基礎地球惑星物質学B, 基礎環境変動学A, 基礎環境変動学B, 地球惑星物理学A, 地球惑星物理学B, 地球環境学A, 地球環境学B, 数値地球惑星科学A, 数値地球惑星科学B, 地球学巡検1, 地球物理学実験A, 地球物理学実験B, 応用地球物理学実験A, 応用地球物理学実験B, 地球学巡検2, 地球惑星科学ゼミナール(1)A, 地球惑星科学ゼミナール(1)B, 地球惑星科学ゼミナール(1)C, 地球惑星科学ゼミナール(1)D, 地球惑星科学ゼミナール(2)A, 地球惑星科学ゼミナール(2)B, 地球惑星科学ゼミナール(2)C, 地球惑星科学ゼミナール(2)D, 地球惑星科学文献演習(1)A, 地球惑星科学文献演習(1)B, 地球惑星科学文献演習(1)C, 地球惑星科学文献演習(1)D, 地球惑星科学文献演習(2)A, 地球惑星科学文献演習(2)B, 地球惑星科学文献演習(2)C, 地球惑星科学文献演習(2)D, 地球惑星科学課題研究(1)A, 地球惑星科学課題研究(1)B, 地球惑星科学課題研究(1)C, 地球惑星科学課題研究(1)D, 地球惑星科学課題研究(2)A, 地球惑星科学課題研究(2)B



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	准教授	松木 篤 ( ) 〈平成30年4月〉 基礎環境変動学A、基礎環境変動学B、地球環境学A、地球環境学B、環境地球化学A、環境地球化学B、地球学巡検1、地球化学実験A、地球化学実験B、地球学巡検2、地球惑星科学ゼミナール(1)A、地球惑星科学ゼミナール(1)B、地球惑星科学ゼミナール(1)C、地球惑星科学ゼミナール(1)D、地球惑星科学ゼミナール(2)A、地球惑星科学ゼミナール(2)B、地球惑星科学ゼミナール(2)C、地球惑星科学ゼミナール(2)D、地球惑星科学文献演習(1)A、地球惑星科学文献演習(1)B、地球惑星科学文献演習(2)A、地球惑星科学文献演習(2)B、地球惑星科学課題研究(1)A、地球惑星科学課題研究(2)A、地球惑星科学課題研究(2)B
		福士圭介 ( ) 〈平成30年4月〉 基礎環境変動学A、基礎環境変動学B、地球惑星データ解析A、地球惑星データ解析B、環境地球化学A、環境地球化学B、地球学巡検1、地球化学実験A、地球化学実験B、応用地球化学実験A、応用地球化学実験B、地球学巡検2、地球惑星科学ゼミナール(1)A、地球惑星科学ゼミナール(1)B、地球惑星科学ゼミナール(1)C、地球惑星科学ゼミナール(1)D、地球惑星科学ゼミナール(2)A、地球惑星科学ゼミナール(2)B、地球惑星科学ゼミナール(2)C、地球惑星科学ゼミナール(2)D、地球惑星科学文献演習(1)A、地球惑星科学文献演習(1)B、地球惑星科学文献演習(2)A、地球惑星科学文献演習(2)B、地球惑星科学課題研究(1)A、地球惑星科学課題研究(2)A、地球惑星科学課題研究(2)B
兼任	教授	蚊戸宣幸 ( ) 〈平成30年4月〉 微分方程式及び演習、フーリエ解析及び演習
兼任	教授	門上晃久 ( ) 〈平成30年4月〉 複素解析及び演習
兼任	助教	西脇ゆり ( ) 〈平成30年4月〉 水環境工学A、水環境工学B
兼任	教授	塚脇真二 ( ) 〈平成30年4月〉 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、地質学概論
兼任	教授	山岸雅子 ( ) 〈平成32年4月〉 住生活学A、住生活学B
兼任	教授	伊藤悟 ( ) 〈平成32年4月〉 都市地理学A
兼任	教授	勘基裕一 ( ) 〈平成31年4月〉 ベクトル解析及び演習
兼任	教授	【学外非常勤講師】 ( ) 〈平成33年4月〉 テクニカルコミュニケーション基礎A、テクニカルコミュニケーション基礎B
兼任	教授	【学外非常勤講師】 ( ) 〈平成33年4月〉 工学における倫理と法

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉
		担当授業科目名
兼任	准教授	松木 篤 ( ) 〈平成30年4月〉 基礎環境変動学A、基礎環境変動学B、地球環境学A、地球環境学B、環境地球化学A、環境地球化学B、地球学巡検1、地球化学実験A、地球化学実験B、地球学巡検2、地球惑星科学ゼミナール(1)A、地球惑星科学ゼミナール(1)B、地球惑星科学ゼミナール(1)C、地球惑星科学ゼミナール(1)D、地球惑星科学ゼミナール(2)A、地球惑星科学ゼミナール(2)B、地球惑星科学ゼミナール(2)C、地球惑星科学ゼミナール(2)D、地球惑星科学文献演習(1)A、地球惑星科学文献演習(1)B、地球惑星科学文献演習(2)A、地球惑星科学文献演習(2)B、地球惑星科学課題研究(1)A、地球惑星科学課題研究(2)A、地球惑星科学課題研究(2)B
		福士圭介 ( ) 〈平成30年4月〉 基礎環境変動学A、基礎環境変動学B、地球惑星データ解析A、地球惑星データ解析B、環境地球化学A、環境地球化学B、地球学巡検1、地球化学実験A、地球化学実験B、応用地球化学実験A、応用地球化学実験B、地球学巡検2、地球惑星科学ゼミナール(1)A、地球惑星科学ゼミナール(1)B、地球惑星科学ゼミナール(1)C、地球惑星科学ゼミナール(1)D、地球惑星科学ゼミナール(2)A、地球惑星科学ゼミナール(2)B、地球惑星科学ゼミナール(2)C、地球惑星科学ゼミナール(2)D、地球惑星科学文献演習(1)A、地球惑星科学文献演習(1)B、地球惑星科学文献演習(2)A、地球惑星科学文献演習(2)B、地球惑星科学課題研究(1)A、地球惑星科学課題研究(2)A、地球惑星科学課題研究(2)B
兼任	教授	蚊戸宣幸 ( ) 〈平成30年4月〉 微分方程式及び演習、フーリエ解析及び演習
兼任	教授	門上晃久 ( ) 〈平成30年4月〉 複素解析及び演習
兼任	助教	西脇ゆり ( ) 〈平成30年4月〉 水環境工学A、水環境工学B
兼任	教授	塚脇真二 ( ) 〈平成30年4月〉 地球社会基盤学概論A、地球社会基盤学概論B、社会基盤デザイン演習第1、社会基盤デザイン演習第2、卒業研究・設計、地質学概論
兼任	教授	山岸雅子 ( ) 〈平成32年4月〉 住生活学A、住生活学B
兼任	教授	伊藤悟 ( ) 〈平成32年4月〉 都市地理学A
兼任	教授	勘基裕一 ( ) 〈平成31年4月〉 ベクトル解析及び演習
兼任	教授	【学外非常勤講師】 ( ) 〈平成33年4月〉 テクニカルコミュニケーション基礎A、テクニカルコミュニケーション基礎B
兼任	教授	【学外非常勤講師】 ( ) 〈平成33年4月〉 工学における倫理と法

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 ・ その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**  
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。



(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

平成30年4月1日 原助教採用。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
20	12	2	10	44	19	11	2	11	43	19	11	2	11	43
(20)	(12)	(2)	(10)	(44)						[Δ1]	[Δ1]	[0]	[1]	[Δ1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{43}{44} = \boxed{97.72} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{43} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)										
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{44} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
		該当なし											
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<理工学域 地球社会基盤学類>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

教育方法改善委員会（理工学域に設置）

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

年10回程度開催（委員9名は毎回ほぼ全員出席している）

##### c 委員会の審議事項等

教育方法改善にかかる諸事項審議・決定

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

① 授業方法改善のためのアンケート

② FD研修会，新任教員研修会の実施

③ アクティブラーニングに関する検討

##### b 実施方法

① 授業評価アンケート：各クォーター終了後，学生がWebからアンケート回答→集計→各教員へフィードバック

② FD研修会，新任教員研修会：年に1回実施。

③ アクティブラーニングに関する検討：アクティブラーニングアドバイザーを選出・実施。

##### c 開催状況（教員の参加状況含む）

① 授業評価アンケート回答率：約50%

② FD研修会出席率：約50% 新任教員研修会出席率：約60%

③ アクティブラーニング：28科目実施

##### d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

科目ごとにアンケート結果を踏まえたリフレクションペーパーを作成している。

実施例：板書とPPT資料を織り交ぜた授業展開。単元毎の小テスト実施。

#### ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

##### a 実施の有無及び実施時期

実施（年4回。各クォーター終了後）

##### b 教員や学生への公開状況，方法等

理工学域Webサイトに，学類毎の集計結果を掲載。（授業担当教員はポータルサイトから担当科目の結果を参照できる）

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員充足，施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。  
FD活動や授業評価アンケートなどをもとに，カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・未定（検討中）

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

##### a ホームページに公表（予定）の有無

（  有 ・  無 ）

##### b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

（平成30年7月1日（予定））

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には，5月1日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人金沢大学

## (2) 大学名 金沢大学

## (3) 大学の位置

〒920-1192  
石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ヤマザキ コウエツ) 山崎 光悦 (平成26年4月)		
学域長	(アオキ ケンイチ) 青木 健一 (平成28年4月)		
学類長	(サトウ ケンジ) 佐藤 賢二 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
理工学域 生命理工学類	理学関係	4年	59人	年次 3年次 2人	240人	
学士(理学)						
学士(工学)	工学関係					

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	50 ( - ) [ - ]								1.02 倍	本表には, 「理系後期一括」入試による入学者分は含んでいない。
志願者数	90 ( - ) [ 4 ]									
受験者数	88 ( - ) [ 4 ]									
合格者数	52 ( - ) [ 1 ]									
B 入学者数	51 ( - ) [ 1 ]									
入学定員超過率 B/A	1.02									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。



(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	51 [1] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	1年次の在学者には、「理系後期一括」入試による入学者は含んでいない。
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/		/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	51 [1] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	51人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	51人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{51} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。





	スペイン語A3-1	1③	1	兼1
	スペイン語A3-2	1④	1	兼1
	スペイン語A4-1	1③	1	兼1
	スペイン語A4-2	1④	1	兼1
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
自由履修科目	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼1
	石川県の行政	1-2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1-2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	1-2③-④	2	兼2
	健康論実践D	1-2③-④	1	兼4
	健康論実践E	1-2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1-2①-②	1	兼8
	里山体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	里海体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1-2①-②	1	兼8
	クラウド時代の「もの」のグラミング	1-2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1-2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1-2③-④	2	兼1
	ダイバーシティ&インクルージョン	1-2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1-2①-②	2	兼1
	ファシリテーション入門	1-2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1-2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1-2③-④	2	兼13
	画像解剖学	2-3-4③-④	1	兼1
	よくわかる健康と病気	1-2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1-2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1-2③	1	兼3
	死と喪失	1-2③-④	1	兼1
	ひとのからだ I	1-2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1-2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1-2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1-2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1-2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白川)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	1③-④	1	兼1
	地方行政	1-2③-④	2	兼1
	ブランディング入門	1-2①-②	2	兼1
	ゼミノ政治哲学入門	1-2③-④	2	兼1
	茶道を通して学ぶ日本文化	1-2③-④	2	兼1
	日本の伝統芸能	1-2①-②	2	兼1
	金沢の歴史と文化	1-2③-④	2	兼2
	ESD入門	1-2①-②	1	兼1
廃棄物管理と循環型社会	1-2①-②	1	兼1	
持続可能性と福祉	1-2①-③	1	兼1	
異文化間イベント	1-2③-④	2	兼1	
日本の歴史からみた歴史と時間	1-2③-④	2	兼1	
日本と金沢の建築・都市	1-2①-②	2	兼2	
コミュニケーションビジネス	1-2③-④	2	兼2	
日本国憲法概説	1-2③-④	2	兼4	
行政学入門	1-2①-②	2	兼1	
公共政策入門 I	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門C	1-2③-④	2	兼1	
日本史要説	2③-④	2	兼4	
東洋史要説	2③-④	2	兼3	
法論理学入門	1-2①	2	兼1	
異文化理解のためのビデオ	1-2③	1	兼1	
ビジネス入門	1-2①	1	兼1	
日本のオープンデータ活用	1-2②	1	兼1	
ビジネスと金融	1-2③	1	兼1	
世界のオープンデータ活用	1-2④	1	兼1	
ガラスとクリスタル I	1-2②	1	兼1	
ガラスとクリスタル II	1-2③	1	兼1	
英国諸島の地史 I	1-2②	1	兼1	
英国諸島の地史 II	1-2③	1	兼1	
地学実験	1-2③-④	2	兼16	
東洋医学	3-4③-④	2	兼2	
コンピューターグラフィクス演習	1-2③-④	2	兼1	
生物学実験	1-2①-②	2	兼13	
実践Webプログラミング実習	1-2③-④	2	兼1	
実践システム開発工程入門	1-2③-④	2	兼1	
プログラミング演習	1-2③-④	2	兼1	
環境動態学概説 I	1-2③	1	兼1	
環境動態学概説 II	1-2④	1	兼1	

	スペイン語A3-1	1③	1	兼2
	スペイン語A3-2	1④	1	兼2
	スペイン語A4-1	1③	1	兼2
	スペイン語A4-2	1④	1	兼2
	スペイン語B-1	2①	1	兼1
	スペイン語B-2	2②	1	兼1
	スペイン語C-1	2③	1	兼1
	スペイン語C-2	2④	1	兼1
自由履修科目	ジャーナリズム論	1-2③	1	兼2
	石川県の行政	1-2③-④	2	兼1
	石川県の市町	1-2①-②	2	兼1
	キャリアディベロップメント実践	1-2③-④	2	兼2
	健康論実践D	1-2③-④	1	兼3
	健康論実践E	1-2③-④	1	兼2
	能登の世界農業遺産を学ぶ	1-2①-②	1	兼7
	里山体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼6
	里海体験実習in能登半島	1-2①-②	1	兼5
	地元学A(地域資源調査)	1-2①	1	兼1
	地元学B(聞き書き)	1-2②	1	兼1
	生と死を見つめて	1-2②	1	兼6
	実践アントレプレナー学	1-2①-②	1	兼1
	クラウド時代の「もの」のグラミング	1-2①-②	2	兼3
	シェルスクリプト言語論	1-2①-②	2	兼2
	マスメディアと現代を読み解く	1-2②	1	兼1
	ライフキャリアデザイン	1-2③-④	2	兼1
	ダイバーシティ&インクルージョン	1-2②	1	兼3
	キャリアディベロップメント	1-2①-②	2	兼1
	ファシリテーション入門	1-2②-④	1	兼3
	学生・学習論	1-2①	1	兼2
	コーヒーの世界	1-2③-④	2	兼11
	画像解剖学	2-3-4③-④	2	兼1
	よくわかる健康と病気	1-2③-④	1	兼1
	国際協力と地域のグローバル	1-2③-④	2	兼1
	心と体の健康	1-2③	1	兼3
	死と喪失	1-2③-④	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己	1-2①	1	兼1
	アートセラピーを通じて自己	1-2③	1	兼1
	香りと日本文化	1-2②	1	兼1
	エンターテインメントの英語	1-2②	1	兼1
	芸術としての料理と写真	1-2③	1	兼1
	ひとのからだ I	1-2①-②	2	兼1
	ひとのからだ II	1-2③-④	2	兼1
	基礎病態学	1-2③-④	1	兼1
	哲学A	2①-②	2	兼1
	宗教学A	1-2③-④	2	兼1
	ことばと文化J	1-2③-④	2	兼1
	基礎運動学	2①-②	1	兼4
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(能登)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(白川)	1①-②	1	兼1
	地域「超」体験プログラム(五箇)	1③-④	1	兼1
	地方行政	1-2③-④	2	兼1
	ブランディング入門	1-2①-②	2	兼1
ゼミノ政治哲学入門	1-2③-④	2	兼1	
日本文化・社会体験「茶道を	1-2③-④	2	兼1	
日本文化・社会体験「日本の	1-2①-②	2	兼1	
金沢の歴史と文化	1-2③-④	2	兼2	
ESD入門	1-2①-②	1	兼1	
廃棄物管理と循環型社会	1-2①-②	1	兼1	
持続可能性と福祉	1-2①-③	1	兼1	
異文化間イベント	1-2③-④	2	兼1	
日本の歴史からみた歴史と時間	1-2③-④	2	兼1	
日本と金沢の建築・都市	1-2②	1	兼2	
コミュニケーションビジネス	1-2③-④	2	兼2	
日本国憲法概説	1-2③-④	2	兼5	
行政学入門	1-2①-②	2	兼1	
公共政策入門 I	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門C	1-2③-④	2	兼1	
簿記入門	1-2①-②	2	兼1	
経済学入門D	1-2③-④	2	兼1	
日本史要説	2①-②	2	兼4	
東洋史要説	2③-④	2	兼3	
法論理学入門	1-2①	2	兼1	
異文化理解のためのビデオ	1-2③	1	兼1	
ビジネス入門	1-2①	1	兼1	
日本のオープンデータ活用	1-2②	1	兼1	
ビジネスと金融	1-2③	1	兼1	
世界のオープンデータ活用	1-2④	1	兼1	
日本語と社会	1-2③-④	2	兼1	
行政学の基礎	1-2①-②	2	兼1	
ガラスとクリスタル I	1-2②	1	兼1	
ガラスとクリスタル II	1-2③	1	兼1	
英国諸島の地史 I	1-2②	1	兼1	
英国諸島の地史 II	1-2③	1	兼1	
地学実験	1-2③-④	2	兼17	
東洋医学	3-4③-④	2	兼2	
コンピューターグラフィクス演習	1-2③-④	2	兼1	
生物学実験	1-2①-②	2	兼11	
実践Webプログラミング実習	1-2③-④	2	兼1	
実践システム開発工程入門	1-2③-④	2	兼1	
プログラミング演習	1-2③-④	2	兼1	
環境動態学概説 I	1-2③	1	兼1	
環境動態学概説 II	1-2④	1	兼1	

	海洋生化学演習	1-2①-②	2		兼4				
	動画配信サービスを用いた情	1-2①-②	2		兼1				
	プレゼンテーション演習	1-2③-④	2		兼1				
	英語セミナー	1-2③-④	1		兼7				
	英語セミナー	1-2③-④	2		兼2				
	ゼミ/漢文資料読解A	1-2③-④	2		兼1				
	ゼミ/漢文資料読解B	1-2③-④	2		兼1				
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を巡	1-2③-④	2		兼1				
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1		兼1				
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2②	1		兼1				
	身体・スポーツ実技/野外活	1-2③-④	1		兼3				
	身体・スポーツ実技/初心者	1-2③-④	1		兼6				
	ゼミ/身体運動心理学	1-2③-④	2		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス I-1)	1③	1		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス I-2)	1④	1		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス II-1)	1③	1		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス II-2)	1④	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス I-1)	1③	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス I-2)	1④	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス II-1)	1③	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス II-2)	1④	1		兼1				
	中国語A(充実クラス I-1)	1③	1		兼1				
	中国語A(充実クラス I-2)	1④	1		兼1				
	中国語A(充実クラス II-1)	1③	1		兼1				
	中国語A(充実クラス II-2)	1④	1		兼1				
学域GS科目	数学物理学演習A	1③	1		兼3				
	数学物理学演習B	1④	1		兼3				
	物質化学序論A	2①	1		兼4				
	物質化学序論B	2②	1		兼4				
	先端テクノロジー概論	1③・④	1		兼7				
	数学物理基礎リテラシー	2①-②	1		兼5				
	電子情報通信工学序論	2①	1		兼4				
	地球社会基盤情報処理演習	2①	1		兼8				
	地球社会基盤情報処理演習	2②	1		兼8				
	生命科学技術論A	1①	1	2	6	1	3		
	生命科学技術論B	1②	1	2	2	3			
言G	学域GS言語科目Ⅰ(理工系)	2①	1	1					
言G	学域GS言語科目Ⅱ(理工系)	2②	1	1					
専門科目	【学域共通科目】								
	情報・計算科学基礎	1③	2		兼3				
	計算科学	1④	2		兼2				
	情報処理演習	1③-④	1		兼2				
	工業力学	2①-②	2		兼4				
	計算機リテラシーA	2①	1		兼2				
	計算機リテラシーB	2②	1		兼2				
	地球社会基盤学概論A	2①	1		兼43				
	地球社会基盤学概論B	2②	1		兼43				
	生命理工学概論A	1③	1	2	6	1	3		
	生命理工学概論B	1④	1	3	2	1			
	国際研修A	-----	1	1					
	国際研修B	-----	2	1					
	【学類共通科目】								
	生物多様性と進化A	2①	1	1	1				
	生化学A	2①	1	1	1				
	生理学IA	2①	1	1					
	生理学2A	2②	1			兼2			
	遺伝子と情報A	2②	1	1	1				
	遺伝学A	2②	1	1					
	基礎生態学A	2①	1	1		兼1			
	海洋生物学A	2②	1			兼1			
	資源生物学A	2②	1	1					
	保全生物学A	2②	1	1		兼1			
	発生物学A	2②	1	1					
	生物学基礎実習1	2①	1	4	8	1	5		
	生物学基礎実習2	2②	1	4	8	1	5		
	生物学実習1	2②	1						
	生物学実習2	2②	1			兼3			
	バイオデータベース演習A	2①	1	1					
	バイオデータベース演習B	2②	1	1					
	バイオ統計学演習A	2①	2						
	バイオ統計学演習B	2②	2	1					
	バイオプロダクションA	2①	1			兼1			
	バイオプロダクションB	2②	1			兼1			
	有機化学A	2①	1						1
	有機化学B	2②	1						1
	バイオ工学基礎A	2①	1	2	2	2			兼2
	バイオ工学基礎B	2②	1	2	2	2			兼2
	【生命システムコース】								
	生物多様性と進化B	2③	1	1	1				
	生化学B	2③	1	1	1				
	生理学1B	2③	1	1					
	生理学2B	2④	1			兼2			
	遺伝子と情報B	2④	1	1	1				
	遺伝学B	2④	1	1					
細胞学	2③	1			兼10				
がん生物学	2④	1			兼10				
システム生物学	2④	1						1	
基礎生態学B	2③	1	1		兼1				
保全生物学B	2④	1	1						
発生物学B	2④	1						1	
組織形態学実験	2③	1	1	1					

	海洋生化学演習	1-2①-②	2		兼4				
	動画配信サービスを用いた情	1-2①-②	2		兼1				
	プレゼンテーション演習	1-2③-④	2		兼1				
	Pythonデータ分析入門	1-2③	1		兼1				
	英語セミナー	1-2③-④	1		兼4				
	英語セミナー	1-2③-④	2		兼2				
	ゼミ/漢文資料読解A	1-2③-④	2		兼1				
	ゼミ/漢文資料読解B	1-2③-④	2		兼1				
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を巡	1-2③-④	2		兼1				
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を巡	1-2③	1		兼1				
	ゼミ/アフリカ系人の音楽を巡	1-2④	1		兼1				
	ゼミ/角間の里山づくり 春編	1-2①	1		兼1				
	ゼミ/角間の里山づくり 秋編	1-2②	1		兼1				
	身体・スポーツ実技/野外活	1-2③-④	1		兼3				
	身体・スポーツ実技/初心者	1-2③-④	1		兼6				
	ゼミ/身体運動心理学	1-2③-④	2		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス I-1)	1③	1		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス I-2)	1④	1		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス II-1)	1③	1		兼1				
	ドイツ語A(充実クラス II-2)	1④	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス I-1)	1③	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス I-2)	1④	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス II-1)	1③	1		兼1				
	フランス語A(充実クラス II-2)	1④	1		兼1				
	中国語A(充実クラス I-1)	1③	1		兼1				
	中国語A(充実クラス I-2)	1④	1		兼1				
	中国語A(充実クラス II-1)	1③	1		兼1				
	中国語A(充実クラス II-2)	1④	1		兼1				
学域GS科目	数学物理学演習A	1③	1		兼3				
	数学物理学演習B	1④	1		兼3				
	物質化学序論A	2①	1		兼4				
	物質化学序論B	2②	1		兼4				
	先端テクノロジー概論	1③・④	1		兼7				
	数学物理基礎リテラシー	2①-②	1		兼5				
	電子情報通信工学序論	2①	1		兼4				
	地球社会基盤情報処理演習	2①	1		兼8				
	地球社会基盤情報処理演習	2②	1		兼8				
	生命科学技術論A	1①	1	3	6	1	2		
	生命科学技術論B	1②	1	3	5	4			
言G	学域GS言語科目Ⅰ(理工系)	2①	1	1					
言G	学域GS言語科目Ⅱ(理工系)	2②	1	1					
専門科目	【学域共通科目】								
	情報・計算科学基礎	1③	2		兼3				
	計算科学	1④	2		兼2				
	情報処理演習	1③-④	1		兼2				
	工業力学	2①-②	2		兼4				
	計算機リテラシーA	2①	1		兼2				
	計算機リテラシーB	2②	1		兼2				
	地球社会基盤学概論A	2①	1		兼43				
	地球社会基盤学概論B	2②	1		兼43				
	生命理工学概論A	1③	1	3	6	1	2		
	生命理工学概論B	1④	1	3	5	4			
	国際研修A	-----	1	1					
	国際研修B	-----	2	1					
	【学類共通科目】								
	生物多様性と進化A	2①	1	0		1			兼1
	生化学A	2①	1	1	1				
	生理学IA	2①	1	1					
	生理学2A	2②	1	1		兼1			
	遺伝子と情報A	2②	1	1	1				
	遺伝学A	2②	1	1					
	基礎生態学A	2①	1	1		兼1			
	海洋生物学A	2②	1			兼1			
	資源生物学A	2②	1	1					
	保全生物学A	2②	1	1		兼1			
	発生物学A	2②	1	1					
	生物学基礎実習1	2①	1	4	8	1	4		
	生物学基礎実習2	2②	1	4	8	1	4		
	生物学実習1	2②	1						
	生物学実習2	2②	1			兼3			
	バイオデータベース演習A	2①	1	1					
	バイオデータベース演習B	2②	1	1					
	バイオ統計学演習A	2①	2	1					
	バイオ統計学演習B	2②	2	1					
	バイオプロダクションA	2①	1	1		兼0			
	バイオプロダクションB	2②	1	1		兼0			
	有機化学A	2①	1						1
	有機化学B	2②	1						1
	バイオ工学基礎A	2①	1	2	3	2			兼1
	バイオ工学基礎B	2②	1	2	3	2			兼1
	【生命システムコース】								
	生物多様性と進化B	2③	1	0		1			兼1
	生化学B	2③	1	1	1				
	生理学1B								

生化学実験	2④	1	1	1			
生態学実験	2③	1	2				
【海洋生物資源コース】							
生物多様性と進化B	2③	1	1	1			
生化学B	2③	1	1	1			
生理学1B	2③	1	1				
生理学2B	2④	1			兼2		
遺伝子と情報B	2④	1	1	1			
遺伝学B	2④	1	1				
細胞学	2③	1			兼10		
がん生物学	2④	1			兼10		
システム生物学	2④	1		1			
基礎生態学B	2③	1	1		兼1		
保全生態学B	2④	1	1		兼1		
発生生物学B	2④	1		1			
組織形態学実験	2③	1	1	1			
生化学実験	2④	1	1	1			
生態学実験	2③	1	2				
【バイオ工学科コース】							
化学反応速度論A	2③	1	1				
化学反応速度論B	2④	1	1				
生物化学工学A	2③	1			兼1		
生物化学工学B	2④	1			兼1		
分子細胞生物学A	2③	1	1				
分子細胞生物学B	2④	1	1				
バイオプログラミングA	2③	1	1				
バイオプログラミングB	2④	1	1				
データサイエンスA	2③	1		1			
データサイエンスB	2④	1		1			
微分方程式及び演習	2③・④	2			兼1		
複素解析及び演習	2③・④	2			兼1		
バイオ工学基礎実験A	2③	1	2				
バイオ工学基礎実験B	2④	1			兼2		
【生命システムコース】							
生化学C	3①	1	1	1			
生化学D	3②	1	1	1			
分子生物学A	3①	1	1	1			
分子生物学B	3②	1	1	1			
系統分類学A	3①	1	1	1			
系統分類学B	3②	1	1	1			
細胞生理学A	3①	1	1	1			
細胞生理学B	3②	1	1	1			
生態学A	3①	1	2				
生態学B	3②	1	2				
海洋生物学B	3②	1			兼1		
海洋生物学C	3②	1			兼1		
海洋生物学D	3③	1			兼1		
発生生物学C	3①	1		1			
資源生物学B	3①	1			兼1		
資源生物学C	3②	1			兼1		
遺伝学実験	3①	1	1	1			
生理学実験	3②	1	2	1			
細胞学実験	3②	1			兼2		
系統分類学実験	3②	1	1	1			
発生学実験	3①	1	1	1			
生物学実習3	3②	1	1				
生物学実習4	3②	1			兼10		
生物学実習5	3②	1			兼1		
生物学実習6	3①	1			兼3		
生物学実習7	3②	1			兼3		
生物学実習8	3③	1			兼1		
微生物学A	3③	1	1				
微生物学B	3④	1	1				
植物生理学A	3③	1	1		兼1		
植物生理学B	3④	1	1		兼1		
生命システム演習1	3③	1	2	5	1	3	兼12
生命システム演習2	3④	1	2	5	1	3	兼12
生命システム実践実験1	3③	2	2	5	1	3	兼12
生命システム実践実験2	3④	2	2	5	1	3	兼12
海洋生物資源演習1	3③	1	2	3	2		兼4
海洋生物資源演習2	3④	1	2	3	2		兼4
海洋生物資源実践実験1	3③	2	2	3	2		兼4
海洋生物資源実践実験2	3④	2	2	3	2		兼4
生命システム課題演習A	4①	3	2	5	1	3	兼12
生命システム課題演習B	4②	3	2	5	1	3	兼12
生命システム課題演習C	4③	3	2	5	1	3	兼12
生命システム課題演習D	4④	3	2	5	1	3	兼12
生命システム課題研究A	4①	3	2	5	1	3	兼12
生命システム課題研究B	4②	3	2	5	1	3	兼12
生命システム課題研究C	4③	3	2	5	1	3	兼12
生命システム課題研究D	4④	3	2	5	1	3	兼12
教職物理学※1	2②	1		1			
教職化学※1	2①	1		1			
教職地学※1	2①	1		1			
【海洋生物資源コース】							
生化学C	3①	1	1	1			
生化学D	3②	1	1	1			
分子生物学A	3①	1	1	1			
分子生物学B	3②	1	1	1			
系統分類学A	3①	1	1	1			
系統分類学B	3②	1	1	1			
細胞生理学A	3①	1	1	1			
細胞生理学B	3②	1	1	1			
生態学A	3①	1	2				

生化学実験	2④	1	1	1			
生態学実験	2③	1	2				
【海洋生物資源コース】							
生物多様性と進化B	2③	1	0	1	兼1		
生化学B	2③	1	1	1			
生理学1B	2③	1	1				
生理学2B	2④	1	1		兼1		
遺伝子と情報B	2④	1	1	1			
遺伝学B	2④	1	1				
細胞学	2③	1			兼5		
がん生物学	2④	1			兼5		
システム生物学	2④	1		1			
基礎生態学B	2③	1	1		兼1		
保全生態学B	2④	1	1		兼1		
発生生物学B	2④	1		1			
組織形態学実験	2③	1	1	1			
生化学実験	2④	1	1	1			
生態学実験	2③	1	2				
【バイオ工学科コース】							
化学反応速度論A	2③	1	1				
化学反応速度論B	2④	1	1				
生物化学工学A	2③	1	1		兼0		
生物化学工学B	2④	1	1		兼0		
分子細胞生物学A	2③	1	1				
分子細胞生物学B	2④	1	1				
バイオプログラミングA	2③	1	1				
バイオプログラミングB	2④	1	1				
データサイエンスA	2③	1		1			
データサイエンスB	2④	1		1			
微分方程式及び演習	2③・④	2			兼4		
複素解析及び演習	2③・④	2			兼4		
バイオ工学基礎実験A	2③	1	2				
バイオ工学基礎実験B	2④	1			兼2		
【生命システムコース】							
生化学C	3①	1	1	1			
生化学D	3②	1	1	1			
分子生物学A	3①	1	1	1			
分子生物学B	3②	1	1	1			
系統分類学A	3①	1	0	1	兼1		
系統分類学B	3②	1	0	1	兼1		
細胞生理学A	3①	1	2	0			
細胞生理学B	3②	1	2	0			
生態学A	3①	1	2				
生態学B	3②	1	2				
海洋生物学B	3②	1			兼1		
海洋生物学C	3②	1			兼1		
海洋生物学D	3③	1			兼1		
発生生物学C	3①	1		1			
資源生物学B	3①	1			兼1		
資源生物学C	3②	1			兼1		
遺伝学実験	3①	1	1	1			
生理学実験	3②	1	3	0			
細胞学実験	3②	1	1		兼1		
系統分類学実験	3②	1	0	1	兼1		
発生学実験	3①	1	1	1			
生物学実習3	3②	1	0		兼1		
生物学実習4	3②	1			兼5		
生物学実習5	3②	1			兼1		
生物学実習6	3①	1			兼3		
生物学実習7	3②	1			兼3		
生物学実習8	3③	1			兼1		
微生物学A	3③	1	1				
微生物学B	3④	1	1				
植物生理学A	3③	1	1		兼1		
植物生理学B	3④	1	1		兼1		
生命システム演習1	3③	1	3	5	1	2	兼6
生命システム演習2	3④	1	3	5	1	2	兼6
生命システム実践実験1	3③	2	3	5	1	2	兼6
生命システム実践実験2	3④	2	3	5	1	2	兼6
海洋生物資源演習1	3③	1	1	2	2		兼4
海洋生物資源演習2	3④	1	1	2	2		兼4
海洋生物資源実践実験1	3③	2	1	2	2		兼4
海洋生物資源実践実験2	3④	2	1	2	2		兼4
生命システム課題演習A	4①	3	3	5	1	2	兼6
生命システム課題演習B	4②	3	3	5	1	2	兼6
生命システム課題演習C	4③	3	3	5	1	2	兼6
生命システム課題演習D	4④	3	3	5	1	2	兼6
生命システム課題研究A	4①	3	3	5	1	2	兼6
生命システム課題研究B	4②	3	3	5	1	2	兼6
生命システム課題研究C	4③	3	3	5	1	2	兼6
生命システム課題研究D	4④	3	3	5	1	2	兼6
教職物理学※1	2②	1		1			
教職化学※1	2①	1		1			
教職地学※1	2①	1		1			
【海洋生物資源コース】							
生化学C	3①	1	1	1			
生化学D	3②	1	1	1			
分子生物学A	3①	1	1	1			
分子生物学B	3②	1	1	1			
系統分類学A	3①	1	0	1		兼1	
系統分類学B	3②	1	0	1		兼1	
細胞生理学A	3①	1	2	0			
細胞生理学B	3②	1	2	0			
生態学A	3①	1	2				

	生態学B	3②	1		2				
	海洋生物学B	3②	1						
	海洋生物学C	3②	1						
	海洋生物学D	3③	1						
	発生生物学C	3①	1			1			
	資源生物学B	3①	1						
	資源生物学C	3②	1						
	遺伝学実験	3①	1	1		1			
	生理学実験	3②	1		2	1			
	細胞学実験	3②	1						
	系統分類学実験	3②	1	1		1			
	発生学実験	3①	1			1			
	生物学実習3	3②	1	1					
	生物学実習4	3②	1						
	生物学実習5	3②	1						
	生物学実習6	3①	1						
	生物学実習7	3②	1						
	生物学実習8	3③	1						
	生態学特論A	3③	1		2				
	生態学特論B	3④	1		2				
	生命システム演習1	3③	1	2	5	1	3		
	生命システム演習2	3④	1	2	5	1	3		
	生命システム実践実験1	3③	2	2	5	1	3		
	生命システム実践実験2	3④	2	2	5	1	3		
	海洋生物資源演習1	3③	1	2	3	2			
	海洋生物資源演習2	3④	1	2	3	2			
	海洋生物資源実践実験1	3③	2	2	3	2			
	海洋生物資源実践実験2	3④	2	2	3	2			
	海洋生物資源課題演習A	4①	3	2	3	2			
	海洋生物資源課題演習B	4②	3	2	3	2			
	海洋生物資源課題演習C	4③	3	2	3	2			
	海洋生物資源課題演習D	4④	3	2	3	2			
	海洋生物資源課題研究A	4①	3	2	3	2			
	海洋生物資源課題研究B	4②	3	2	3	2			
	海洋生物資源課題研究C	4③	3	2	3	2			
	海洋生物資源課題研究D	4④	3	2	3	2			
	教職物理学※1	2②	1			1			
	教職化学※1	2①	1			1			
	教職地学※1	2①	1			1			
	【バイオ工学コース】								
	プロセス工学量論A	3①	1						
	プロセス工学量論B	3②	1						
	バイオ機器分析化学A	3①	1						
	バイオ機器分析化学B	3②	1						
	バイオインフォマティクス	3①	1	1		1			
	バイオインフォマティクス	3②	1	1		1			
	バイオリファイナリーA	3①	1	1		1			
	バイオリファイナリーB	3②	1	1		1			
	遺伝子工学A	3①	1		1				
	遺伝子工学B	3②	1						
	ゲノム科学A	3①	1						
	ゲノム科学B	3②	1	1					
	ベクトル解析及び演習	3③・④	2						
	フーリエ解析及び演習	3③・④	2						
	バイオ工学実験A	3①	1			1			
	バイオ工学実験B	3②	1			1			
	バイオ専門英語IA	3①	1						
	バイオ専門英語IB	3②	1						
	バイオプログラミングC	3③	1						
	バイオプログラミングD	3④	1						
	バイオインフォマティクス	3③	1	1		1			
	バイオインフォマティクス	3④	1	1		1			
	微生物工学A	3③	1						
	微生物工学B	3④	1						
	バイオテクノロジーA	3③	1						
	バイオテクノロジーB	3④	1						
	高分子化学A	3③	1			1			
	高分子化学B	3④	1			1			
	単位操作A	3③	1						
	単位操作B	3④	1						
	流体工学A	3③	1						
	流体工学B	3④	1						
	物理化学A	3③	1						
	物理化学B	3④	1						
	バイオ工学研究概論	3④	1	2	2	2			
	バイオ専門英語IIA	4③	1	2	2	2			
	バイオ専門英語IIB	4④	1	2	2	2			
	バイオ工学課題演習A	4①	3	2	2	2			
	バイオ工学課題演習B	4②	3	2	2	2			
	バイオ工学課題演習C	4③	3	2	2	2			
	バイオ工学課題演習D	4④	3	2	2	2			
	バイオ工学課題研究A	4①	3	2	2	2			
	バイオ工学課題研究B	4②	3	2	2	2			
	バイオ工学課題研究C	4③	3	2	2	2			
	バイオ工学課題研究D	4④	3	2	2	2			

	生態学B	3②	1		2				
	海洋生物学B	3②	1						
	海洋生物学C	3②	1						
	海洋生物学D	3③	1						
	発生生物学C	3①	1					1	
	資源生物学B	3①	1						
	資源生物学C	3②	1						
	遺伝学実験	3①	1	1		1			
	生理学実験	3②	1		3		0		
	細胞学実験	3②	1		1				
	系統分類学実験	3②	1		0			1	
	発生学実験	3①	1					1	
	生物学実習3	3②	1		0				
	生物学実習4	3②	1						
	生物学実習5	3②	1						
	生物学実習6	3①	1						
	生物学実習7	3②	1						
	生物学実習8	3③	1						
	生態学特論A	3③	1		2				
	生態学特論B	3④	1		2				
	生命システム演習1	3③	1	3	5	1	2		
	生命システム演習2	3④	1	3	5	1	2		
	生命システム実践実験1	3③	2	3	5	1	2		
	生命システム実践実験2	3④	2	3	5	1	2		
	海洋生物資源演習1	3③	1	1	2	2			
	海洋生物資源演習2	3④	1	1	2	2			
	海洋生物資源実践実験1	3③	2	1	2	2			
	海洋生物資源実践実験2	3④	2	1	2	2			
	海洋生物資源課題演習A	4①	3	1	2	2			
	海洋生物資源課題演習B	4②	3	1	2	2			
	海洋生物資源課題演習C	4③	3	1	2	2			
	海洋生物資源課題演習D	4④	3	1	2	2			
	海洋生物資源課題研究A	4①	3	1	2	2			
	海洋生物資源課題研究B	4②	3	1	2	2			
	海洋生物資源課題研究C	4③	3	1	2	2			
	海洋生物資源課題研究D	4④	3	1	2	2			
	教職物理学※1	2②	1			1			
	教職化学※1	2①	1			1			
	教職地学※1	2①	1			1			
	【バイオ工学コース】								
	プロセス工学量論A	3①	1						
	プロセス工学量論B	3②	1						
	バイオ機器分析化学A	3①	1						
	バイオ機器分析化学B	3②	1						
	バイオインフォマティクス	3①	1	1		1			
	バイオインフォマティクス	3②	1	1		1			
	バイオリファイナリーA	3①	1	1		1			
	バイオリファイナリーB	3②	1	1		1			
	遺伝子工学A	3①	1		1				
	遺伝子工学B	3②	1						
	ゲノム科学A	3①	1						
	ゲノム科学B	3②	1	1					
	ベクトル解析及び演習	3③・④	2						
	フーリエ解析及び演習	3③・④	2						
	バイオ工学実験A	3①	1			1			
	バイオ工学実験B	3②	1			1			
	バイオ専門英語IA	3①	1						
	バイオ専門英語IB	3②	1						
	バイオプログラミングC	3③	1						
	バイオプログラミングD	3④	1						
	バイオインフォマティクス	3③	1	1		1			
	バイオインフォマティクス	3④	1	1		1			
	微生物工学A	3③	1						
	微生物工学B	3④	1						
	バイオテクノロジーA	3③	1						
	バイオテクノロジーB	3④	1						
	高分子化学A	3③	1			1			
	高分子化学B	3④	1			1			
	単位操作A	3③	1						
	単位操作B	3④	1						
	流体工学A	3③	1						
	流体工学B	3④	1						
	物理化学A	3③	1						
	物理化学B	3④	1						
	バイオ工学研究概論	3④	1	2	3	2			
	バイオ専門英語IIA	4③	1	2	3	2			
	バイオ専門英語IIB	4④	1	2	3	2			
	バイオ工学課題演習A	4①	3	2	3	2			
	バイオ工学課題演習B	4②	3	2	3	2			
	バイオ工学課題演習C	4③	3	2	3	2			
	バイオ工学課題演習D	4④	3	2	3	2			
	バイオ工学課題研究A	4①	3	2	3	2			
	バイオ工学課題研究B	4②	3	2	3	2			
	バイオ工学課題研究C	4③	3	2	3	2			
	バイオ工学課題研究D	4④	3	2	3	2			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。  
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・共通教育科目の見直しにより、「初学セミナー」の配当年次を「1年102030」から「1年1030」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「ケーススタディによる応用倫理」の配当年次を「1年10203040」から「1年203040」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「プレゼン・ディベート論(初学セミナー)」の配当年次を「1年1020」から「1年2030」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「異文化間コミュニケーション」の配当年次を「1年203040」から「1年203040」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「グローバル社会と地域の課題」の配当年次を「1年103040」から「1年10203040」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「生活と社会保障」の配当年次を「1年3040」から「1年10203040」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅠA」の配当年次を「1年30」から「1年10」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅠB」の配当年次を「1年40」から「1年20」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅡA」の配当年次を「1年10」から「1年30」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「口頭発表ⅡB」の配当年次を「1年20」から「1年40」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-1」の配当年次を「2年1030」から「2年10」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「フランス語B-2」の配当年次を「2年2040」から「2年20」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「中国語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「中国語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A1-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-1」の配当年次を「1年1030」から「1年10」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「朝鮮語A2-2」の配当年次を「1年2040」から「1年20」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「実践アントレプレナー学」の配当年次を「1年2年1010」から「1年2年3040」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「クラウド時代の「ものづくり」概論」の配当年次を「1年2年1020」から「1年2年3040」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「シェルスクリプト言語」の配当年次を「1年2年1020」から「1年2年3040」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「画像解剖学」の単位数を「1単位」から「2単位」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「死と喪失」の配当年次を「1年2年102040」から「1年2年1020」に変更。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「アートセラピーを通じた自己分析1」「アートセラピーを通じた自己分析2」「香りと日本文化」「エンターテインメントの英語」「芸術としての料理と写真」「国連スタディ」「簿記入門」「経済学入門D」「日本語と社会」「行政学の基礎」「Pythonデータ分析入門」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界1」「ゼミ/アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界2」を新規追加。</li> <li>・共通教育科目の見直しにより、「哲学A」の配当年次を「2年1020」から「3年4年1020」に変更。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育効果の拡充のため、「生命科学技術論A」の専任教員等の配置を「教授2、准教授6、講師1、助教3、兼2」から「教授3、准教授6、講師1、助教2、兼1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため、「生命科学技術論B」の専任教員等の配置を「准教授2、助教3、兼2」から「教授3、准教授5、助教4、兼3」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため、「生命理工学概論A」の専任教員等の配置を「教授2、准教授6、講師1、助教3、兼2」から「教授3、准教授6、講師1、助教2、兼1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため、「生命理工学概論B」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、助教1、兼1」から「教授3、准教授5、助教4、兼3」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「生物多様性と進化A」および「生物多様性と進化B」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「助教1、兼1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「生理学2A」および「生理学2B」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授1、兼1」に変更。</li> <li>・教員の昇任および退職のため、「生物学基礎実習1」および「生物学基礎実習2」の専任教員等の配置を「教授4、准教授8、講師1、助教4、兼5」から「教授4、准教授8、講師1、助教4、兼5」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「バイオプロダクションA」および「バイオプロダクションB」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「バイオ工学基礎A」および「バイオ工学基礎B」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、助教2、兼2」から「教授2、准教授3、助教2、兼1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「生物化学工学A」および「生物化学工学B」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「系統分類学A」および「系統分類学B」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「助教1、兼1」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「生物学実習3」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・教員の昇任のため、「細胞生理学A」および「細胞生理学B」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「准教授2」に変更。</li> <li>・教員の昇任のため、「生理学実験」の専任教員等の配置を「准教授2、助教1」から「准教授3」に変更。</li> <li>・教員の昇任のため、「細胞実験」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授1、兼1」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「系統分類学実験」の専任教員等の配置を「准教授1、助教1」から「助教1、兼1」に変更。</li> <li>・教員担当科目見直しのため、「細胞学」「がん生物学」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼5」に変更。</li> <li>・教員担当科目見直しのため、「生物学実習4」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼5」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「生命システム演習1」および「生命システム演習2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師1、助教3、兼12」から「教授3、准教授5、講師1、助教2、兼6」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「生命システム実践実験1」および「生命システム実践実験2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師1、助教3、兼12」から「教授3、准教授5、講師1、助教2、兼6」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「海洋生物資源演習1」および「海洋生物資源演習2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教2、兼4」から「教授1、准教授2、助教2、兼4」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「海洋生物資源実践実験1」および「海洋生物資源実践実験2」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教2、兼4」から「教授1、准教授2、助教2、兼4」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「生命システム課題演習A」「生命システム課題演習B」「生命システム課題演習C」および「生命システム課題演習D」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師1、助教3、兼12」から「教授3、准教授5、講師1、助教2、兼6」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「生命システム課題研究A」「生命システム課題研究B」「生命システム課題研究C」および「生命システム課題研究D」の専任教員等の配置を「教授2、准教授5、講師1、助教3、兼12」から「教授3、准教授5、講師1、助教2、兼6」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「海洋生物資源課題演習A」「海洋生物資源課題演習B」「海洋生物資源課題演習C」および「海洋生物資源課題演習D」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教2、兼4」から「教授1、准教授2、助教2、兼4」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「海洋生物資源課題研究A」「海洋生物資源課題研究B」「海洋生物資源課題研究C」および「海洋生物資源課題研究D」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教2、兼4」から「教授1、准教授2、助教2、兼4」に変更。</li> <li>・教員の退職のため、「単位操作A」「単位操作B」の専任教員等の配置を「兼2」から「兼1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「バイオ工学実験A」および「バイオ工学実験B」の専任教員等の配置を「助教1、兼2」から「准教授1、助教1、兼1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「バイオ工学研究概論」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3、助教2、兼3」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「バイオ専門英語ⅡA」および「バイオ専門英語ⅡB」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、助教2、兼2」から「教授2、准教授3、助教2、兼1」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「バイオ工学課題演習A」「バイオ工学課題演習B」「バイオ工学課題演習C」および「バイオ工学課題演習D」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、助教2、兼4」から「教授2、准教授3、助教2、兼3」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため専任教員を配置し、「バイオ工学課題研究A」「バイオ工学課題研究B」「バイオ工学課題研究C」および「バイオ工学課題研究D」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、助教2、兼4」から「教授2、准教授3、助教2、兼3」に変更。</li> <li>・教育効果の拡充のため、「微分方程式及び演習」「複素解析及び演習」「ベクトル解析及び演習」「フーリエ解析及び演習」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼4」に変更。</li> </ul>

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。  
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
45 科目	476 科目	0 科目	521 科目	45 科目	461 科目	0 科目	506 科目	
				[ ]	[△15]	[ ]	[△15]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ラテン語B-1	1	1①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
2	ラテン語B-2	1	1②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
3	ラテン語C-1	1	1③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
4	ラテン語C-2	1	1④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
5	キャリアディベロップメント実践	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
6	ダイバーシティとインクルージョン	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
7	学生・学習論	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
8	ことばと文化J	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
9	ゼミ／政治哲学入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
10	ESD入門	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
11	廃棄物管理と循環型社会	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
12	持続可能性と福祉	1	1・2①・③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
13	異文化間ディベート	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
14	日本の歴史からみた暦と時間	2	1・2①・②・③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
15	行政学入門	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
16	公共政策入門 I	2	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
17	経済学入門C	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
18	法論理学入門	2	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
19	ビジネス入門	1	1・2①	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
20	日本のオープンデータ活用	1	1・2②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
21	ビジネスと金融	1	1・2③	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
22	世界のオープンデータ活用	1	1・2④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
23	実践Webプログラミング実習	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
24	実践システム開発工程入門	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
25	ゼミ／アフリカ系人の音楽を通じて知る現代の世界	2	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
26	身体・スポーツ実技／野外活動	1	1・2①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
27	身体・スポーツ実技／初心者スキー	1	1・2③・④	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。
28	ゼミ／身体運動心理学	2	3・4①・②	一般	選択	共通教育科目の見直しのため。代替措置無。

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

共通教育科目は、毎年、教育内容や教育効果について検討しブラッシュアップを行っているため、廃止科目が生じることはやむを得ないとする。  
学生に対しては、毎年、授業開始前にWebや掲示等を通じて開講科目を周知しているため、問題ない。

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{28}{521} = \boxed{5.37}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	731,780㎡	㎡	㎡	731,780㎡				
	運動場用地	103,704㎡	㎡	㎡	103,704㎡				
	小 計	835,484㎡	㎡	㎡	835,484㎡				
	そ の 他	1,805,514㎡	㎡	㎡	1,805,514㎡				
	合 計	2,640,998㎡	㎡	㎡	2,640,998㎡				
(2) 校舎		専 用 ( 283,269㎡)	共 用 ( ㎡)	共用する他の学校等の専用 ( ㎡)	計 ( 283,269㎡)	大学全体			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	133室	194室	910室	8室 (補助職員 人)	6室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	理工学域生命理工学類			25 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 冊	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	全て大学全体での共用分	
	医薬保健学総合研究科医学専攻	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)		
	計	1,928,640 [682,093] (1,928,640 [682,093])	36,120 [14,378] (36,120 [14,378])	8,007 [6,773] (8,007 [6,773])	8,154 (8,154)	8,063 (8,063)	230 (230)		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	19,793㎡		2,187		1,625,424				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	6,295㎡		可動屋根付プール(1,193㎡)		弓道場(162㎡)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-	-	
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		-	-	-	-	-	-		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	金沢大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人間社会学域									
人文学類	4	145	—	580	学士 (文学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	0.97	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	135	—	690	学士 (経済学)	0.99	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入定員185→135
学校教育学類	4	100	—	400	学士 (教育学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	90	—	330	学士 (地域創造学)	1	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入定員80→90
国際学類	4	85	—	295	学士 (国際学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より入定員70→85
理工学域									※理工学域の平均入定員超過率には学域共通編入学に係る数値を含んでいない。
数物科学類	4	84	3年次 5	336	学士 (理学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
物質化学類	4	81	3年次 4	324	学士 (理学・工学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	100	3年次 10	100	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
フロンティア工学類	4	110	3年次 5	110	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
電子情報通信学類	4	80	3年次 7	80	学士 (工学)	0.88	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
地球社会基盤学類	4	100	3年次 7	100	学士 (理学・工学)	0.94	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
生命理工学類	4	59	3年次 2	59	学士 (理学・工学)	0.86	平成30年度	金沢市角間町	平成32年度より編入学受入
機械工学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
電子情報学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
環境デザイン学類	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
自然システム学類	4	—	—	—	学士 (理学・工学)	—	平成20年度	金沢市角間町	平成30年度より学生募集停止
(学域共通編入学)			3年次 40	80					平成32年度より学域共通編入学停止
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	697	学士 (医学)	0.99	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	—	210	学士 (薬学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	—	160	学士 (創薬科学)		平成20年度	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	1.01	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.98	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.92	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.81	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.84	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	

教育学研究科												
教育実践高度化専攻	2	—	—	—	修士 (教育学)	—	平成21年度	金沢市角間町	平成28年度より学生募集停止			
人間社会環境研究科												
人文学専攻	2	23	—	46	修士 (文学・学術)	0.82	平成24年度	金沢市角間町				
法学・政治学専攻	2	8	—	16	修士 (法学・政治学)	0.25	平成24年度	金沢市角間町				
経済学専攻	2	6	—	14	修士 (経済学・経営学・学術)	0.71	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→6			
地域創造学専攻	2	14	—	22	修士 (地域創造学・学術)	1.09	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→14			
国際学専攻	2	10	—	18	修士 (国際学・学術)	1.05	平成24年度	金沢市角間町	平成30年度より入学定員8→10			
人間社会環境学専攻	3	12	—	36	博士 (社会環境学・文学・法学・政治学・経済学・学術)	1.22	平成18年度	金沢市角間町				
自然科学研究科												
数物科学専攻	2	56	—	112	修士 (理学・学術)	1.08	平成24年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	2	57	—	114	修士 (理学・工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	2	90	—	180	修士 (工学・学術)	1.14	平成24年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	2	67	—	134	修士 (工学・学術)	1.20	平成24年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	2	40	—	80	修士 (工学・学術)	1.03	平成24年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	2	67	—	134	修士 (理学・工学・学術)	1.04	平成24年度	金沢市角間町				
数物科学専攻	3	15	—	45	博士 (理学・学術)	0.75	平成16年度	金沢市角間町				
物質化学専攻	3	14	—	42	博士 (理学・工学・学術)	0.33	平成26年度	金沢市角間町				
機械科学専攻	3	25	—	75	博士 (工学・学術)	0.65	平成26年度	金沢市角間町				
電子情報科学専攻	3	18	—	54	博士 (工学・学術)	0.64	平成16年度	金沢市角間町				
環境デザイン学専攻	3	10	—	30	博士 (工学・学術)	1.23	平成26年度	金沢市角間町				
自然システム学専攻	3	21	—	63	博士 (理学・工学・学術)	0.57	平成26年度	金沢市角間町				
システム創成科学専攻	3	—	—	—	博士 (工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
物質科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			
環境科学専攻	3	—	—	—	博士 (理学・工学・学術)	—	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より学生募集停止			

医薬保健学総合研究科								
医科学専攻	2	15	—	30	修士 (医科学)	0.90	平成24年度 金沢市宝町13-1	
医学専攻	4	64	—	384	博士 (医学・学術)	0.91	平成28年度 金沢市宝町13-1	
脳医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
がん医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
循環医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
環境医科学専攻	4	—	—	—	博士 (医学・学術)	—	平成24年度 金沢市宝町13-1	平成28年度より学生募集停止
創薬科学専攻	2	38	—	76	修士 (創薬科学)	1.18	平成24年度 金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	—	33	博士 (創薬科学・学術)	0.87	平成24年度 金沢市角間町	
薬学専攻	4	4	—	16	博士 (薬学・学術)	1.06	平成24年度 金沢市角間町	
保健学専攻	2	70	—	140	修士 (保健学)	0.77	平成24年度 金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	—	75	博士 (保健学)	1.00	平成24年度 金沢市小立野5-11-80	
先進予防医学研究科								
先進予防医学共同専攻	4	12	—	36	博士 (医学)	1.11	平成28年度 金沢市宝町13-1	
新学術創成研究科								
融合科学共同専攻	2	14	—	14	修士 (融合科学)	0.92	平成30年度 金沢市角間町	
法務研究科								
法務専攻	3	15	—	45	法務博士 (専門職)	0.60	平成16年度 金沢市角間町	
教職実践研究科								
教職実践高度化専攻	2	15	—	30	教職修士 (専門職)	1.06	平成28年度 金沢市角間町	
(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履								
(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
  - ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<理工学域 生命理工学類>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 賢二 ( ) <平成30年4月> バイオインフォマティクスA、バイオインフォマティクスB、バイオプログラミングA、バイオプログラミングB、バイオ専門英語II A、バイオ専門英語II B、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、バイオ統計学演習A、バイオ統計学演習B、生命理工学概論B
専	教授	岩見 雅史 ( ) <平成30年4月> 分子生物学A、分子生物学B、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、組織形態学実験、遺伝子と情報A、遺伝子と情報B
専	教授	新規採用予定 ( ) <平成33年4月>
専	教授	高橋 憲司 ( ) <平成30年4月> バイオリファイナリーA、バイオリファイナリーB、バイオ専門英語II A、バイオ専門英語II B、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、化学反応速度論A、化学反応速度論B、生命理工学概論B
専	教授	程 肇 ( ) <平成30年4月> 生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、遺伝学実験、遺伝学A、遺伝学B
専	教授	新規採用予定 ( ) <平成33年4月>
専	教授	山口 正晃 ( ) <平成30年4月> 海洋生物資源実践実験1、海洋生物資源実践実験2、海洋生物資源演習1、海洋生物資源演習2、海洋生物資源課題演習A、海洋生物資源課題演習B、海洋生物資源課題演習C、海洋生物資源課題演習D、海洋生物資源課題研究A、海洋生物資源課題研究B、海洋生物資源課題研究C、海洋生物資源課題研究D、生命理工学概論B、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 賢二 ( ) <平成30年4月> バイオインフォマティクスA、バイオインフォマティクスB、バイオプログラミングA、バイオプログラミングB、バイオ専門英語II A、バイオ専門英語II B、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、バイオ統計学演習A、バイオ統計学演習B、生命理工学概論B、 <b>生命科学技術論B</b>
専	教授	岩見 雅史 ( ) <平成30年4月> 分子生物学A、分子生物学B、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、組織形態学実験、遺伝子と情報A、遺伝子と情報B
専	教授	高橋 憲司 ( ) <平成30年4月> バイオリファイナリーA、バイオリファイナリーB、バイオ専門英語II A、バイオ専門英語II B、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、化学反応速度論A、化学反応速度論B、生命理工学概論B、 <b>生命科学技術論B</b>
専	教授	程 肇 ( ) <平成30年4月> 生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、遺伝学実験、遺伝学A、遺伝学B
専	助教	黒田 浩介 ( ) <平成30年4月>
専	教授	山口 正晃 ( ) <平成30年4月> 海洋生物資源実践実験1、海洋生物資源実践実験2、海洋生物資源演習1、海洋生物資源演習2、海洋生物資源課題演習A、海洋生物資源課題演習B、海洋生物資源課題演習C、海洋生物資源課題演習D、海洋生物資源課題研究A、海洋生物資源課題研究B、海洋生物資源課題研究C、海洋生物資源課題研究D、生命理工学概論B、 <b>生命科学技術論B</b> 、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2





【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	山田 敏弘 ( ) ＜平成30年4月＞ 生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物多様性と進化A、生物多様性と進化B、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、生物学実習3、系統分類学実験、系統分類学A、系統分類学B
専	准教授	柿川 真紀子 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオデータベース演習A、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎実験A、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、分子細胞生物学A、分子細胞生物学B、生命科学技術論B、遺伝子工学A
専	准教授	山田 洋一 ( ) ＜平成30年4月＞ ゲノム科学B、バイオインフォマティクスC、バイオインフォマティクスD、バイオデータベース演習B、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎実験A、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、生命理工学概論B
専	准教授	紺野 宏記 ( ) ＜平成30年4月＞ 生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、生理学実験、細胞生理学A、細胞生理学B
専	准教授	仁宮 一章 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオプロダクションA、バイオプロダクションB、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学実験A、バイオ工学実験B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、生命理工学概論B、生物化学工学A、生物化学工学B
専	講師	金森 正明 ( ) ＜平成30年4月＞ 教職化学、教職地学、教職物理学、生化学実験、生化学A、生化学B、生化学C、生化学D、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	准教授	柿川 真紀子 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオデータベース演習A、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎実験A、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、分子細胞生物学A、分子細胞生物学B、 <b>生命理工学概論B</b> 、生命科学技術論B、遺伝子工学A
専	准教授	山田 洋一 ( ) ＜平成30年4月＞ ゲノム科学B、バイオインフォマティクスC、バイオインフォマティクスD、バイオデータベース演習B、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎実験A、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、生命理工学概論B、 <b>生命科学技術論B</b>
専	准教授	紺野 宏記 ( ) ＜平成30年4月＞ 生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、生理学実験、細胞生理学A、細胞生理学B
専	准教授	仁宮 一章 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオプロダクションA、バイオプロダクションB、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学実験A、バイオ工学実験B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、生命理工学概論B、 <b>生命科学技術論B</b> 、生物化学工学A、生物化学工学B
専	講師	金森 正明 ( ) ＜平成30年4月＞ 教職化学、教職地学、教職物理学、生化学実験、生化学A、生化学B、生化学C、生化学D、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	助教	瓜生 耕一郎 ( ) ＜平成30年4月＞ システム生物学、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、遺伝学実験
専	助教	亀井 宏泰 ( ) ＜平成30年4月＞ 海洋生物資源実践実験1、海洋生物資源実践実験2、海洋生物資源演習1、海洋生物資源演習2、海洋生物資源課題演習A、海洋生物資源課題演習B、海洋生物資源課題演習C、海洋生物資源課題演習D、海洋生物資源課題研究A、海洋生物資源課題研究B、海洋生物資源課題研究C、海洋生物資源課題研究D、生命科学技術論B、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、生物学実習2、資源生物学A
専	助教	小林 功 ( ) ＜平成30年4月＞ 海洋生物資源実践実験1、海洋生物資源実践実験2、海洋生物資源演習1、海洋生物資源演習2、海洋生物資源課題演習A、海洋生物資源課題演習B、海洋生物資源課題演習C、海洋生物資源課題演習D、海洋生物資源課題研究A、海洋生物資源課題研究B、海洋生物資源課題研究C、海洋生物資源課題研究D、生命理工学概論B、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、発生学実験、発生生物学A、発生生物学B、発生生物学C
専	助教	小藤 累美子 ( ) ＜平成30年4月＞ 生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物多様性と進化A、生物多様性と進化B、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、系統分類学実験、系統分類学A、系統分類学B
専	助教	和田 直樹 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学実験A、バイオ工学実験B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、有機化学A、有機化学B、生命科学技術論B、高分子化学A、高分子化学B
専	助教	広瀬 修 ( ) ＜平成30年4月＞ データサイエンスA、データサイエンスB、バイオインフォマティクスA、バイオインフォマティクスB、バイオインフォマティクスC、バイオインフォマティクスD、バイオプログラミングC、バイオプログラミングD、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、生命科学技術論B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
専	助教	瓜生 耕一郎 ( ) ＜平成30年4月＞ システム生物学、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、遺伝学実験
専	助教	亀井 宏泰 ( ) ＜平成30年4月＞ 海洋生物資源実践実験1、海洋生物資源実践実験2、海洋生物資源演習1、海洋生物資源演習2、海洋生物資源課題演習A、海洋生物資源課題演習B、海洋生物資源課題演習C、海洋生物資源課題演習D、海洋生物資源課題研究A、海洋生物資源課題研究B、海洋生物資源課題研究C、海洋生物資源課題研究D、 <b>生命理工学概論B</b> 、生命科学技術論B、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、生物学実習2、資源生物学A
専	助教	小林 功 ( ) ＜平成30年4月＞ 海洋生物資源実践実験1、海洋生物資源実践実験2、海洋生物資源演習1、海洋生物資源演習2、海洋生物資源課題演習A、海洋生物資源課題演習B、海洋生物資源課題演習C、海洋生物資源課題演習D、海洋生物資源課題研究A、海洋生物資源課題研究B、海洋生物資源課題研究C、海洋生物資源課題研究D、生命理工学概論B、 <b>生命科学技術論B</b> 、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、発生学実験、発生生物学A、発生生物学B、発生生物学C
専	助教	小藤 累美子 ( ) ＜平成30年4月＞ 生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D、生命理工学概論A、生命科学技術論A、生物多様性と進化A、生物多様性と進化B、生物学基礎実習1、生物学基礎実習2、系統分類学実験、系統分類学A、系統分類学B
専	助教	和田 直樹 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学実験A、バイオ工学実験B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、有機化学A、有機化学B、 <b>生命理工学概論B</b> 、生命科学技術論B、高分子化学A、高分子化学B
専	助教	広瀬 修 ( ) ＜平成30年4月＞ データサイエンスA、データサイエンスB、バイオインフォマティクスA、バイオインフォマティクスB、バイオインフォマティクスC、バイオインフォマティクスD、バイオプログラミングC、バイオプログラミングD、バイオ専門英語ⅡA、バイオ専門英語ⅡB、バイオ工学基礎A、バイオ工学基礎B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D、 <b>生命理工学概論B</b> 、生命科学技術論B



【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	西内 巧 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオ工学基礎実験B、植物生理学A、植物生理学B、バイオ機器分析化学A、バイオ機器分析化学B、遺伝子工学B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D
兼任	助教	西山 智明 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオ工学基礎実験B、バイオ機器分析化学A、バイオ機器分析化学B、ゲノム科学A、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D
兼任	教授	瀬戸 章文 ( ) ＜平成30年4月＞ プロセス工学量論A、プロセス工学量論B
兼任	准教授	波田 幹夫 ( ) ＜平成30年4月＞ プロセス工学量論A、プロセス工学量論B
兼任	准教授	東 秀憲 ( ) ＜平成30年4月＞ プロセス工学量論A、プロセス工学量論B、単位操作A、単位操作B
兼任	准教授	滝口 昇 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオテクノロジーA、バイオテクノロジーB
兼任	助教	畝山 多加志 ( ) ＜平成30年4月＞ 単位操作A、単位操作B
兼任	准教授	瀧 健太郎 ( ) ＜平成30年4月＞ 流体力学A、流体力学B
兼任	教授	新田 晃平 ( ) ＜平成30年4月＞ 物理化学A、物理化学B
兼任	教授	鈴木 健之 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	高橋 智聡 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	平尾 敦 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	後藤 典子 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	准教授	西内 巧 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオ工学基礎実験B、植物生理学A、植物生理学B、バイオ機器分析化学A、バイオ機器分析化学B、遺伝子工学B、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D
兼任	助教	西山 智明 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオ工学基礎実験B、バイオ機器分析化学A、バイオ機器分析化学B、ゲノム科学A、バイオ工学研究概論、バイオ工学課題演習A、バイオ工学課題演習B、バイオ工学課題演習C、バイオ工学課題演習D、バイオ工学課題研究A、バイオ工学課題研究B、バイオ工学課題研究C、バイオ工学課題研究D
兼任	教授	瀬戸 章文 ( ) ＜平成30年4月＞ プロセス工学量論A、プロセス工学量論B
兼任	准教授	波田 幹夫 ( ) ＜平成30年4月＞ プロセス工学量論A、プロセス工学量論B
兼任	准教授	東 秀憲 ( ) ＜平成30年4月＞ プロセス工学量論A、プロセス工学量論B、単位操作A、単位操作B
兼任	准教授	滝口 昇 ( ) ＜平成30年4月＞ バイオテクノロジーA、バイオテクノロジーB
兼任	准教授	瀧 健太郎 ( ) ＜平成30年4月＞ 流体力学A、流体力学B
兼任	教授	新田 晃平 ( ) ＜平成30年4月＞ 物理化学A、物理化学B
兼任	教授	鈴木 健之 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	高橋 智聡 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	平尾 敦 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	後藤 典子 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	松本 邦夫 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	大島 正伸 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	須田 貴司 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	善岡 克次 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	向田 直史 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	教授	佐藤 博 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任		【学外非常勤講師】 ( ) ＜平成32年4月＞ バイオ専門英語1A、バイオ専門英語1B

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞
		担当授業科目名
兼任	教授	松本 邦夫 ( ) ＜平成30年4月＞ 細胞学、がん生物学、生物学実習4、生命システム演習1、生命システム演習2、生命システム実践実験1、生命システム実践実験2、生命システム課題演習A、生命システム課題演習B、生命システム課題演習C、生命システム課題演習D、生命システム課題研究A、生命システム課題研究B、生命システム課題研究C、生命システム課題研究D
兼任	准教授	中村 伊南沙 ( ) ＜平成30年4月＞ 微分方程式及び演習、複素解析及び演習、ベクトル解析及び演習、フーリエ解析及び演習
兼任		山田 敏弘 ( ) ＜平成30年4月＞ 生物多様性と進化A、生物多様性と進化B、系統分類学A、系統分類学B、系統分類学実験、生物学実習3

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成29年4月1日 中山助教、准教授昇任。
- ・平成29年10月1日 黒田助教採用。
- ・平成30年3月31日 山田准教授退職。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
14 名	7 名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
8	11	1	7	27	6	11	1	7	25	6	11	1	7	25
(8)	(11)	(1)	(7)	(27)						[Δ2]	[0]	[0]	[0]	[Δ2]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
  - ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) 一③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{27} = \boxed{92.59} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授	山田 敏弘	選択	生命科学技術論 A	①	H30.3.31付け退職（大阪市立大学就職）のため就任辞退（30）			
			選択	生物多様性と進化 A	①				
			選択	生物多様性と進化 B	①				
			選択	生命理工学概論 A	①				
			選択	系統分類学 A	①				
			選択	系統分類学 B	①				
			選択	系統分類学実験	①				
			選択	生物学実習 3	②				
			選択	生命システム演習 1	①				
			選択	生命システム演習 2	①				
			選択	生命システム実践実験 1	①				
			選択	生命システム実践実験 2	①				
			必修	生命システム課題演習 A～D	①				
			必修	生命システム課題研究 A～D	①				
			選択	生物学基礎実習 1	①				
選択	生物学基礎実習 2	①							
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	13 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22 科目	計	21 科目	計	1 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|



(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計 なし

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	14 科目	選択	13 科目	選択	1 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	22 科目	計	21 科目	計	1 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{27} = \boxed{3.7} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」  
 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生への周知は、シラバス等で周知を行った。担当科目については、他の専任教員が担当するため、学生への影響は少ない。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<理工学域 生命理工学類>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況  
教育方法改善委員会（理工学域に設置）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）  
年10回程度開催（委員9名は毎回ほぼ全員出席している）

c 委員会の審議事項等  
教育方法改善にかかる諸事項審議・決定

② 実施状況

a 実施内容

① 授業方法改善のためのアンケート

② FD研修会，新任教員研修会の実施

③ アクティブラーニングに関する検討

b 実施方法

① 授業評価アンケート：各クォーター終了後，学生がWebからアンケート回答→集計→各教員へフィードバック

② FD研修会，新任教員研修会：年に1回実施。

③ アクティブラーニングに関する検討：アクティブラーニングアドバイザーを選出・実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

① 授業評価アンケート回答率：約50%

② FD研修会出席率：約50% 新任教員研修会出席率：約60%

③ アクティブラーニング：28科目実施

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  
科目ごとにアンケート結果を踏まえたリフレクションペーパーを作成している。  
実施例：板書とPPT資料を織り交ぜた授業展開。単元毎の小テスト実施。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期  
実施（年4回。各クォーター終了後）

b 教員や学生への公開状況，方法等  
理工学域Webサイトに，学類毎の集計結果を掲載。（授業担当教員はポータルサイトから担当科目の結果を参照できる）

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

入学定員充足，施設整備，教員配置，カリキュラム設計など，設置計画どおりに達成している。  
FD活動や授業評価アンケートなどをもとに，カリキュラムのブラッシュアップ・充実を図っている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・未定（検討中）

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度までに評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （  有  無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （平成30年7月1日（予定））

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には，5月1日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。